

# 千歳市民まちづくりアンケート

調査結果報告書

平成 18 年 2 月

千 歳 市

## はじめに

千歳市では、平成13年度から10か年を計画期間とする『千歳市新長期総合計画(21・千歳きらめきプラン)』を策定し、めざすべき将来都市像を「ひと・まち きらり 地球の笑顔が見えるまち 千歳」と定め、人とまちが生き生きと輝き、地球環境に対するやさしさや幸福感に満ちた市民の笑顔が行き交うまちづくりを進めております。

このたびのアンケート調査は、この計画が平成17年度をもって計画期間の前半5年間を経過することから、市民の皆さまがこれまでの施策をどのように評価され、将来のまちづくりにどのようなご意見やご要望を持たれているかなどを調査・分析し、後半5年間における施策推進の参考とするために実施いたしました。

ここに調査結果報告書をまとめましたので、多くの市民の皆さまからいただいた貴重なご意見などを後半5年間の市政運営全般にわたって十分活用してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、このアンケート調査にご協力いただきました市民の皆さまに対し、厚くお礼申し上げます。

平成18年2月

千歳市長 山口 幸太郎

## も く じ

### 調査の概要

1	調査のあらまし	2
2	回答者の属性	6
3	調査結果の概要	13

### 設問別調査結果

1	<u>生活環境の評価と定住意向</u>	18
	(1) 住み心地	(18)
	(2) 日常生活の満足度(項目別生活環境評価)	(20)
	(3) 5年前との住みよくなった点/住みにくくなった点の比較	(24)
	(4) 定住意向	(30)
2	<u>まちづくりのキーワード・重点分野・将来都市像</u>	32
	(1) まちづくりの今後のキーワード	(32)
	(2) 今後力を注ぐべき分野	(34)
	(3) 将来都市像	(38)
3	<u>産業・経済の振興</u>	41
	(1) 農林業の振興	(41)
	(2) 商工業の振興	(43)
	(3) 観光の振興	(45)
4	<u>福 祉</u>	48
	(1) 福祉社会の実現	(48)
5	<u>生涯学習</u>	50
	(1) 生涯学習の推進	(50)
6	<u>防 災</u>	53
	(1) 大規模災害への備え	(53)
7	<u>コミュニティ・まちづくり</u>	56
	(1) 近所付き合いの満足度	(56)
	(2) 参加したいまちづくり活動	(58)
8	<u>国際交流</u>	61
	(1) 国際交流で力を注ぐべき分野	(61)

9	<u>市民参加・行政運営</u>	64
	(1) 市政への市民意向の反映度	・ ・ ・ ・ ・ (64)
	(2) 市民参加（意向反映）の方法	・ ・ ・ ・ ・ (66)
10	<u>財政運営</u>	69
	(1) これからの行政サービスのあり方	・ ・ ・ ・ ・ (69)
11	<u>市民協働</u>	73
	(1) 市民協働のまちづくりを進めるうえで重要なこと	・ ・ ・ ・ ・ (73)

## 地区別分析結果

1	<u>回答者の地区別属性</u>	76
2	<u>生活環境に関する地区別評価</u>	80
	(1) 住み心地	・ ・ ・ ・ ・ (80)
	(2) 日常生活の満足度（項目別生活環境評価）	・ ・ ・ ・ ・ (81)
	(3) 5年前との住みよくなった点／住みにくくなった点の比較	・ ・ ・ (92)
	(4) 定住意向	・ ・ ・ ・ ・ (94)
3	<u>まちづくりの重点分野に関する地区別意向</u>	95
4	<u>コミュニティに関する地区別実態と意向</u>	98
	(1) 近所付き合いの満足度	・ ・ ・ ・ ・ (98)
	(2) 参加したいまちづくり活動	・ ・ ・ ・ ・ (99)

## 資 料

1	<u>自由回答</u>	102
2	<u>アンケート調査票</u>	120

調査の概要

---

# 1 調査のあらまし

---

## 調査の目的

このアンケートは、「新長期総合計画」が策定後5年を経過することにあわせ、基本計画の検証・見直しを実施するにあたり、市民の生活意識をはじめとするまちづくり全般、市政運営等に対する評価、意向を把握し後半期5年間に向けた施策推進の参考資料とするために実施した。

## 調査の方法

調査地域 : 千歳市全域

調査の対象 : 千歳市に住所を有する20歳以上の男女(2005年(平成17年)4月1日現在)

サンプル数 : 2,000(人)

抽出方法 : 住民基本台帳による地区別の等間隔無作為抽出

本調査では市内を14地区に区分しているが、地区別集計の分析に配慮し、母集団(人口)の少ない4地区については抽出間隔を相対的に小さく設定し、分析に必要なサンプル数を確保した。

調査方法 : 個人あての書面による郵送調査法(回答は無記名)

調査時期 : 2005年(平成17年)6月7日~24日

## 回収状況

発送数 : 2,000票

返送数 : 1,049票

回収率 : 52.5%

[ 地区別サンプリング及び回収状況 ]

地 区	母集団数 (人)	抽出間隔	サンプル数 (発送数)	有効回収数	有効回収率 (%)
1 東雲町、朝日町、本町ほか	3,898	38	98	46	46.9%
2 若草、白樺、里美、柏陽ほか	7,612	38	196	111	56.6%
3 錦町、春日町、緑町、大和ほか	4,553	38	115	61	53.0%
4 清水町、幸町、千代田町、栄町	2,445	34	70	26	37.1%
5 北栄、新富	4,210	38	106	56	52.8%
6 北斗、自由ヶ丘、桜木ほか	7,535	38	194	106	54.6%
7 北陽、長都駅前、信濃ほか	7,972	38	204	103	50.5%
8 高台、富丘、北光、あずさ	7,881	38	202	102	50.5%
9 末広、花園、稲穂、清流、幸福	8,105	38	208	108	51.9%
10 青葉、日の出、住吉、豊里ほか	8,592	38	221	116	52.5%
11 弥生、寿、旭ヶ丘ほか	6,856	38	176	99	56.3%
12 都、長都、駒里、泉郷ほか	1,130	16	70	33	47.1%
13 幌加、協和、新川、東丘	448	6	70	33	47.1%
14 支笏湖温泉、幌美内ほか	174	2	70	31	44.3%
(無 回 答)	-	-	-	18	-
総 数	71,411	-	2,000	1,049	52.5%

範囲とする実際の地区区分は次ページのとおりである。

[ 地 区 区 分 ]



1	東雲町、朝日町、本町、真々地、平和、2空団、真町
2	若草、白樺、里美、柏陽、泉沢、文京、福住
3	錦町、春日町、緑町、大和、桂木、蘭越、新星
4	清水町、幸町、千代田町、栄町
5	北栄、新富
6	北斗、自由ヶ丘、桜木、北信濃（無番地871~964）、北部隊 上長都（3,382,1057,1058）
7	北陽、長者岡前、信農、富士、北信濃（180,231,232,238,281,283,321,336,338,345,346,360,366,388,591,631,632,676~680,782,841）
8	高台、富丘、北光、あずさ
9	末広、花園、稲穂、清流、幸福
10	青葉、青葉丘、日の出、日の出丘、住吉、東郊、豊里、梅ヶ丘2丁目
11	梅ヶ丘1・3丁目、弥生、寿、旭ヶ丘、祝梅、東部隊、流通
12	都、長都、釜加、北信濃（590,633,636）、根志越、中央、駒里、泉郷、美々、柏台、柏台南
13	幌加、協和、新川、東丘
14	支笏湖温泉、幌美内、モラップ、水明郷、藤の沢、美笛、支寒内、奥潭

## 集計・表記方法

集計結果は、票数実数または小数点第2位を四捨五入した百分率(%)で表示、四捨五入の誤差により、単一選択の設問(SA)であっても構成比の和が100.0%とならないことがある。

グラフや表にある記号は、それぞれ以下を示している。

[ SA ]: 選択肢の中から1つだけ選んで回答
[ 2 LA ]: 選択肢の中から2つまで選んで回答
[ 5 LA ]: 選択肢の中から5つまで選んで回答

本文、グラフおよび表の選択肢の文言は、実際の調査の文言を省略しているものがある(実際に使用した調査票を巻末に掲載。)

自由記述回答については、記載事項を要約し、内容別に分類するとともに、類似回答数を数値で示した。

## 前回調査との比較について

本文中に引用し、比較分析している「前回調査」の実施概要は次のとおりである(調査対象はいずれも市内全域、20歳以上の男女)。

[ 前回調査 ]	新長期総合計画の策定時に実施
調査時期	: 1998年(平成10年)9月1日～9月14日
サンプル数	: 2,000(人)
有効回収数	: 1,105(票)
有効回収率	: 55.3%
調査方法	: 郵送調査法
調査対象	: 無作為に抽出した市内に住所を有する20歳以上の男女

市民の意識・評価の変化を時系列的に把握するため、上記の前回調査と同一的な設問については集計結果を対比しているが、一部に選択肢や文言表現の変更があるため、対比するうえで留意が必要である。

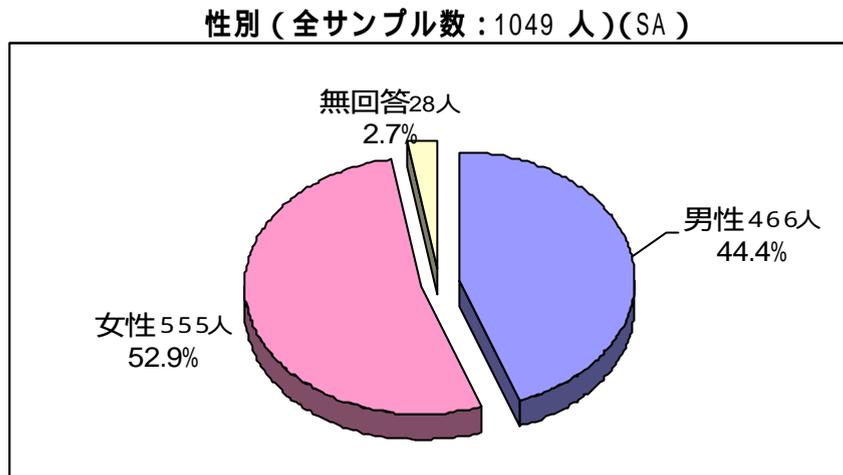
## 調査の実施機関

企画・実施・集計・分析 : 千歳市 企画部 企画課

## 2 回答者の属性

### 性別

- ・回答者の性別は、「男性」が 44.4%、「女性」が 52.9%と女性が男性を約 10 ポイント上回っている。  
(グラフ参照)



#### 〔前回アンケート結果〕

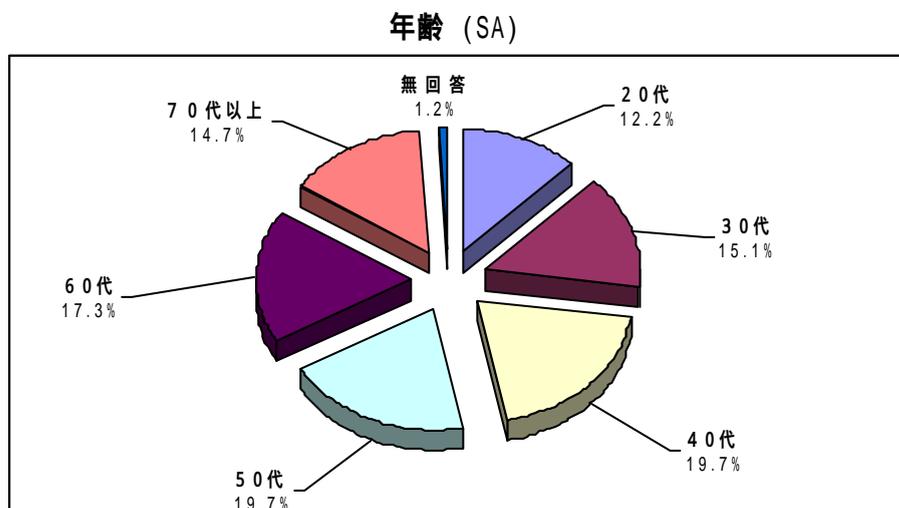
- ・前回アンケートでは「男性」が 53.6%、「女性」が 42.0%となっている。
- ・年代別では各年代ともに男性が女性を上回っている。

#### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回のアンケートでは「男性」よりも「女性」の割合が高く、前回の結果とは逆の結果となっている。
- ・年代別で見ると、「20代」と「60代」は女性よりも男性の割合が高いが、その他の年代では男性よりも女性の割合が高くなっており、前回とは異なった結果となっている。

### 年齢

- ・全体では「40代」、「50代」が 19.7%で最も多く、「20代」が 12.2%で最も少ない。(グラフ参照)



- ・男女別では、男性では「60代」が9.0%と最も多く、「30代」が5.7%と最も少ない。  
女性では、「50代」が11.1%と最も多く、「20代」が6.1%と最も少ない。  
「40代」、「60代」は男性が女性を上回っているが、その他の世代では女性が男性を上回っている。

〔前回アンケート結果〕

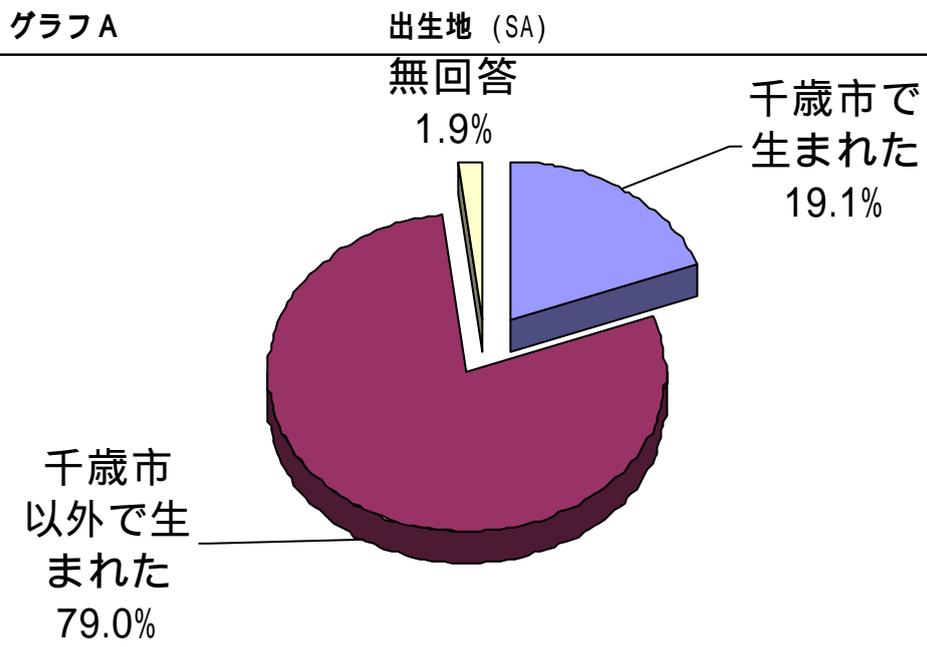
- ・前回アンケートでは「40代」が19.2%で最も多く、次いで「30代」が18.9%、「50代」が18.7%と続く結果であった。
- ・男女別では、男性では「60代」が20.8%（男性計での割合）と最も多い。  
女性では「30代」が22.0%（女性計での割合）で最も多い結果であった。

〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回のアンケートでは「40代」、「50代」が19.7%と最も多く、前回と同様「40代」が最も多い結果となっている。
- ・男女別においては、男性では「60代」が20.2%と最も多く、前回アンケートと同様の結果となっているが、女性では「50代」が最も多い結果となっており、前回とは多少異なっている。

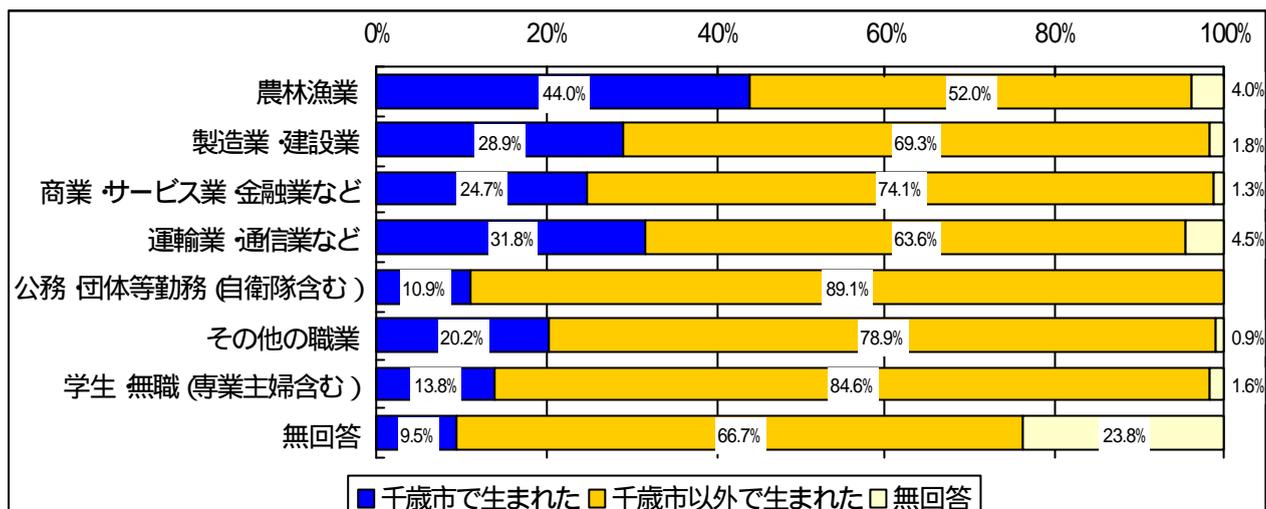
出生地

- ・全体では「千歳市で生まれた」が19.1%、「千歳市以外で生まれた」が79.0%となっており、転入者が大きく上回っている。（グラフA参照）
- ・職業別では「農林漁業」が「千歳市で生まれた」割合が最も高く、「公務・団体等勤務（自衛隊含む）」が「千歳市で生まれた」割合が最も低い。（グラフB参照）



## グラフB

### 出生地（職業別内訳）（SA）



#### 〔前回アンケート結果〕

- ・前回アンケートでは「千歳市生まれ」が15.0%で、「千歳市以外で生まれた」が81.7%であった。
- ・職業別では、「農林漁業」の「千歳市生まれ」の割合が41.7%と最も高く、「公務・団体等勤務（自衛隊含む）」の「千歳市以外で生まれた」割合が90.1%と最も高い結果である。

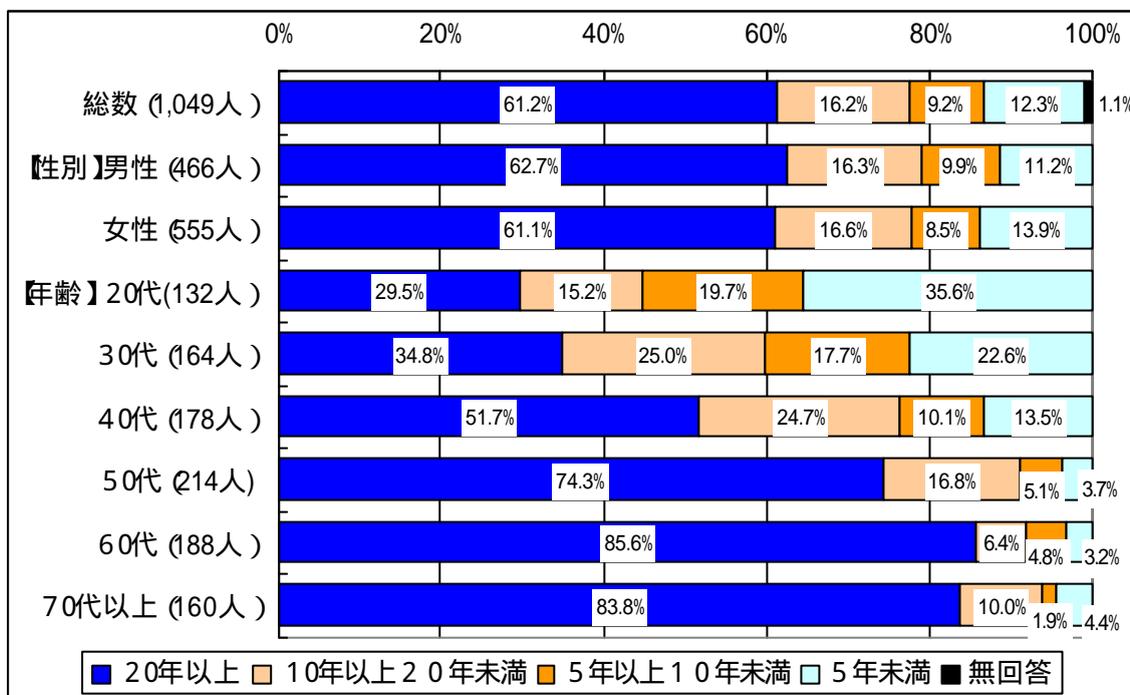
#### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートにおいても「千歳市以外で生まれた」割合は約80%となっており、前回調査とほぼ同様である。
- ・職業別においても「農林漁業」の千歳市生まれの割合が高く、逆に「公務・団体等勤務（自衛隊含む）」の「千歳市以外で生まれた」割合が高い結果となっており前回と同じ結果である。

## 千歳市での通算居住年数

- ・全体では「20年以上」が61.2%と最も多く、「5年以上10年未満」が9.2%と最も少ない。
- ・男女別では男女間に大きな違いはない。
- ・年代別では、20代の「5年未満」の割合が35.6%と最も高く、年齢が高くなるに従って通算居住年数も増える傾向にある。  
(グラフ参照)

通算居住年数 (SA)



### 〔前回アンケート結果〕

- ・前回アンケートでは「20年以上」の割合が52.9%と最も多く、「5年以上10年未満」の割合が11.3%と最も低い。
  - ・男女別では、居住年数に大きな相違は見られない。
  - ・年代別では、20代、30代の「5年未満」の割合が最も高く、特に20代の過半数以上が居住歴10年未満となっている。
- また、40代以上の各年代はいずれも「20年以上」の割合が最も高く、特に50代以上では7割以上が「20年以上」の居住者となっている。

### 〔前回アンケートとの比較〕

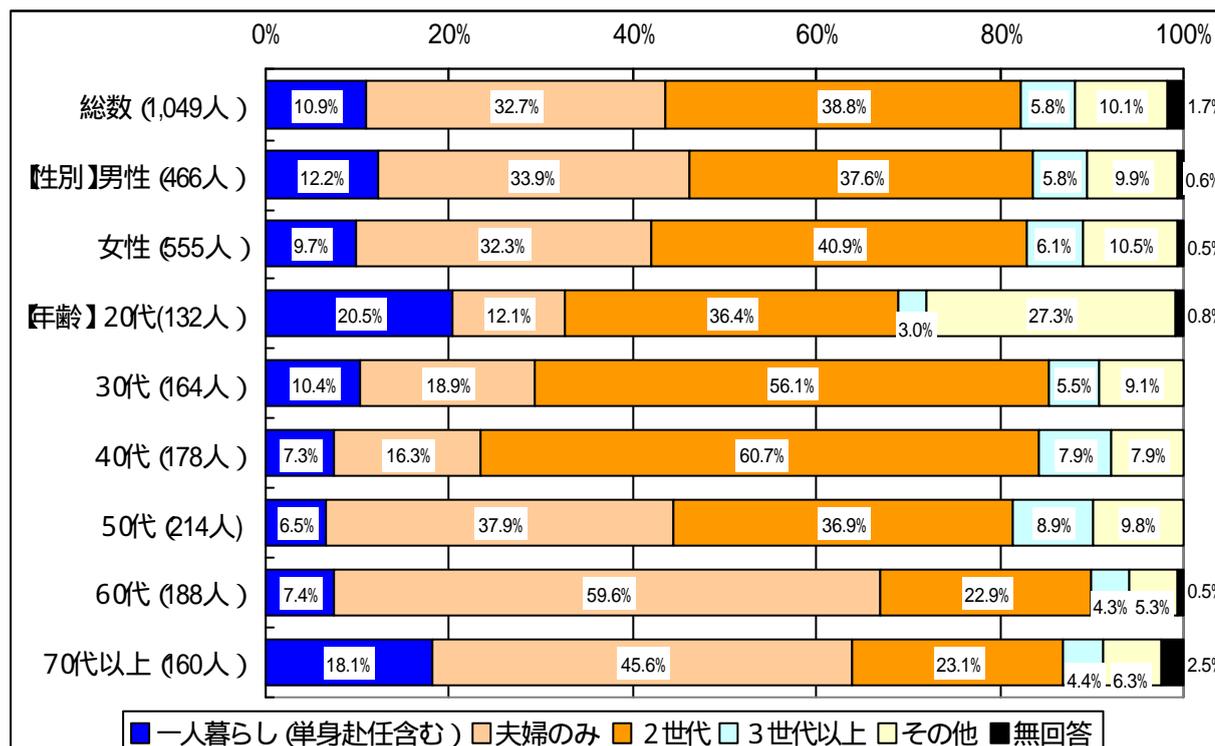
- ・今回アンケートも前回アンケートと同様「20年以上」の割合が最も高く、「5年以上10年未満」の割合が最も低い。
- ・男女別では前回同様、男女間に顕著な差は見られない。
- ・また、若い年代ほど居住年数は少なく、特に20代の5年未満の割合が高い点や、50代以上は7割以上が「20年以上」の居住者となっている点も前回と同様の結果となっている。

## 同居家族構成

- ・全体では「2世代」が38.8%と最も多く、次に「夫婦のみ」が32.7%と続く。  
最も少ないのは「3世代以上」であり、5.8%である。
- ・男女別に見ると、男女ともに「2世代」が最も多く、男女ともに「夫婦のみ」がこれに次ぐ。
- ・年齢別では、20代～40代までは「2世代」の割合が最も高く、50代～70代以上の世代は「夫婦のみ」の割合が最も高い。  
また、「一人暮らし(単身赴任含む)」の割合は20代と70代以上の世代が高い。

(グラフ参照)

同居家族構成 (SA)



### 〔前回アンケート結果〕

- ・前回アンケートでは「2世代」が41.0%と最も多く、「夫婦のみ」が28.1%とこれに次ぐ。
- ・男女別では、男性は「一人暮らし(単身赴任含む)」や「夫婦のみ」の割合が高く、女性は「2世代」の割合が高い。
- ・年代別で見ると40代以下では「2世代」が、50代以上では「夫婦のみ」がそれぞれ最も多い。

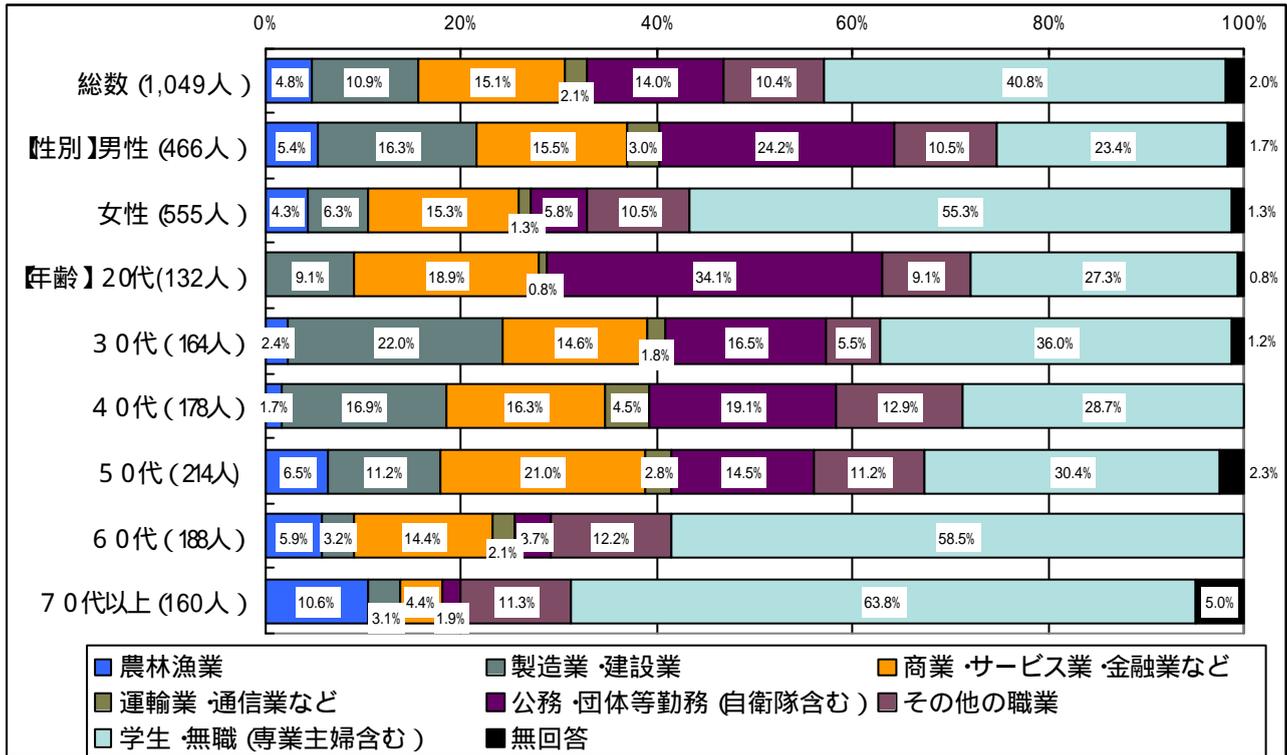
### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートにおいても前回同様「2世代」が最も多く「夫婦のみ」がこれに次いでいる。
- ・男女別に見ると、今回のアンケートでは男女ともに「2世代」が最も多いことから、男性については前回とは異なった結果となっている。
- ・年代別に見ると、今回の結果も40代以下では「2世代」の割合が最も高く、50代以上では「夫婦のみ」が最も多い結果となっているため、前回と同様の傾向を示している。

## 職業

- ・全体では「学生・無職（専業主婦含む）」が40.8%と最も多く、「運輸業・通信業など」が2.1%と最も少ない。
- ・男女別に見ると、男性では「公務・団体等勤務（自衛隊含む）」の割合が24.2%と最も高く、自衛官など公務員が多い当市の特徴が表れている。  
一方、女性では「学生・無職（専業主婦含む）」が55.3%と最も多い結果となっている。
- ・年代別に見ると、20代では「公務・団体等勤務（自衛隊含む）」の割合が34.1%と最も高い。  
また、「農林漁業」は70代が最も多く、20代は皆無に近い。（グラフ参照）

職業（年代別内訳）（SA）



### 〔前回アンケート結果〕

- ・前回アンケートでは「学生・無職（専業主婦含む）」が28.3%と最も高く、「農林漁業」が2.2%と最も少ない結果であった。
- ・男女別に見ると、男性は「公務・団体勤務等（自衛隊含む）」が31.3%と最も多く、女性では「学生・無職（専業主婦含む）」が約半数を占めている。
- ・年代別で見ると、40代以下の各年代は「公務・団体等勤務（自衛隊含む）」が最も多く、50代以上の各年代はそれぞれ「学生・無職（専業主婦含む）」の比率が最も高くなっている。

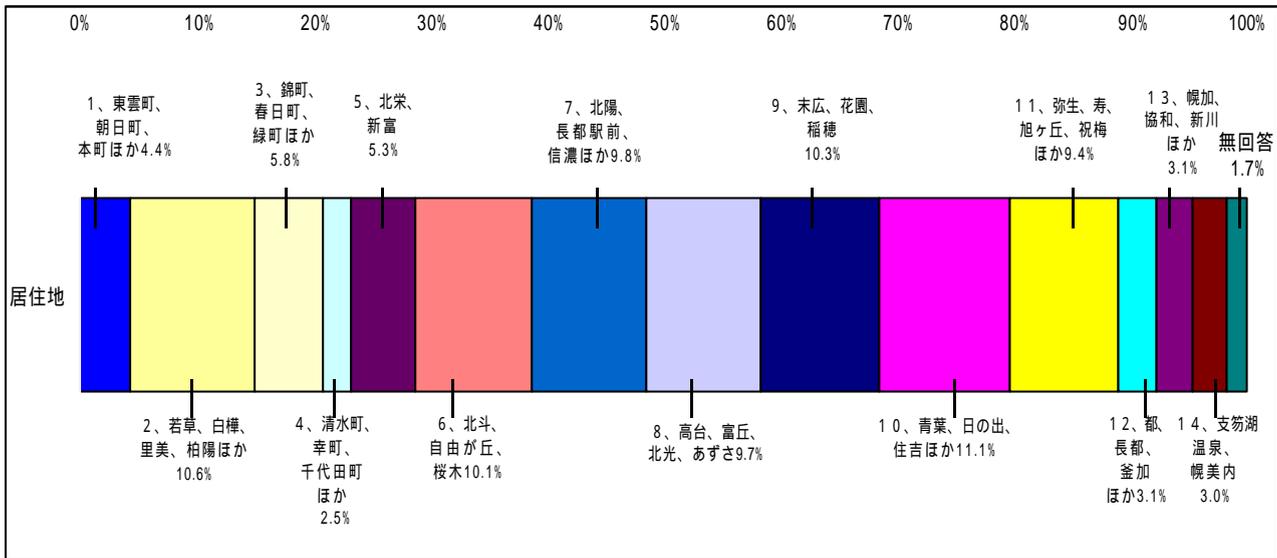
### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートでは「学生・無職（専業主婦含む）」が最多となっており、前回と同様である。
- ・男女別を見ても男性は「公務・団体等勤務（自衛隊含む）」が最も多く、女性は「学生・無職（専業主婦含む）」が最も多いところも前回と同様の結果である。
- ・年代別では、前回では40代以下の各年代が「公務・団体勤務等（自衛隊含む）」の割合が最も高かったが、今回は「公務・団体勤務等（自衛隊含む）」が最も多い世代は20代のみとなっている。

## 居住地区

- 回答者の居住地構成比は以下のとおりである。

居住地構成内訳 (SA)



### 〔前回アンケートとの比較〕

前回調査は「無回答」が5.9%であったが、今回は1.7%と若干少なくなっている。その他はほぼ前回調査と同様の構成比となっている。

### 3 調査結果の概要

---

#### (1) 生活環境の評価と定住意向

千歳市での「住み心地」については、「どちらかといえば住み良い」が最も多く、「住みやすい」と合わせると7割以上の市民が住み良さについて評価をしている。

日常生活の満足度では「公園や緑地の整備」「自然環境の保全」「日常の買い物環境」「ごみ処理・リサイクル」などは満足度が高いが、「道路や歩道の除排雪」「働く場の確保」「病院・診療所などの医療環境」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」については不満度が高い項目となっている。

5年前と比べ住み良くなった点では、「日常の買い物環境」「鉄道・バスなどの公共交通機関」「病院・診療所などの医療環境」「ごみ処理・リサイクル」「公園や緑地の整備」などの項目であり、逆に5年前と比べ住みにくくなった点では「道路や歩道の除排雪」「働く場の確保」「防犯」「病院・診療所などの医療環境」「鉄道・バスなどの公共交通機関」などの項目である。

なお、これらの項目のうち「病院・診療所などの医療環境」「鉄道・バスなどの公共交通機関」については、住み良くなった点と住みにくくなった点の双方で上位を占めており、同じ項目であっても住みよい、住みにくいとする両方の意見が多数を占める例となっている。

定住意向については、市内での転居希望を含めて8割以上の市民が市内での定住を希望している。また、全体では「今の場所に住み続けたい」が71.3%で最も多く、「道外に移りたい」が5.0%と最も少ない結果となっている。

#### (2) まちづくりのキーワード・重点分野・将来都市像

まちづくりの今後のキーワードについては「活力・賑わい」が最も多く支持され、以下「安心・安全」「自然の豊かさ」と続く結果となった。

なお、前回アンケートでは「自然の豊かさ」が最も多く支持されたが、今回は第3位となっていることから、5年前と比較して市民意識に変化が表れていることがわかる。

今後の重点分野については「病院・診療所などの医療環境」が最も多く、以下「道路や歩道の除排雪」「高齢者のための施策」「働く場の確保」「子育て環境」「防犯」と続く。

なお、「病院・診療所などの医療環境」「道路や歩道の除排雪」「働く場の確保」「防犯」などは現在の満足度調査項目の結果においても低い評価となっている。

将来都市像については「高齢者や障害者の人々をはじめ、だれもが快適に暮らせる福祉都市」が最も多く、次に「ごみや公害のない豊かな自然に囲まれた環境都市」と続く。

以下「空港を核とし、世界に開かれた国際交流都市」「市民と行政が連携してまちづくりを行う市民協働都市」と続く。

この結果により、市民は“福祉が充実し、豊かな自然環境と共生した福祉・環境都市”を望んでいることがわかる。

なお、前回アンケートにおいても「福祉都市」「環境都市」がそれぞれ第1位、第2位であり、今回と同様の結果となっている。

### (3) 産業・経済の振興

農林業の振興について重要なことについては「千歳ブランドの確立など付加価値の高い農産物の生産」が最も多い結果となり、以下は「低農薬など人にやさしい有機栽培農法の導入」「緑を守るための森林の育成」と続く。

よって、千歳らしく、千歳を代表するようなブランド農産物の生産が望まれている一方、低農薬で人にやさしい農作物の生産も強く望まれている結果となっている。

商工業の振興について重要なことについては、全体では「中心市街地の活性化」が最も多く、男女別、年代別においても「中心市街地の活性化」が最も多い結果となっている。

以下「地場産品等の独自商品開発」「企業の誘致など、立地企業の振興」と続く。

また、「地場産品等の独自商品開発」は30代以上の年代では比較的多く支持されており、千歳らしい独自商品の開発も強く望まれている。

観光の振興について重要なことについては、選択肢間に顕著な差はほとんどないものの、最も多いのは「リゾート施設や遊園地、テーマパークなどの娯楽施設の開発・誘致」という結果となっている。

以下ほぼ同数であるが、「各種イベント（祭りや行事、大会など）の充実、創出」「道路標識や案内板、駐車場、公衆トイレなど観光客受け入れ施設の充実」「魅力ある地域料理や土産品などの開発」と続く。

また、「娯楽施設の開発・誘致」は男性が最も多く挙げ、「魅力ある地域料理や土産品などの開発」については女性が最も多く挙げた項目である。

### (4) 福祉

福祉社会の実現について重要なことについては、「迅速で的確な対応ができる地域医療体制や救急医療体制の充実」が最も多い結果となっており、以下「高齢者の健康相談体制の充実など、高齢者福祉の充実」「年金や介護保険、健康保険等の各種保険制度の正しい理解と健全な推進」と続く。

また、「今後のまちづくりの重点分野」の設問でも「病院・診療所などの医療環境」が最も多い結果となっており、「高齢者のための施策」についても上位である。

### (5) 生涯学習

生涯学習の推進について重要なことについては、「学校や民間施設の開放などによる学習の場の確保」が最も多い結果となっており、以下、「市民活動を推進し、積極的にサポートする支援施設の設置」「市民の主体的・自発的な参加意識の高揚」と続く。

また、男女ともに「学校や民間施設の開放などによる学習の場の確保」を最も多く挙げており、年代別に見ても40代以下が最も多く挙げている。

このことから、生涯学習を行う場や施設整備の充実をまず重視しており、加えて市民意識の高揚についても重要なこととしている傾向が見られる。

### (6) 防災

大規模災害時の備えについて重要なことについて見ると、「市民の防災意識の強化」「消防や自衛隊、警察などとの組織を越えた連携」がほぼ同数で第1位という結果であり、以下、「一時避難所や収容避難所の周知」「危険な地域や建築物の調査、改善」と続いている。

また、前回は「一時避難所や収容避難所の周知」が最も多かったが、今回は、まず市民自らが防災に対する意識を持ち、災害時には消防や自衛隊など組織を越えた強力な連携が不可欠であると

する意見がこれを上回る結果となった。

## (7) コミュニティ・まちづくり

近所付き合いの満足度について見ると、「近所付き合いをあまりしなくてよいので、満足している」(42.1%)としている回答が最も多く、次に「近所付き合いが活発で、満足している」(36.1%)と続く。

この結果を見ると、8割程度の市民が近所付き合いに満足はしているものの、中身は全く正反対の理由で占められていることがわかる。

参加したいまちづくり活動について見ると、「リサイクル活動や省資源活動」としているのが最も多く、次に「花いっぱい活動や清掃活動」と続く。

男女別で見ても、男女ともに「リサイクル活動や省資源活動」を最も多く挙げる結果となっている。

## (8) 国際交流

国際交流を推進するために重要なことについて見ると、「市民講座の開設などにより市民の国際理解や語学力を高める」としている回答が最も多く、次に「姉妹都市交流や友好親善都市交流などにより外国との交流を促進する」と続く結果となっている。

男女別、年代別で見るとそれほど顕著な違いは見受けられないが、「市民講座の開設などにより市民の国際理解や語学力を高める」としている回答は年齢が上がるに従って割合が増える傾向にある。

## (9) 市民参加・行政運営

市政への市民意向の反映度については、「ある程度は反映されている」としている回答が最も多く、次に「あまり反映されていない」と続き、以下「全く反映されていない」「よく反映されている」と続く。

市民参加（意向反映）の方法については、「市の担当の課へ直接行くか電話をする」としている回答が最も多く、次に「選挙やアンケート調査などで意思表示をする」と続く。

以下「市長への手紙に投書する」「自治会や各種団体などを活用して意見を述べる」「議員に働きかける」と続く。

また、男女別で見ても、男女ともに「市の担当の課へ直接行くか電話をする」を最も多く選択しており、これは前回アンケートと同様の結果である。

## (10) 財政運営

これからの行政サービスのあり方については、全体で見ると「サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持すべきである」としている回答が最も多く、次に「サービスの低下分は受益者に一定の負担を求めるとして収入を確保し、従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべきである」「サービス水準の低下は仕方ないが、サービスの種類は維持すべきである」と続く結果となっている。

これを見ると、サービス水準のレベルは下げない代わりに必要なサービスの種類を選択するべきであるとする意見が多く、現行のサービスを維持するためには受益者負担を視野に入れるべきであるとする意見も多い。

また、「サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持すべきである」としているのは男性よりも女性の方が多く、「受益者負担」については女性よりも男性が多く支持している傾

向がある。

#### (11) 市民協働

市民協働のまちづくりを進めるうえで重要なことについては、「市政情報の公開を充実する。また、市民が持つまちづくりの情報を、市民自らが発信する仕組みをつくる」としている回答が最も多く、次に「市民と行政との交流や意見交換する機会をこれまで以上に増やす」「市民協働の考え方を広くPRするため、市民が参加できるイベント・事業を実施する」と続く。これを見ると、市民は市民と行政相互が持つ情報をお互いに共有しあう仕組みづくりや、市民と行政がお互いに意見交換できる場を設けることを望んでいることがわかる。

設問別調査結果

---

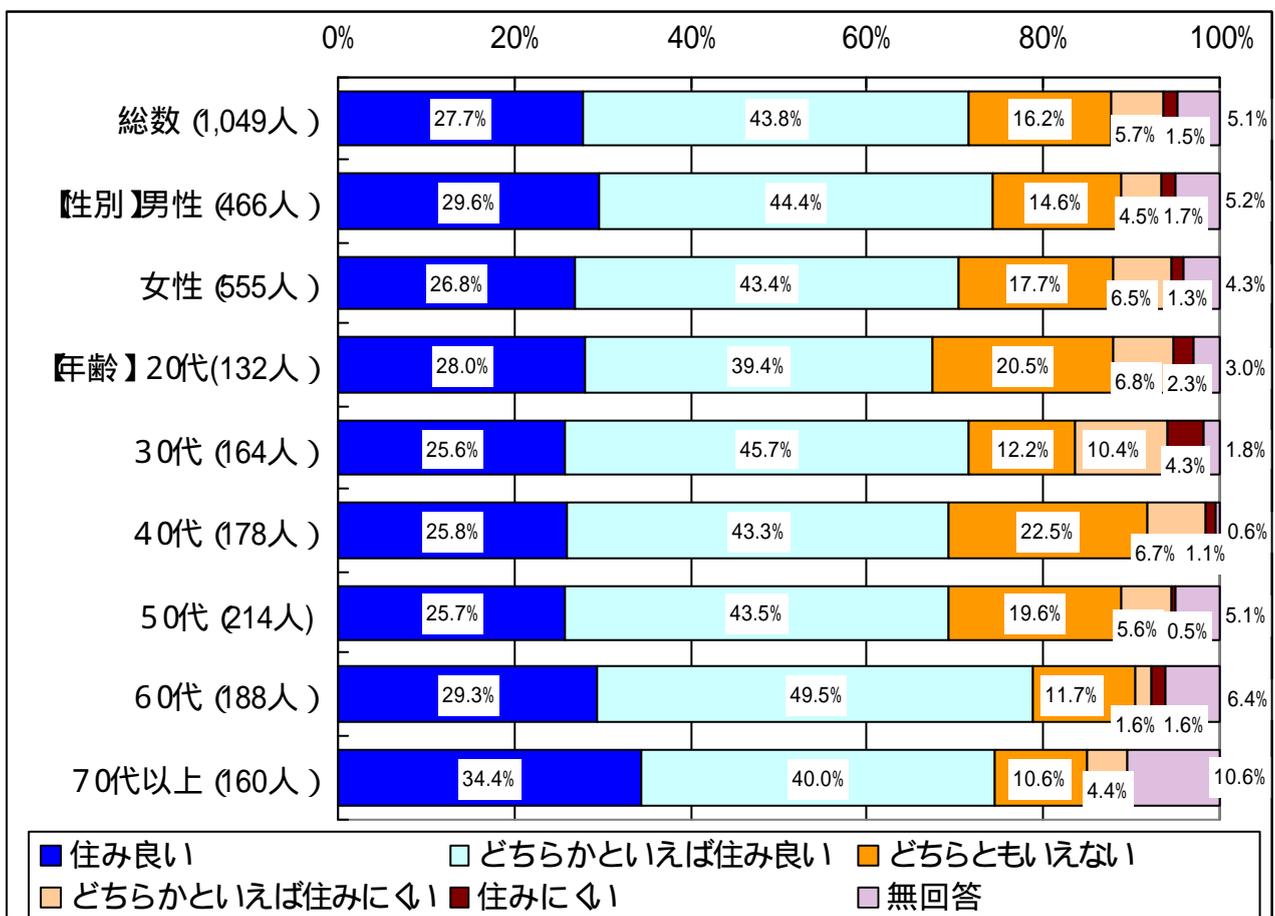
# 1 生活環境の評価と定住意向

## (1) 住み心地

問1 あなたにとって千歳市の住み心地はいかがですか。1つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体では「どちらかといえば住み良い」が43.8%で最も多く、「住みにくい」が1.5%と最も少ない。
- ・男女別で見ると、男女間に顕著な差はそれほど見られない。
- ・年代別に見るとほぼ全年代で「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計が半数以上を占めており、特に60代はこの合計が80%近い数値を示している。(グラフ参照)
- ・地区別の分析については巻末を参照。

千歳市の住み心地 (SA)



### 〔前回アンケート結果〕

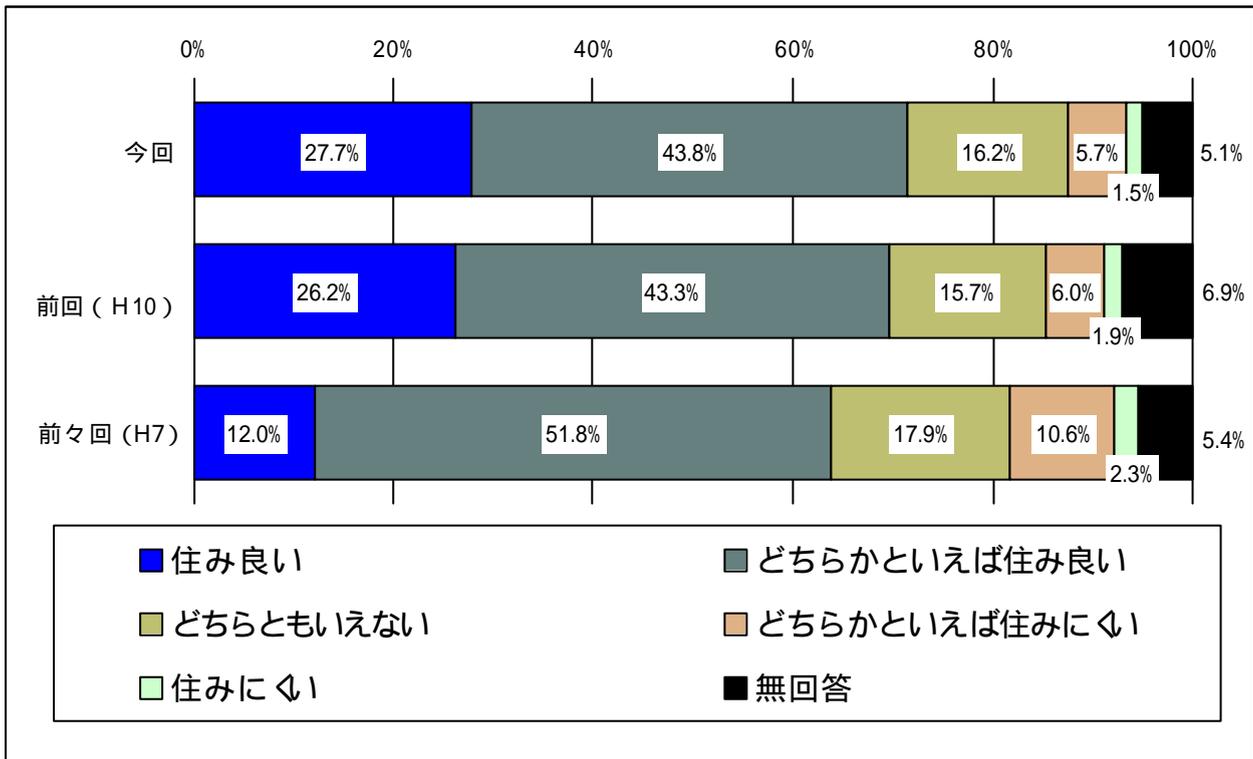
- ・前回アンケートでも「どちらかといえば住み良い」が43.3%と最も多く、「住み良い」が26.2%でこれに次ぎ、両者を合わせ約70%の市民が住み良さを評価している。また、住み良さを否定する回答は「どちらかといえば住みにくい」が6.0%、「住みにくい」が1.9%であり、両者を合わせ7.9%であった。
- ・男女別では、住み良さを肯定する意見は男女ともにほぼ同率であるが、否定的な回答は女性よりも男性の方が多い。
- ・年代別で見ると、各年代ともにおよそ65%以上が住み良さを評価しており、年代が高まるにつれ住みよさの評価も高まり、70代以上では「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計は約80%となっている。

〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートでも「どちらかといえば住み良い」が最も高く、「住みにくい」が最も低い結果となっており、前回と同様の結果となっている。
- また、過去のアンケート結果と比較すると、「住み良い」とする割合がこれまでで一番高く、前は「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」の合計が69.5%であったのに対し、今回は71.5%となっている。 (下グラフ参照)
- ・男女別で見ると、今回のアンケートでは前回ほど男女間の差は見られない。
- ・年代別で見ると、各年代の半数以上が住み良さを評価している点では共通しており、年齢が高くなるに従ってこの傾向が高まることについても前回とほぼ同じである。

参考

これまでのアンケートとの比較 (全体)



(2) 日常生活の満足度(項目別生活環境評価)(SA)

問2 あなたは、日常生活に関する次の項目について、現在どの程度満足していますか。下の表にある30項目について、満足度(1~5)をそれぞれ一つずつ選んで右の回答欄に番号をご記入ください。

- ・30項目それぞれの満足度を調査した結果、ほとんどの項目において「満足」「やや満足」「普通」の合計の割合が過半数を超えている。  
 なお、以下の項目はこれらの合計が8割以上となっているものを抽出したものである。

20	スポーツの振興	85.8%
22	国際交流・都市間交流	85.7%
6	町内会活動などのコミュニティ活動	84.5%
27	農業の振興	84.1%
10	公園や緑地の整備	83.2%
7	自然環境の保全	82.3%
19	文化財や史跡の伝承保存	81.5%
1	病気予防のための保健活動	81.1%
16	生涯学習の場づくり	80.1%

- ・以下の項目は「満足」「やや満足」の合計の割合が比較的高い項目である。

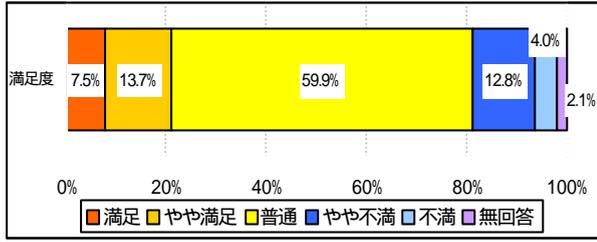
10	公園や緑地の整備	45.4%
7	自然環境の保全	37.0%
26	日常の買い物環境	35.0%
9	ごみ処理・リサイクル	34.2%

- ・以下の項目は「不満」「やや不満」の合計の割合が比較的高い項目である。

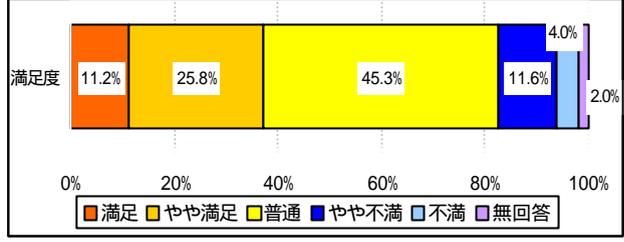
15	道路や歩道の除排雪	61.7%
29	働く場の確保	46.3%
2	病院・診療所などの医療環境	43.0%
8	騒音・振動・悪臭などの公害防止	42.8%

・なお、1～30までの項目についての結果は以下のとおりとなっている。

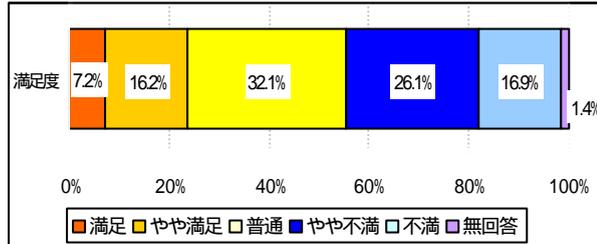
1 病気予防のための保健活動



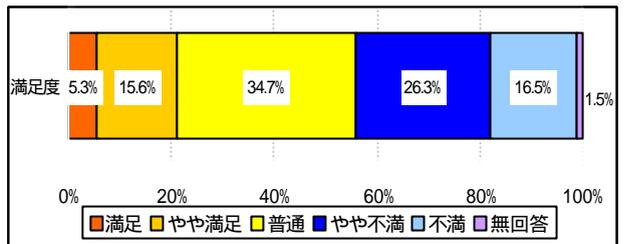
7 自然環境の保全



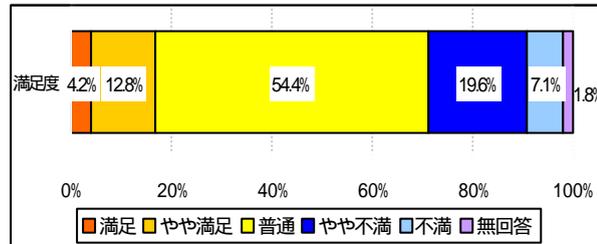
2 病院・診療所などの医療環境



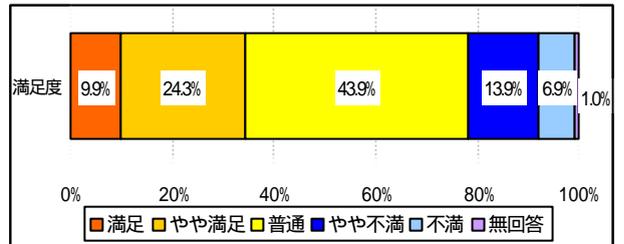
8 騒音・振動・悪臭などの公害防止



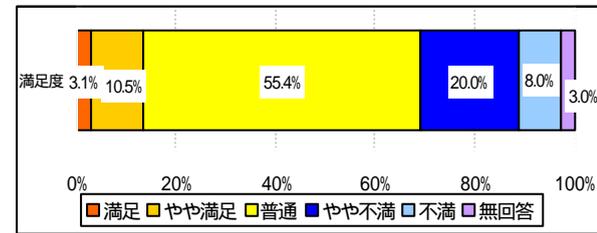
3 高齢者のための施策



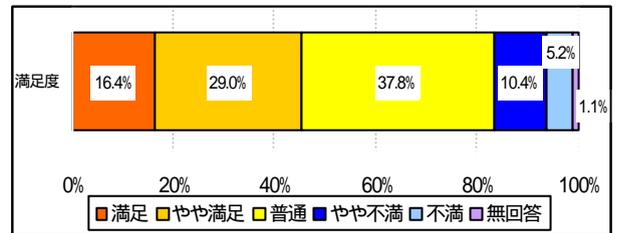
9 ごみ処理・リサイクル



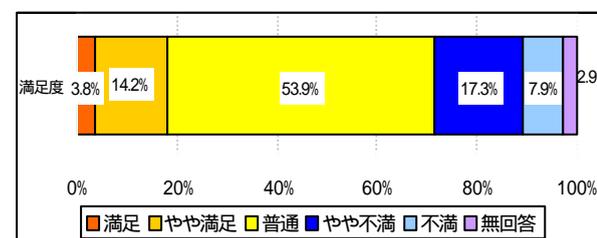
4 障害者のための施策



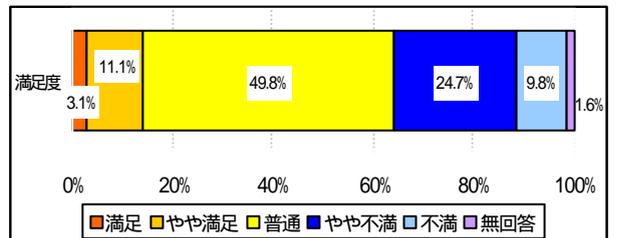
10 公園や緑地の整備



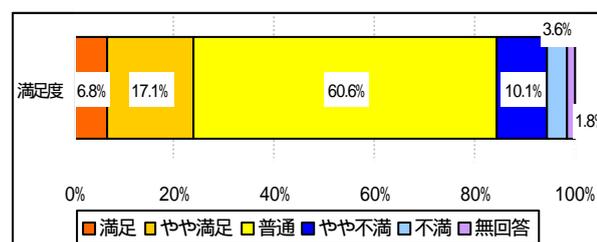
5 子育て環境



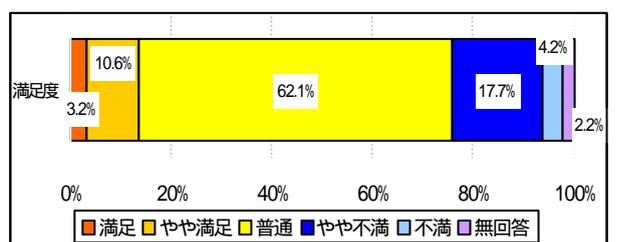
11 防犯



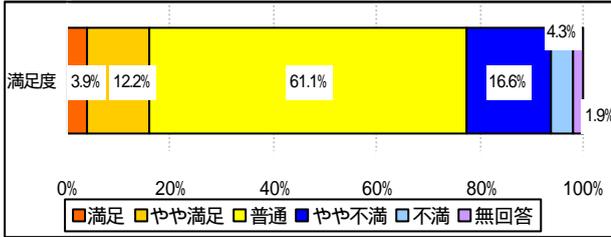
6 町内会活動などのコミュニティ活動



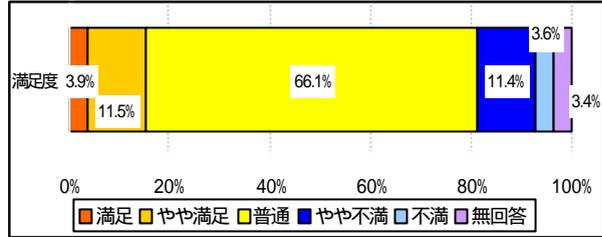
12 自然災害などに対する防災



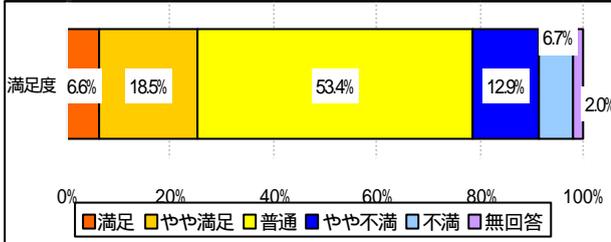
13 交通安全



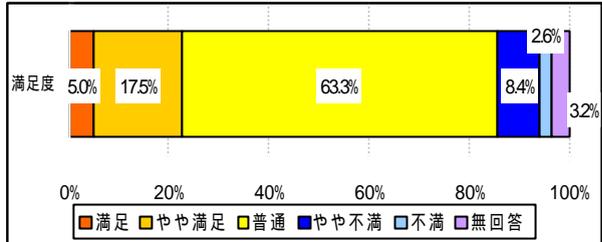
19 文化財や史跡の伝承保存



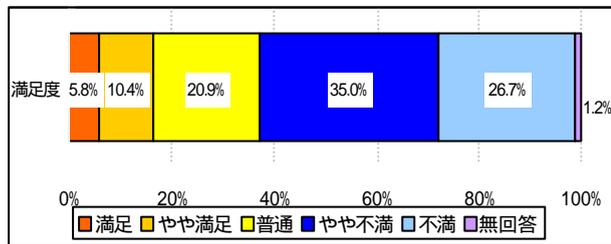
14 住宅事情



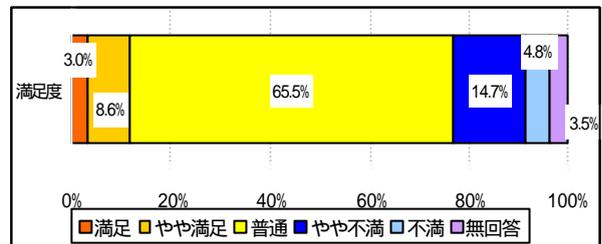
20 スポーツの振興



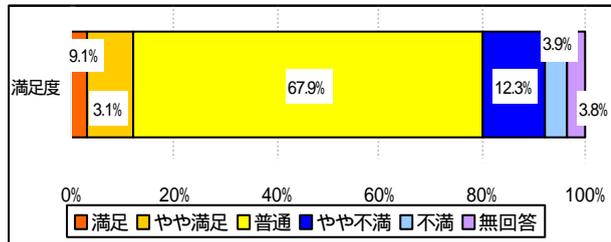
15 道路や歩道の除排雪



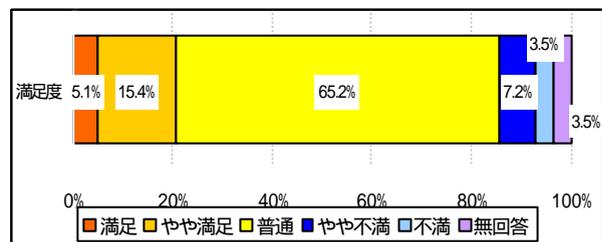
21 青少年の健全育成



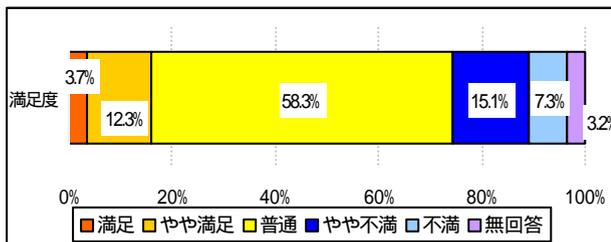
16 生涯学習の場づくり



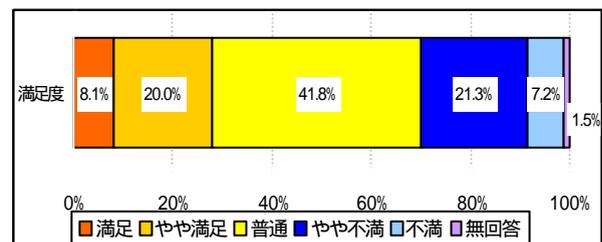
22 国際交流・都市間交流



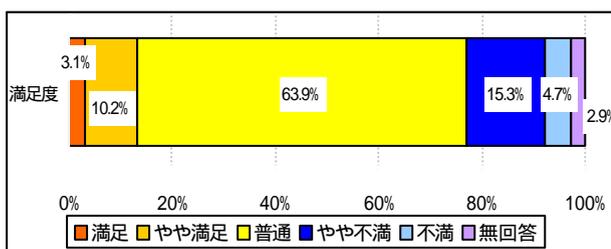
17 小・中学校・高校などの教育環境



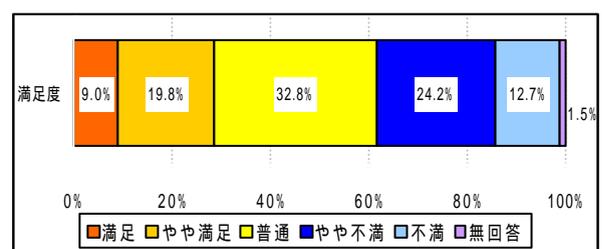
23 道路の整備



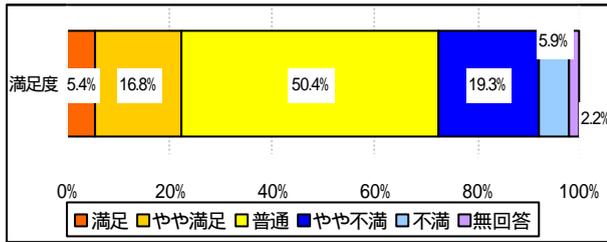
18 芸術・文化の振興



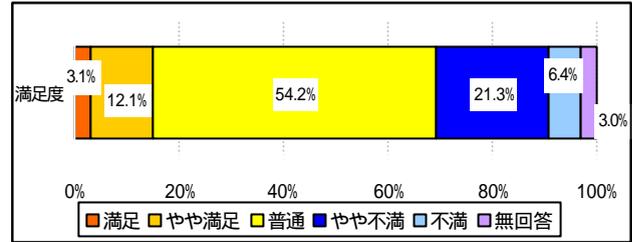
24 鉄道・バスなどの公共交通機関



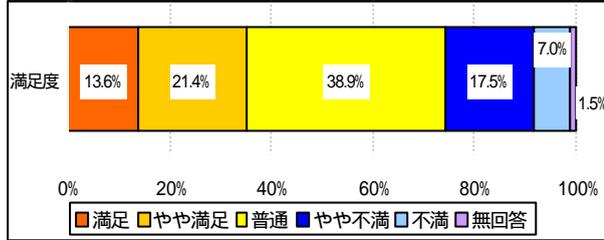
### 25 まちの景観



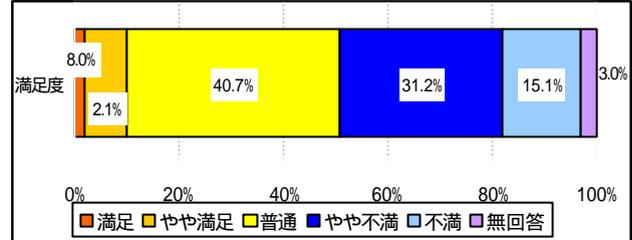
### 28 観光の振興



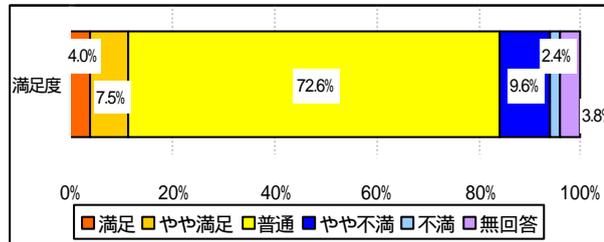
### 26 日常の買い物環境



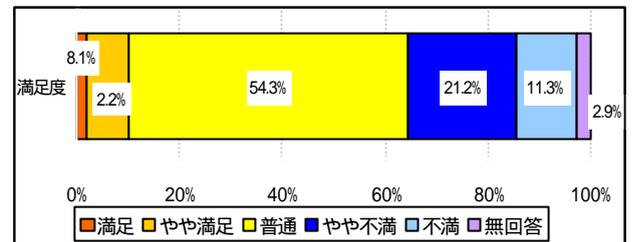
### 29 働く場の確保



### 27 農業の振興



### 30 まちづくりに対する市民と行政の連携



#### 〔前回アンケート結果〕

- ・「満足」「やや満足」の合計の割合が比較的多かった項目は「国道などの幹線道路」「街路樹や緑化」「公園整備」「日常の買い物環境」「家まわりの生活道路、歩道」などであった。
- ・「不満」「やや不満」の割合が比較的多かった項目は「除排雪（道路や歩道）」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「病院・診療所などの医療環境」「駐車場、駐輪場」「救急医療」などであった。

#### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・「公園などの緑化」や「買い物環境」などは前回に引き続いて満足度は高く、「除排雪」や「医療環境」「騒音などの公害」については前回に引き続いて不満度が高い。
- また、「働く場の確保」について不満度が高い理由については、北海道の有効求人倍率が全国と比較して依然として低いことや、パートや期間雇用の求人はあるものの正社員としての求人が極端に少ないという実態を反映しているものと推測できる。

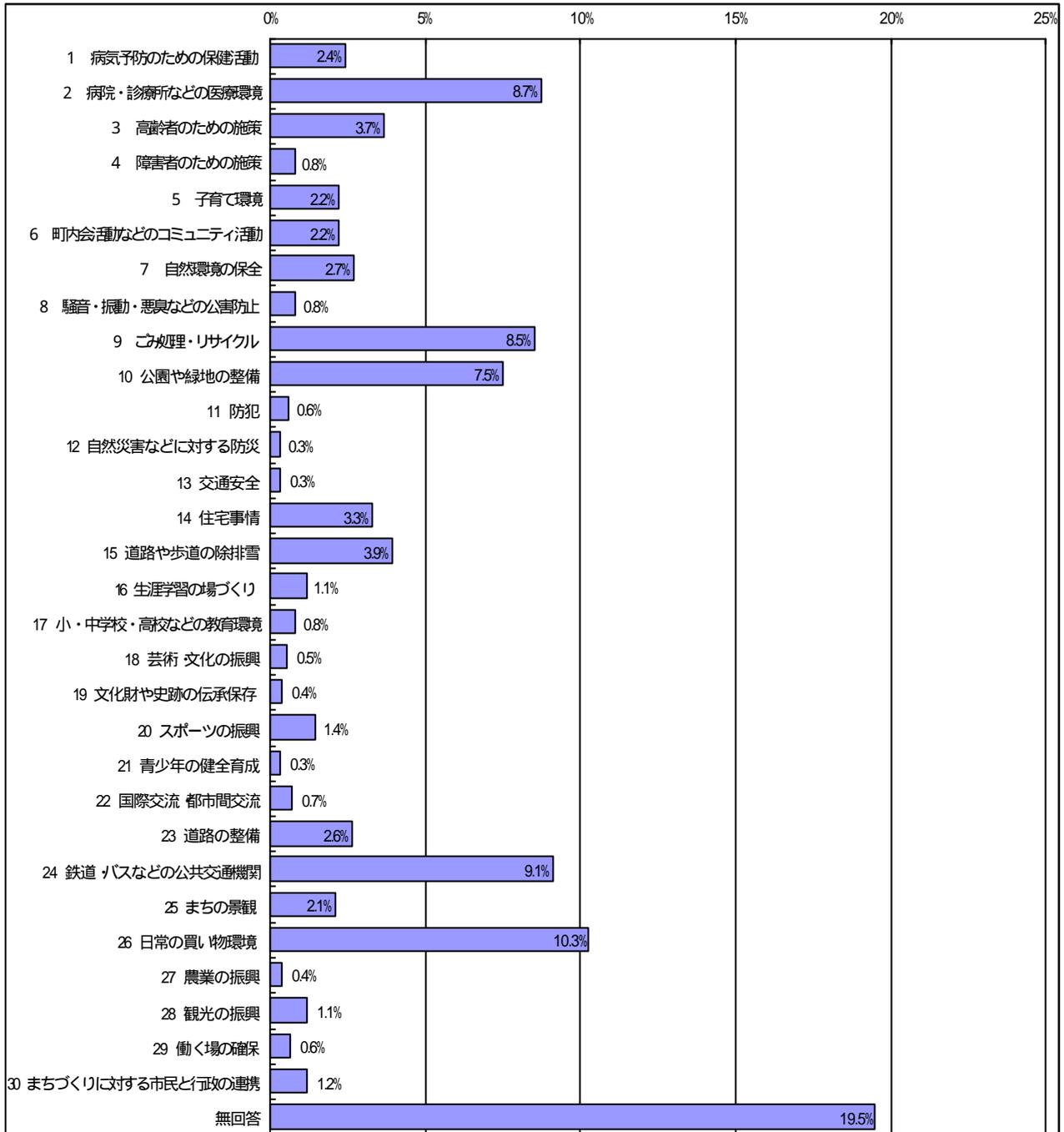
### (3) 住み良くなった点/住みにくくなった点

問3 5年前と比べて千歳市は住み良くなったと感じる点、住みにくくなったと感じる点について、下の表にある30項目からそれぞれ2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください(千歳市での居住年数が5年以上の方だけお答えください。)

#### 《住み良くなった点》について

- ・全体では、「2 病院・診療所などの医療環境」「9 ごみ処理・リサイクル」「10 公園や緑地の整備」「24 鉄道・バスなどの公共交通機関」「26 日常の買い物環境」などの項目が、特に5年前と比較して住み良くなったと感じている市民が多い。
  - ・男女別で見ると、男女ともに「日常の買い物環境」を最も住み良くなった点として評価しており、「病院・診療所などの医療環境」「ごみ処理・リサイクル」「公園や緑地の整備」「鉄道・バスなどの公共交通機関」については男女とも順位は違うがそれぞれトップ5に入っている。
  - ・年代別で見ると、20代から50代までは「日常の買い物環境」を最も住み良くなった点として挙げている。
- また、60代以上では「病院・診療所などの医療環境」を住み良くなった点のトップとしており、「高齢者のための施策」はトップ5に入る結果となっている。(次ページグラフ参照)

## 住み良くなった点 (SA)



## 【住み良くなった点 ベスト5】

### 男女別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	日常の買い物環境 (10.4%)	病院・診療所などの医療環境 (9.7%)	公園や緑地の整備 (9.4%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (8.9%)	ごみ処理・リサイクル (7.8%)
女性	日常の買い物環境 (10.4%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (9.2%)	ごみ処理・リサイクル (9.1%)	病院・診療所などの医療環境 (7.9%)	公園や緑地の整備 (6.0%)

### 年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20代	日常の買い物環境 (10.7%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (8.0%)	ごみ処理・リサイクル (6.1%)	公園や緑地の整備 / まちの景観 (同率5.3%)	
30代	日常の買い物環境 (13.5%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (9.7%)	公園や緑地の整備 (6.4%)	ごみ処理・リサイクル (6.1%)	子育て環境 (5.8%)
40代	日常の買い物環境 (13.2%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (10.4%)	ごみ処理・リサイクル (9.8%)	公園や緑地の整備 (8.7%)	病院・診療所などの医療環境 (6.7%)
50代	日常の買い物環境 (10.0%)	ごみ処理・リサイクル / 鉄道・バスなどの公共交通機関 (同率9.8%)		公園や緑地の整備 (9.3%)	病院・診療所などの医療環境 (7.2%)
60代	病院・診療所などの医療環境 (13.3%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (10.6%)	ごみ処理・リサイクル (9.8%)	日常の買い物環境 (8.8%)	高齢者のための施策 (6.1%)
70代以上	病院・診療所などの医療環境 (16.9%)	公園や緑地の整備 (8.8%)	ごみ処理・リサイクル (7.8%)	高齢者のための施策 (6.6%)	病気予防のための保健活動 / 道路や歩道の除排雪 / 日常の買い物環境 (同率6.0%)

### 〔前回アンケート結果〕

・前回アンケートにおいて「5年前と比べて千歳市が住み良くなったと感じる点」が多かったのは、「買い物が便利になった」「道路や歩道が整備された」「ごみの処理やリサイクルが進んだ」「公園や緑地が整備された」「上下水道等の生活環境が良くなった」などであった。

### 〔前回アンケートとの比較〕

「日常の買い物環境（前回：買い物が便利になった）」

「ごみ処理・リサイクル（前回：ごみの処理やリサイクルが進んだ）」

「公園や緑地の整備（前回：公園や緑地が整備された）」などの項目は前回アンケートと同様、引き続き住み良くなった点として評価されており、年を経ても高い評価を受けていることがわかる。

### 《住みにくくなった点》について

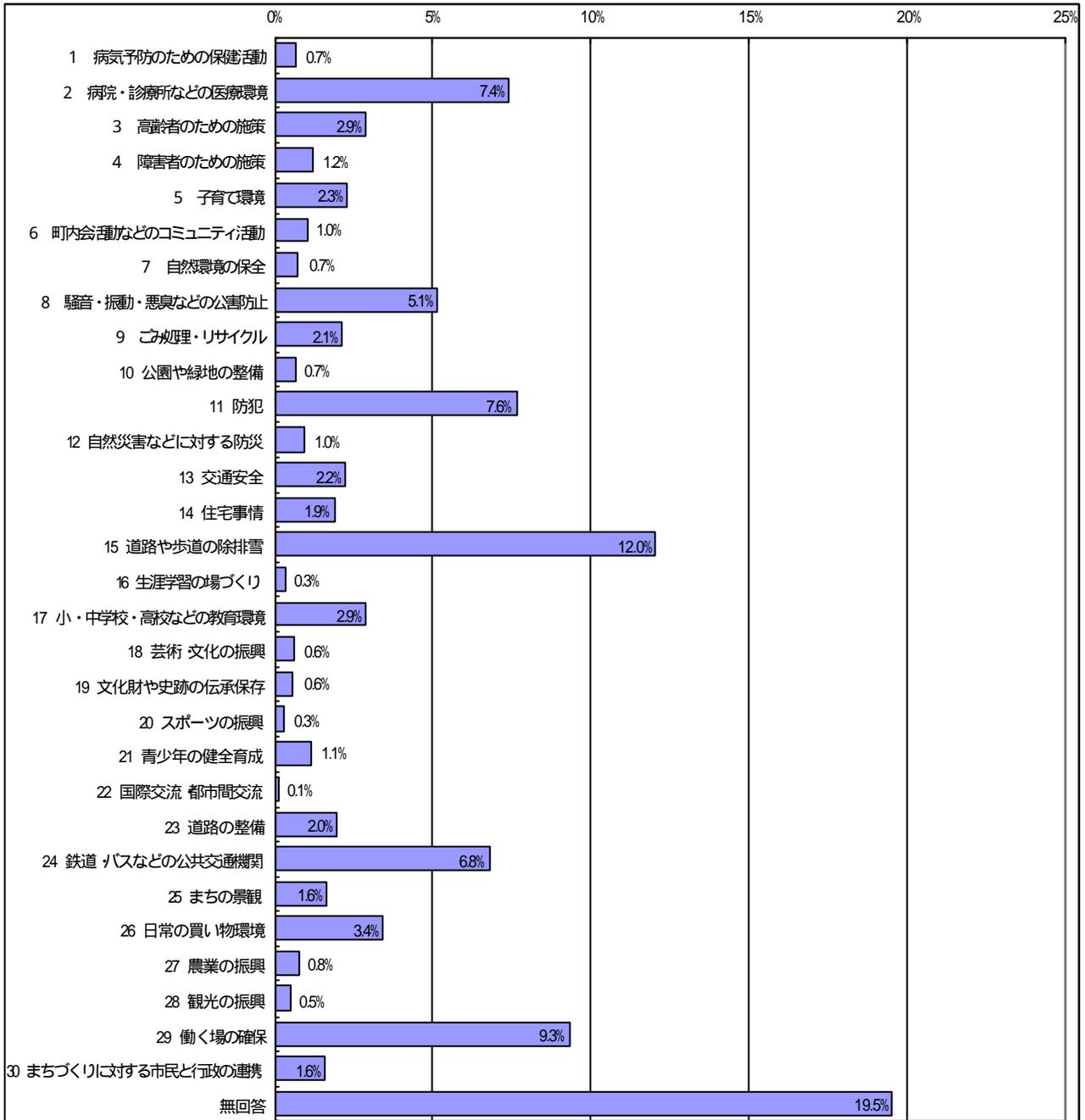
・全体では、「2 病院・診療所などの医療環境」「8 騒音・振動・悪臭などの公害防止」「11 防犯」「15 道路や歩道の除排雪」「24 鉄道・バスなどの公共交通機関」「29 働く場の確保」などの項目が特に5年前と比較して住みにくくなったと感じている市民が多い。

なお、これらの項目のうち「病院・診療所などの医療環境」「鉄道・バスなどの公共交通機関」については、住み良くなった点と住みにくくなった点のそれぞれ両方で上位を占めており、同じ項目であっても住みよい、住みにくいとする両方の意見が多数を占める例となっている。

- ・男女別で見ると、男女ともに「道路や歩道の除排雪」を住みにくくなった点のトップに挙げている。
- ・年代別で見ると20代～40代と60代は「道路や歩道の除排雪」を最も住みにくくなった点として挙げているが、50代と70代以上の世代は「働く場の確保」を最も住みにくくなった点としている。

(次ページグラフ参照)

### 住みにくくなった点 (SA)



## 【住みにくくなった点 ベスト5】

### 男女別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男 性	道路や歩道の除排雪 (12.9%)	働く場の確保 (10.9%)	防犯 (7.6%)	騒音・振動・悪臭などの公害防止／鉄道・バスなどの公共交通機関 (同率5.8%)	
女 性	道路や歩道の除排雪 (11.0%)	病院・診療所などの医療環境 (9.5%)	働く場の確保 (7.9%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (7.8%)	防犯 (7.7%)

### 年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20代	道路や歩道の除排雪 (6.8%)	騒音・振動・悪臭などの公害防止／防犯 (同率6.4%)		病院・診療所などの医療環境 (6.1%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (4.9%)
30代	道路や歩道の除排雪 (11.3%)	病院・診療所などの医療環境 (10.4%)	防犯 (8.5%)	子育て環境／鉄道・バスなどの公共交通機関 (同率5.2%)	
40代	道路や歩道の除排雪 (12.4%)	防犯 (10.1%)	病院・診療所などの医療環境 (9.6%)	働く場の確保 (8.7%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (7.3%)
50代	働く場の確保 (12.9%)	道路や歩道の除排雪 (9.8%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (8.6%)	病院・診療所などの医療環境 (7.7%)	高齢者のための施策 (7.2%)
60代	道路や歩道の除排雪 (12.2%)	働く場の確保 (10.1%)	防犯 (8.5%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (6.1%)	病院・診療所などの医療環境 (5.9%)
70代以上	働く場の確保 (10.6%)	道路や歩道の除排雪 (10.3%)	鉄道・バスなどの公共交通機関 (7.8%)	高齢者のための施策／日常の買い物環境 (同率5.3%)	

### 〔前回アンケート結果〕

- ・前回アンケートにおいて「5年前と比べて千歳市が住みにくくなったと感じる点」が多かったのは、「違法駐車や放置自転車が増えた」「交通量（渋滞）が増えた」「風紀や生活マナーが悪くなった」「除排雪が悪くなった」「騒音・振動・悪臭が増えた」などであった。

### 〔前回アンケートとの比較〕

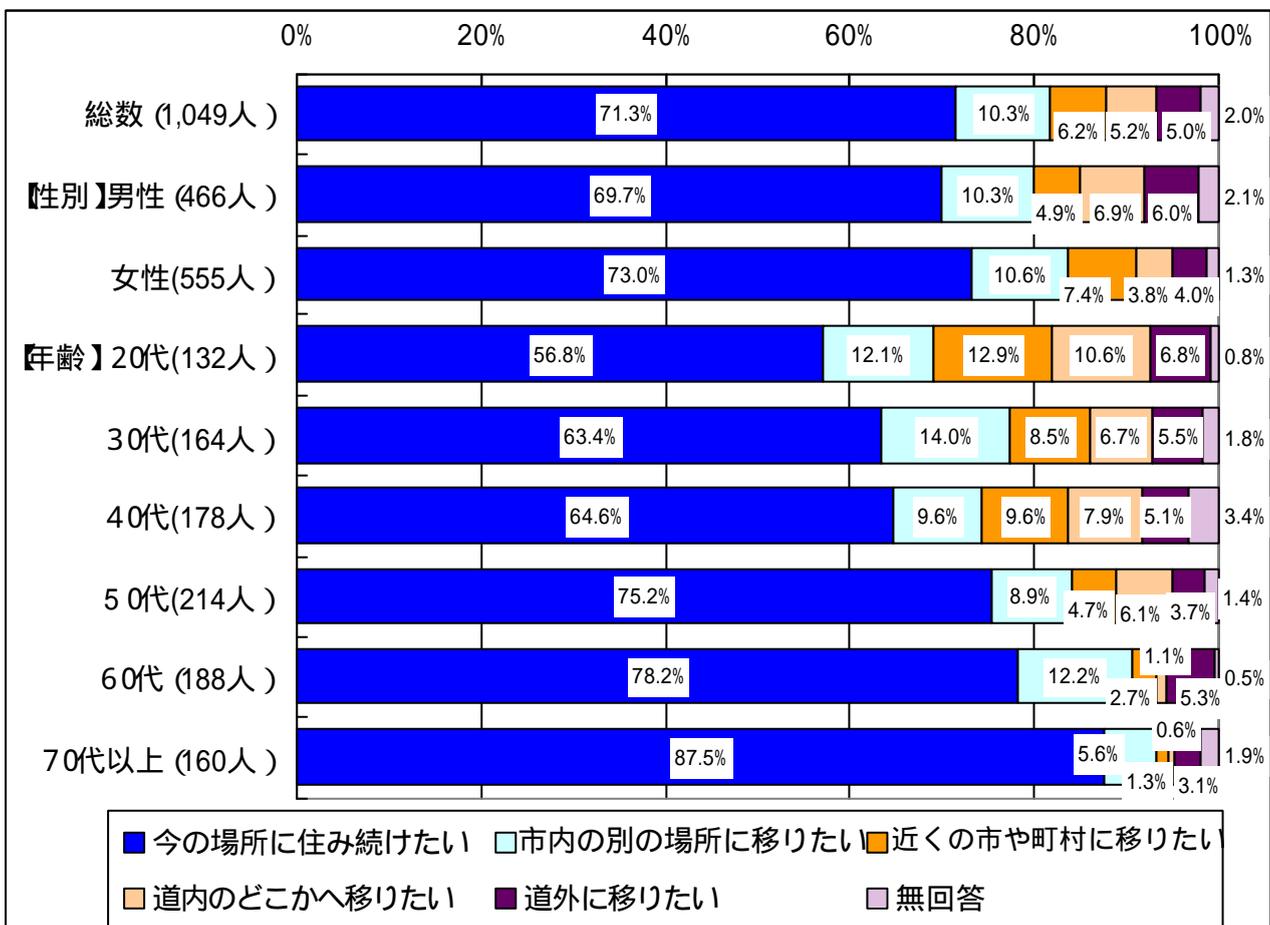
- ・今回アンケートにおいても「騒音・振動・悪臭などの公害防止（騒音・振動・悪臭が増えた）」「道路や歩道の除排雪（除排雪が悪くなった）」などの項目は前回に引き続き住みにくくなった点として評価されており、特に「除排雪」の問題は「現在の満足度」（問2）の結果と比較しても満足度は低い結果となっている。

#### (4) 定住意向

問4 あなたは、これからも千歳市に住み続けたいと思いますか。一つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。  
また、回答が1以外の場合、具体的に住みたい場所や地域を記載願います。

- ・全体では「今の場所に住み続けたい」が71.3%で最も多く、「道外に移りたい」が5.0%と最も少ない。
- ・男女別に見ると、男女間で際立った違いは見られないが、「近くの市や町村に移りたい」とするのは男性よりも女性の方が多い。
- ・年代別に見るとほぼ全年代で「今の場所に住み続けたい」とする割合が半数以上となっており、この割合は高齢になるほど増える傾向となっている。(グラフ参照)

定住意向 (SA)



・また、「今の場所に住み続けたい」以外の場合に、具体的に記載のあった住みたい場所や地域は以下のとおりである。

市内	道内	道外
千歳駅周辺	札幌市	熊本
飛行機の騒音がない所	恵庭市	沖縄
交通の便の良い所	苫小牧市	東京都
日当たりの良い所	函館市	九州
青葉	伊達市	九州
長部	北広島市	東京近郊
桂木	旭川市	仙台
栄町	小樽	東北
住吉	帯広	関東
高台	二セコ	海外
市民病院の近く	後志方面	雪の降らない所
市中心部	江別市	浦安市
騒音及び悪臭のない所	島松	神奈川
朝日町	恵み野	京都
長部駅前	道南方面(地元)	成田市
春日	飛行機の空路になっていない所	福岡
北栄	北見市	オーストラリア
駒里	苫小牧市	暖かい所
支笏湖	美幌町(実家)	仕事のある所
新豊	道南	騒音のない所
東郊	自然の多い所	
北陽	天候の良い所	
幌加	母子家庭に優しい所	
東千歳		
向陽台以外		
幸町・清水町以外		
市営住宅(収入が少ない為)		
〃 (除雪の必要のない所)		
市営住宅から出たいのでそれ以外の場所		
千歳駅近くの静かな地域		
イトヨーカ堂近辺		
鉄道の騒音のない場所		
自衛隊がうるさくない静かな場所		
交通・道路環境のいい所		
バスを利用出来る所		
2階のないリフトの所		
生活環境が充実している地域		
住居街から市街へ行きたい		
高齢者に便利な所		
老後に便利の良い所		
店が沢山ある所		
ADSLや光の使える所		

### 〔前回アンケート結果〕

- ・前回アンケートでは、今回同様「今の場所に住み続けたい」とするのが全体の71.0%であり一番多い結果であった。
- また、一番少なかったのは、今回のアンケート同様「道外に移りたい」とするものであり、全体の4.0%であった。
- ・男女別では、市内での転居を含めた千歳市の定住意向は男女ともに8割を越えほぼ同率となっているが、「近くの市や町村」へ移りたいとする意向は男性よりも女性の方が強い。
- ・一方、年代別に見ると「今の場所に住み続けたい」とする割合は、高齢になるほど増える傾向である。

### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートも、全体では7割以上が今の場所での生活に満足している市民が多く、前回アンケートと同様の結果となっている。
- ・男女別では、前回同様、市内での転居を含めた千歳市の定住意向は男女ともに8割を超えており、「近くの市や町村へ移りたい」とする意向は男性よりも女性の方が強い結果となっている。
- ・年代別では、これも前回と同様「今の場所に住み続けたい」とする傾向は、高齢になるほど増加する結果となっている。

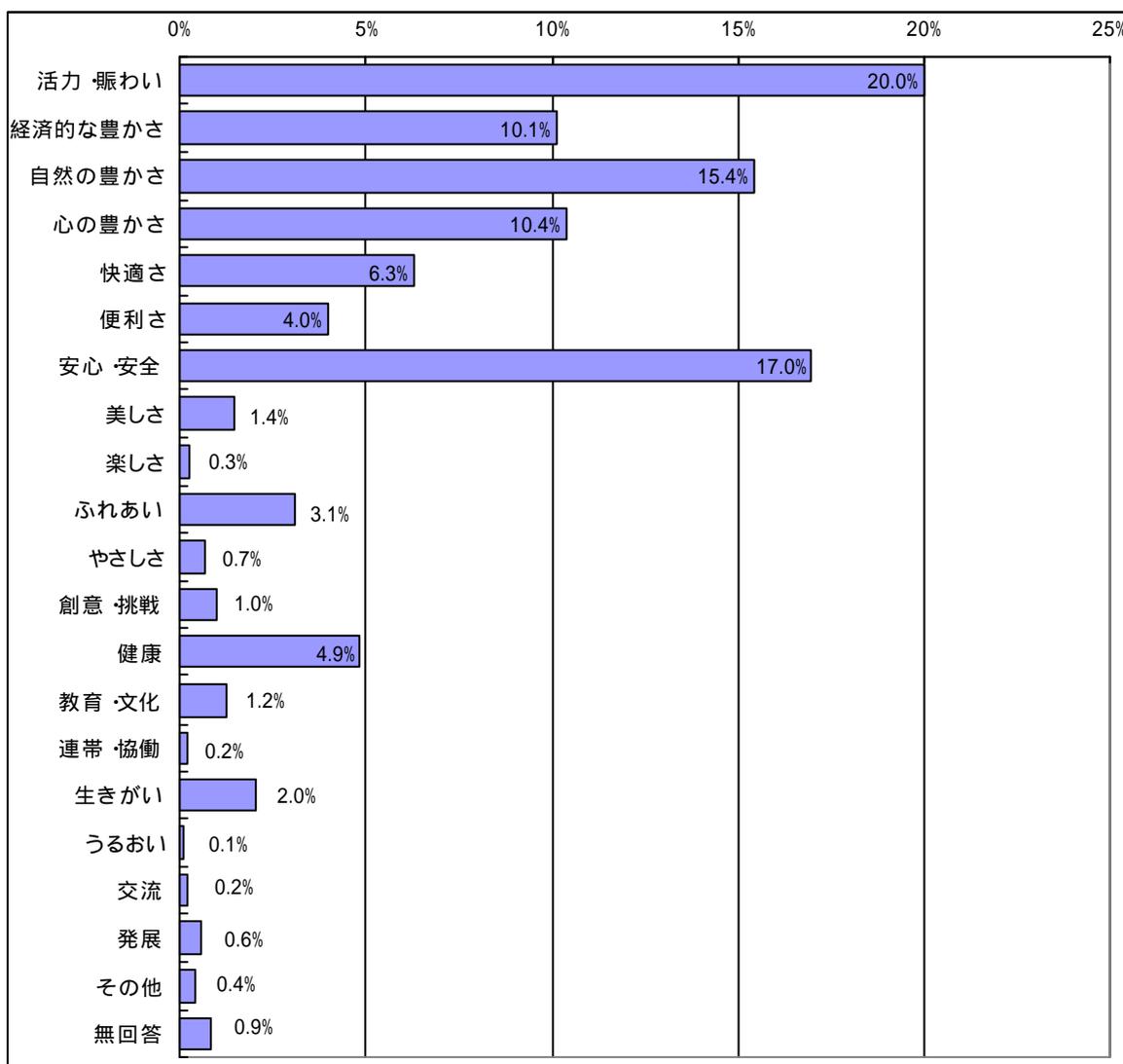
## 2 まちづくりのキーワード・重点分野・将来都市像

### (1) まちづくりの今後のキーワード

問5 あなたは、今後の千歳市の“まちづくり”を表す「言葉(キーワード)」として、どのようなことが重要とお考えですか。2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「活力・賑わい」が最も多く、以下「安心・安全」「自然の豊かさ」と続く。
- ・男女別で見ると男女ともに「活力・賑わい」が最も多く、以下男女ともに「安心・安全」「自然の豊かさ」と続く。
- ・年代別で見ると、60代を除く全ての年代が「活力・賑わい」を最も多く選択している。一方、60代は「安心・安全」を最も多く選択しているものの、「活力・賑わい」を次点としている。(グラフ参照)

まちづくり「キーワード」(2LA)



## 【まちづくりのキーワード ベスト5】

### 男女別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	活力・賑わい (21.7%)	安心・安全 (17.4%)	自然の豊かさ (14.8%)	心の豊かさ (12.2%)	経済的な豊かさ (9.7%)
女性	活力・賑わい (19.1%)	安心・安全 / 自然の豊かさ (同率 16.6%)		経済的な豊かさ (10.5%)	心の豊かさ (8.6%)

### 年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20代	活力・賑わい (25.0%)	自然の豊かさ (15.9%)	快適さ (12.9%)	安心・安全 (12.1%)	心の豊かさ (8.3%)
30代	活力・賑わい (20.7%)	安心・安全 (17.7%)	経済的な豊かさ (15.9%)	自然の豊かさ (12.8%)	快適さ (9.8%)
40代	活力・賑わい (17.4%)	安心・安全 (16.9%)	自然の豊かさ (15.8%)	経済的な豊かさ / 心の豊かさ / 快適さ (同率 9.0%)	
50代	活力・賑わい (19.2%)	安心・安全 / 自然の豊かさ (同率 18.2%)		心の豊かさ (11.7%)	経済的な豊かさ (10.3%)
60代	安心・安全 (21.3%)	活力・賑わい (18.1%)	自然の豊かさ (16.0%)	心の豊かさ (14.4%)	経済的な豊かさ (9.6%)
70代以上	活力・賑わい (21.9%)	安心・安全 / 自然の豊かさ (同率 14.4%)		経済的な豊かさ (13.1%)	心の豊かさ (12.5%)

### 〔前回アンケート結果〕

- ・前回アンケート調査では「自然の豊かさ」が一番となっており、以下「安心・安全」「心の豊かさ」「経済的な豊かさ」「活力・賑わい」と続く。
- ・男女別に見ると、男性・女性ともに「自然の豊かさ」が第1位となっており、年代別に見ても全ての年代で「自然の豊かさ」が第1位となっている。
- ・年代別で見ると各年代とも「自然の豊かさ」を最も多く挙げている。

### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートでは前回第5位であった「活力・賑わい」が今回のアンケートでは全体での第1位となっており、市民が第一に望んでいるのは市の活性化であるということがいえる。  
また、前回上位だったその他の項目も本アンケートにおいても上位となっている傾向が見られる。
- ・男女別で見ると、今回のアンケートではこの「活力・賑わい」が男女ともに第1位となっており、年代別でも60代を除く全ての年代で第1位となっている。(60代でも第2位)  
また、前回アンケートで第1位の「自然の豊かさ」は今回は第1位ではないものの、男女別、年代別それぞれにおいて今回アンケートではベスト5に入っている。
- ・年代別では、今回のアンケートでは「活力・賑わい」が最も多いことから、前回とは違った結果となっている。しかし、「自然の豊かさ」については各年代においてベスト5に入っている。

### その他の回答

自分らしさ
信頼
騒音のない町
ゆとり

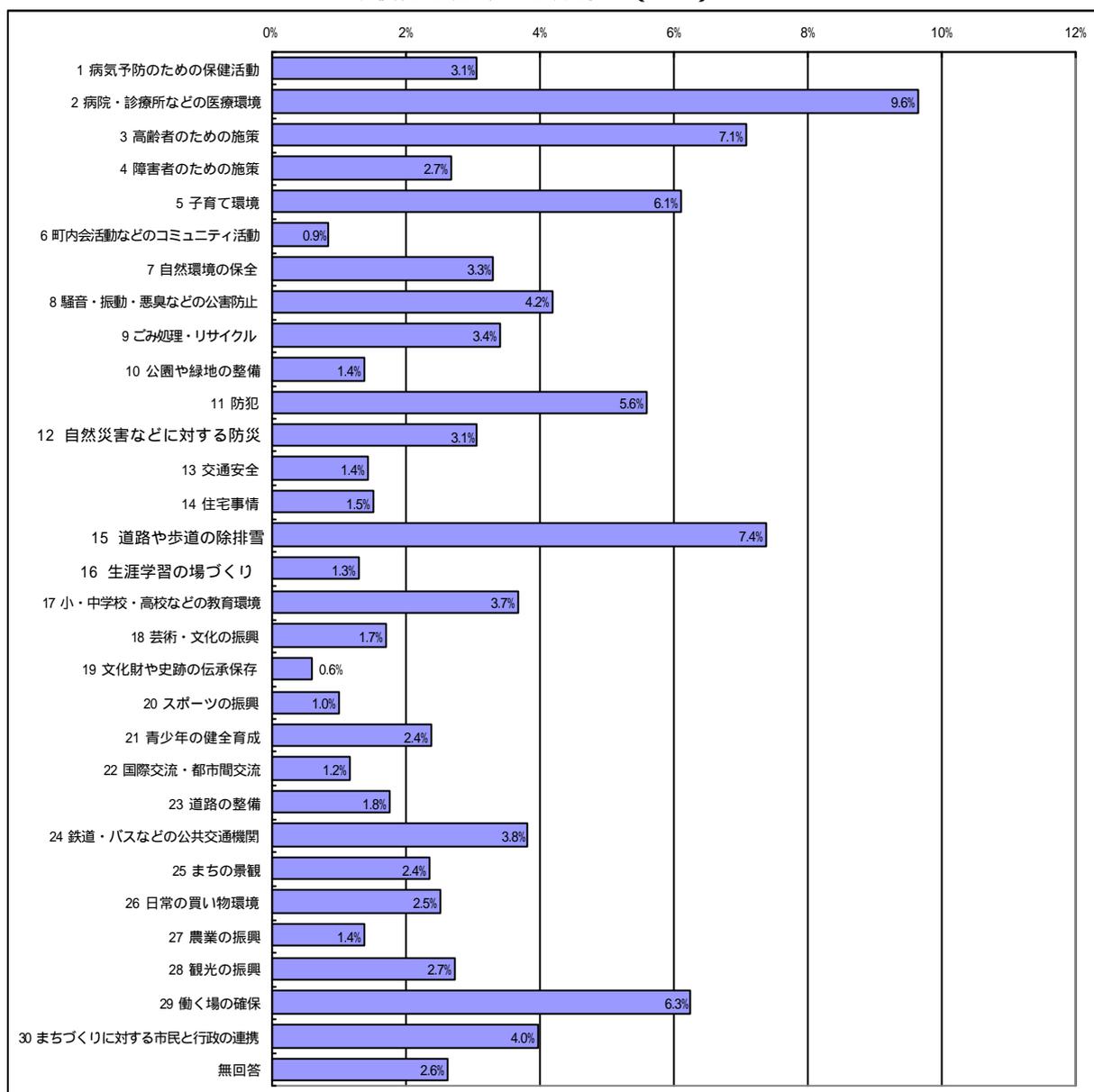
## (2) 今後力を注ぐべき分野

問6 あなたは、千歳市がまちづくりを進めるために、今後どの分野に力をそそぐべきだとお考えですか。下の表にある30項目から5つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「2 病院・診療所などの医療環境」が最も多く、以下「15 道路や歩道の除排雪」「3 高齢者のための施策」「29 働く場の確保」「5 子育て環境」「11 防犯」と続く。  
なお、「病院・診療所などの医療環境」「道路や歩道の除排雪」「働く場の確保」「防犯」などは現在の満足度調査項目である問2の結果においても低く、問3の「5年前と比べ住みにくくなったと感じる点」においても上位項目となっている。
- ・男女別で見ると、男女ともに「2 病院・診療所などの医療環境」を最も多く挙げている。
- ・年代別で見ると、50代までは「2 病院・診療所などの医療環境」を最も多く挙げているが、60代以上は「3 高齢者のための施策」を最も多く挙げている。

(次ページグラフ参照)

## 今後力を注ぐべき分野（5LA）



## 【今後力を注ぐべき分野 ベスト5】

### 男女別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	病院・診療所などの医療環境 (8.2%)	高齢者のための施策 (6.9%)	道路や歩道の除排雪 / 働く場の確保 (同率6.7%)		防犯 (6.1%)
女性	病院・診療所などの医療環境 (11.0%)	道路や歩道の除排雪 (8.0%)	高齢者のための施策 (7.2%)	子育て環境 (6.8%)	働く場の確保 (5.9%)

### 年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20代	病院・診療所などの医療環境 (8.6%)	子育て環境 (7.9%)	道路や歩道の除排雪 (6.4%)	防犯 (6.2%)	働く場の確保 (6.1%)
30代	病院・診療所などの医療環境 (13.2%)	子育て環境 (9.5%)	防犯 (8.2%)	道路や歩道の除排雪 (7.7%)	働く場の確保 (5.1%)
40代	病院・診療所などの医療環境 (12.1%)	道路や歩道の除排雪 (7.5%)	防犯 (7.0%)	小・中学校・高校などの教育環境 (6.4%)	働く場の確保 (6.3%)
50代	病院・診療所などの医療環境 (9.9%)	高齢者のための施策 (8.4%)	道路や歩道の除排雪 (7.7%)	働く場の確保 (7.6%)	子育て環境 (5.2%)
60代	高齢者のための施策 (9.9%)	病院・診療所などの医療環境 (7.4%)	道路や歩道の除排雪 (6.4%)	働く場の確保 (6.3%)	まちづくりに対する市民と行政の連携 (5.5%)
70代以上	高齢者のための施策 (9.6%)	道路や歩道の除排雪 (8.8%)	病院・診療所などの医療環境 (7.0%)	病気予防のための保健活動 / 働く場の確保 (同率5.9%)	

#### 〔前回アンケート結果〕

- ・前回アンケートでは「高齢者のための施策の充実」が第1位となっており、以下「除排雪（道路や歩道）」、「医療環境」、「救急医療対策」、「働く場の確保」と続く。
- ・一方、男女別に見ると男性は「除排雪」、女性は「医療環境」がそれぞれ第1位となっている。
- ・年代別に見るとそれぞれの年代で重点施策分野の順位付けが異なっているが「医療環境」や「除排雪」については各年代ともに上位に挙げている。

#### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートでは「病院・診療所などの医療環境」が最も多く、以下「道路や歩道の除排雪」「高齢者のための施策」「働く場の確保」「子育て環境」「防犯」と続いており、ほぼ同様の項目について前回に引き続き、力を注ぐべき分野としていることがわかる。
- ・男女別では男性、女性ともに「病院・診療所などの医療環境」が最も多い結果となっており、「医療環境」については引き続き重要視されていることがわかる。

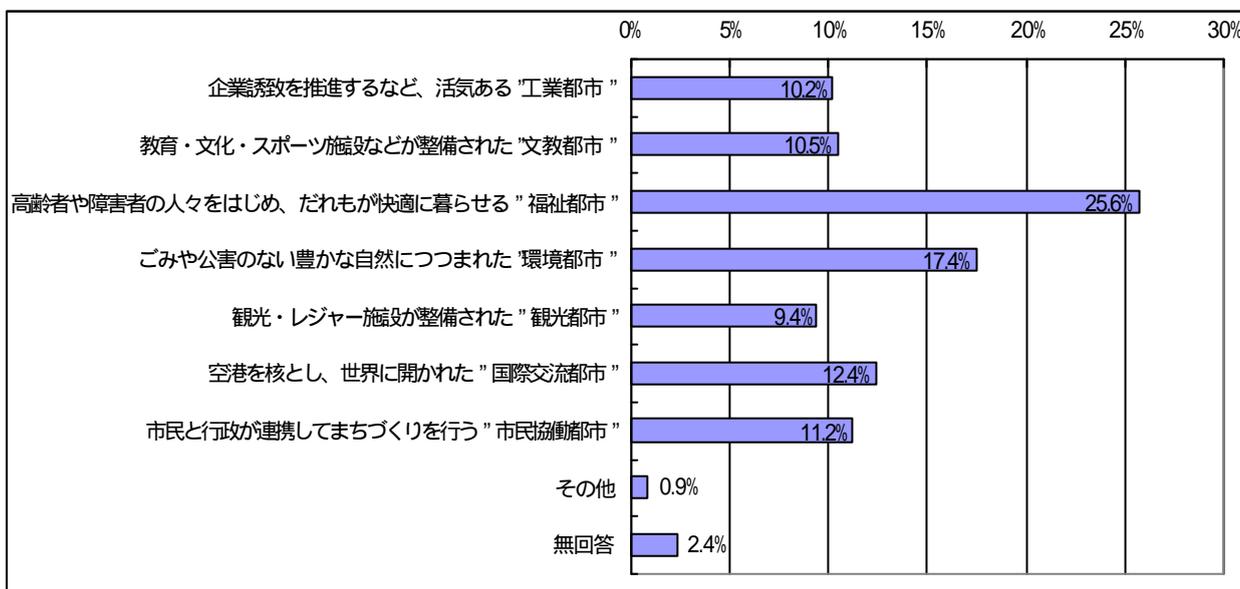
- ・年代別に見ると 60 代以上は「高齢者のための施策」が第 1 位であるものの、その他の年代は「病院・診療所などの医療環境」が最も多い結果となっている。  
また、「子育て環境」や「防犯」「働く場の確保」などはそれぞれ年代ごとのばらつきはあるものの、上位にランキングされている。

### (3) 将来都市像

問7 あなたは、将来の千歳市をどのようなイメージの都市にすべきとお考えですか？2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「福祉都市」が最も多く、以下「環境都市」「国際交流都市」「市民協働都市」と続く。
- ・男女別で見ると男性、女性共に「福祉都市」が最も多く、男女ともに第2位は「環境都市」となっている。  
また、「市民協働都市」は男性では第5位であるが、女性では第3位となっており、男性よりも女性に関心の高さが見受けられる。
- ・年代ごとに見ても30代以外は全て「福祉都市」が最も多い結果となっているが、30代の第2位も「福祉都市」となっている。  
一方、40代以下の世代はトップ5以内に「文教都市」を選択しており、文化的なまちづくりは比較的若い世代が望んでいることがわかる。  
また、50代以上になると「工業都市」を選択する割合が増える傾向にある。（グラフ参照）

将来都市像（2LA）



## 【将来都市像 ベスト5】

### 男女別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	福祉都市 (21.5%)	環境都市 (17.4%)	国際交流都市 (15.0%)	工業都市 (12.0%)	市民協働都市 (11.6%)
女性	福祉都市 (29.0%)	環境都市 (18.3%)	市民協働都市 (11.0%)	文教都市 (10.4%)	国際交流都市 (10.2%)

### 年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20代	福祉都市 (18.6%)	環境都市 / 国際交流都市 (同率17.0%)		観光都市 (16.7%)	文教都市 (12.9%)
30代	環境都市 (22.0%)	福祉都市 (20.4%)	文教都市 (14.0%)	国際交流都市 (13.4%)	観光都市 (12.8%)
40代	福祉都市 (24.7%)	環境都市 (17.4%)	文教都市 (14.0%)	国際交流都市 (12.6%)	市民協働都市 (10.4%)
50代	福祉都市 (26.9%)	環境都市 (19.9%)	国際交流都市 (12.4%)	工業都市 (11.0%)	市民協働都市 (10.0%)
60代	福祉都市 (29.0%)	市民協働都市 (15.7%)	工業都市 (13.8%)	環境都市 (13.6%)	国際交流都市 (9.3%)
70代以上	福祉都市 (32.5%)	環境都市 (15.9%)	工業都市 (13.4%)	市民協働都市 (11.9%)	国際交流都市 (11.6%)

#### 〔前回アンケート結果〕

- ・前回アンケートでは「福祉都市」が第1位となっており、以下「環境都市」「国際交流都市」と続く。
- ・男女別に見ると男性・女性ともに「福祉都市」が第1位、「環境都市」が第2位となっている。
- ・年代別に見ると「環境都市」を第1位とした割合は20代や30代に多いものの、40代以上の世代は「福祉都市」を第1位としている。

#### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートにおいても全体では「福祉都市」が最も多く、これ以降の順位も前回調査とほぼ同様である。
- ・男女別で見ると男性・女性ともに「福祉都市」を第1位としており、前回アンケートと同様の結果である。
- ・年代別で見るとほとんどの世代で「福祉都市」を最も多く選択しており、「環境都市」を最も多く選択しているのは30代ということも前回アンケートの傾向と同様である。

その他 の回答

カジノのある都市
空港を核とし道内全方向に発信できる都市
景観を重視した国際交流都市
子供から高齢者までが楽しく交流・対話ができる都市
子供達の成長にとっていい環境の都市
子供を育てている人に優しく援助できる都市（少子化で高齢者ばかりになると今後誰が町を支えるのか？）
ごみや公害が無く安全なやすらげる都市
様々な文化やライフスタイルを受容できる多様な文化が花開く都市
地域の特殊産物（名産品・特殊加工品）を有する生産産業都市
地下街のある都市
犯罪の少ない都市
犯罪を完全に無くしたセキュリティ都市
老若男女の協力・助け合いのある都市（災害時でも助け合えるような）
若い世代が快適に暮らせる都市
若者を中心としたプロジェクトチームを作り、今何が求められているかをよく考えたまちづくりを行う都市（市に求められているものはなにか考える）
何も期待しない

### 3 産業・経済の振興

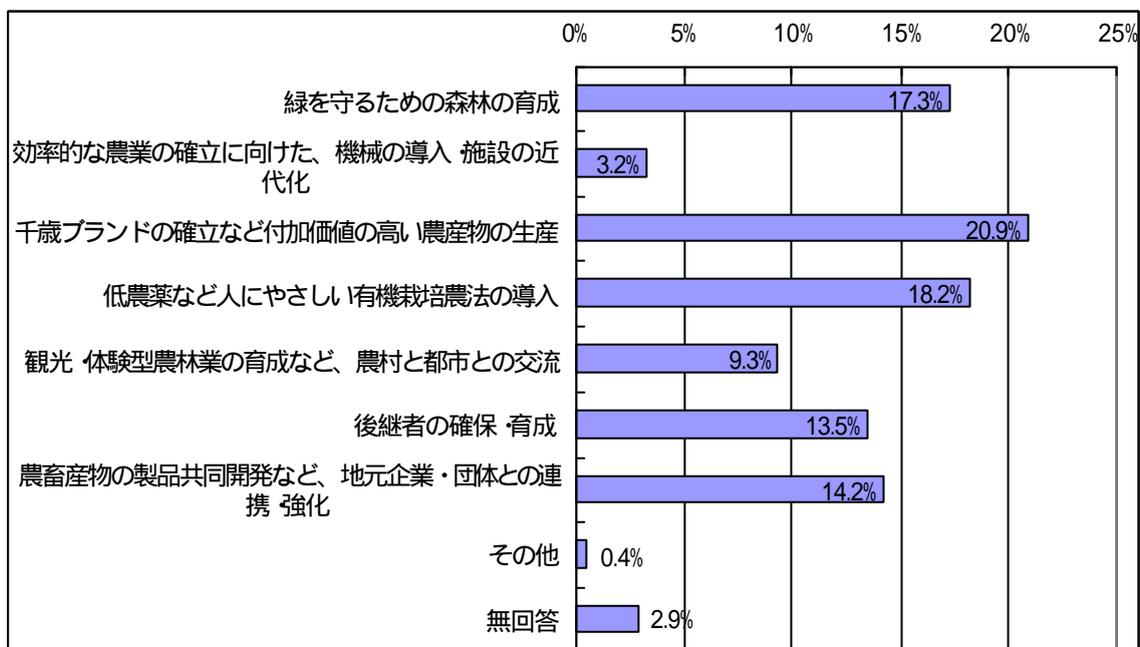
#### (1) 農林業の振興

問8 あなたは、千歳市の農林業を振興するために、どのようなことが重要とお考えですか。2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

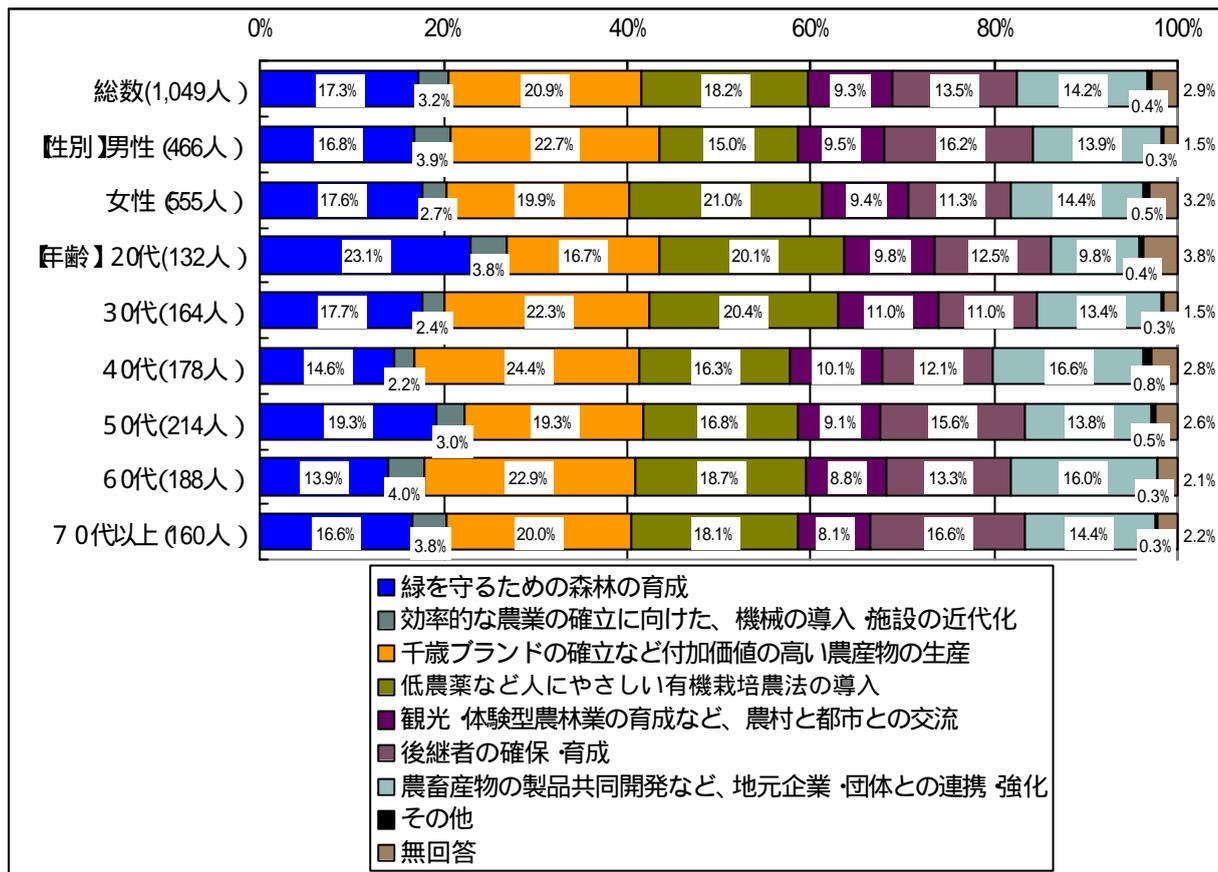
- ・全体で見ると、「千歳ブランドの確立など付加価値の高い農産物の生産」が最も多いことから、千歳らしく、千歳を代表するような農産物の生産が望まれていることがわかる。  
以下「低農薬など人にやさしい有機栽培農法の導入」「緑を守るための森林の育成」と続く。
- ・男女別に見ると、男性は「千歳ブランドの確立」を最も多く挙げているが、女性は「低農薬などの有機栽培農法の導入」を最も多く挙げている。
- ・年代別で見るとほとんどの年代で「千歳ブランドの確立」を第1位としているが、「森林の育成」や「低農薬などの有機栽培農法の導入」なども各世代において上位となっている。

(グラフ参照)

農林業を振興するために重要なこと (2LA)



## 農林業を振興するために重要なこと (2LA)



### 〔前回アンケート結果〕

- ・全体で見ると「有機栽培農法の導入」が最も多く、以下「緑を守るための森林の育成」、「ブランド確立や流通・販売体制整備」と続く。
- ・男女別に見ると、男性は「緑を守るための森林の育成」を第1位としているのに対し、女性は「有機栽培農法の導入」を第1位としており、女性は有機栽培農法への意識が高い結果となっている。
- ・年代別では、20代が「緑を守るための森林の育成」を第1位に挙げているほか、各年代が「有機栽培農法の導入」を多く挙げている。

### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・前回アンケートで第1位だった「有機栽培農法の導入」については本アンケートにおいては第2位となっており、今回第1位となっているのは前回第3位であった「ブランドの確立」である。また、「森林の育成」については今回も前回と同様、高い評価を得ていることから農林業の振興には欠かせないものとして引き続き考えられていると思われる。
- ・男女別の結果を見ると、男性は「千歳ブランドの確立」を最も多く選択し、前回とは異なった結果となっている。また、女性は「有機栽培農法の導入」を最も多く選択しており、前回と同様の結果となっている。
- ・年代別の結果では、20代が「緑を守るための森林の育成」を一番多く挙げており、その他の年代では「千歳ブランドの確立」を最も多く挙げており、前回と同じ結果である。

### その他 の回答

後継者育成と共に、中高年も若者に教わる事が大切。共存共栄が大事

農道整備・排水基盤の整備

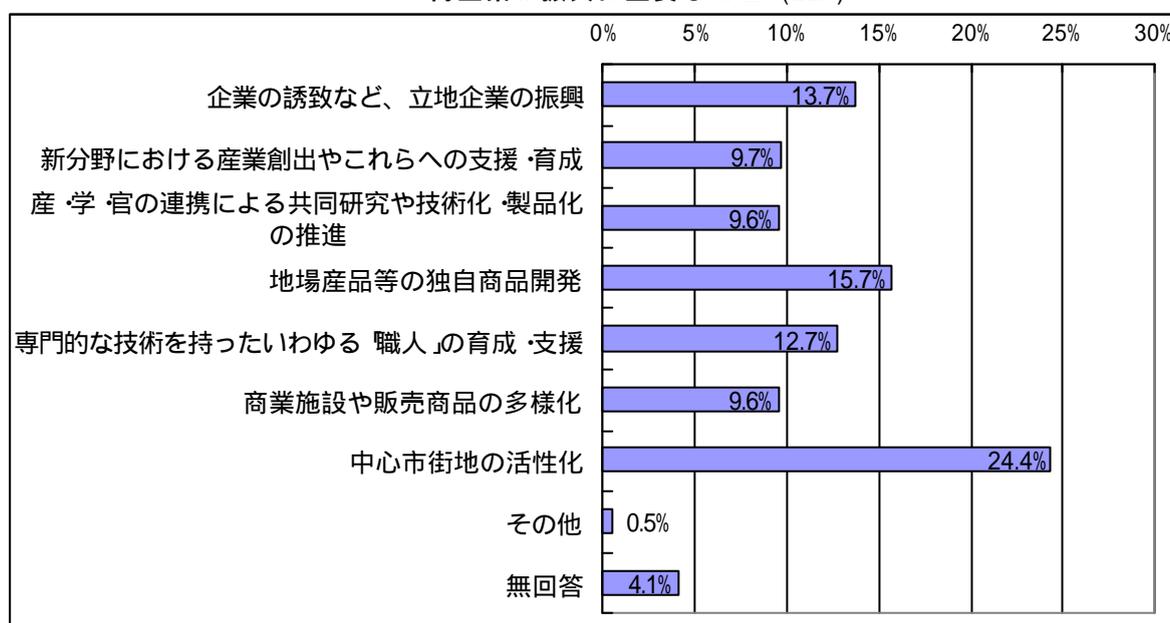
市民(子供から大人まで)の協力参加

## (2) 商工業の振興

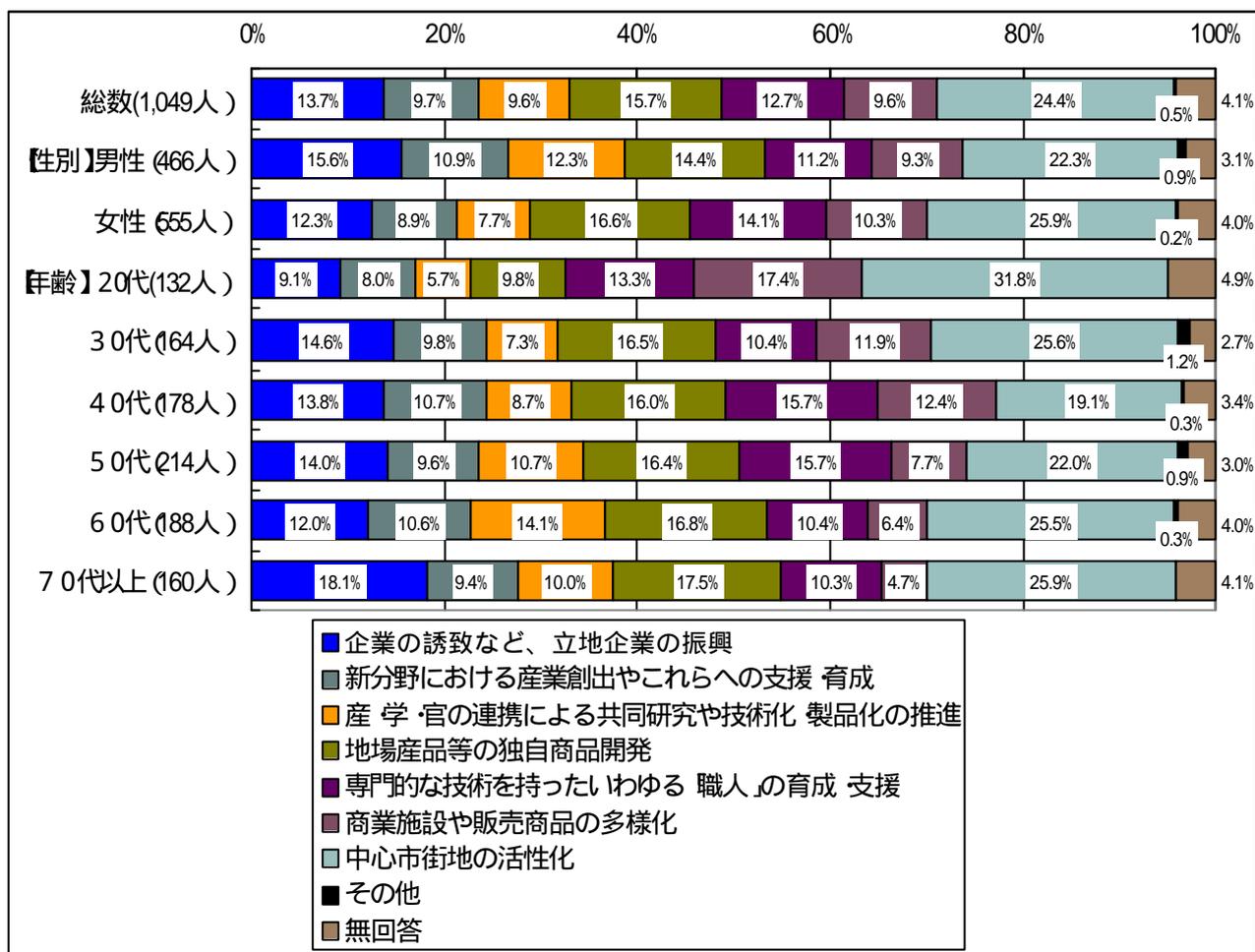
問9 あなたは、千歳市の商工業を振興するために、どのようなことが重要とお考えですか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「中心市街地の活性化」が最も多い。  
以下「地場産品等の独自商品開発」「企業の誘致など、立地企業の振興」と続く。
- ・男女別で見ると、男女ともに「中心市街地の活性化」が最も多い結果となっている。  
また、「企業の誘致など、立地企業の振興」や「産・学・官の連携による共同研究や技術化・製品化の推進」については女性よりも男性が多く、「地場産品等の独自商品開発」や「職人の育成」などについては男性よりも女性の方が高い傾向がある。
- ・年代別に見ると全ての年代で「中心市街地の活性化」が最も多いが、20代は「商業施設や販売商品の多様化」がこれに次いで高い割合を示している。  
また、「地場産品等の独自商品開発」も30代以上の各年代において比較的高い割合を占めている。  
(グラフ参照)

商工業の振興に重要なこと (2LA)



### 商工業の振興に重要なこと (2LA)



#### 〔前回アンケート結果〕

- ・前回アンケートでは商業の振興のために「日常の買い物で希望すること」や「中心市街地の活性化」という視点から設問を設定していたため単純な比較はできないが、日常の買い物で希望することでは「商品の質をよくする」とする希望が最も多かった。
- また、中心市街地の活性化に重要なことについては「道路拡張など車の流れをよくする」や「景観を良くする」などが上位を占めた。

#### その他 の回答

挨拶等普通に言える商店が増えること
店員の態度がいい店作り
地域の集約化
駐車場の確保
中心コミュニティの商業地区化
幸町を中心街とするなら過去の話。今盛況な地域を盛り上げていく転換意識が必要
再生は不可能なので、ニューサンロード商店街の移設
働く場所を作ること
ハブ空港化

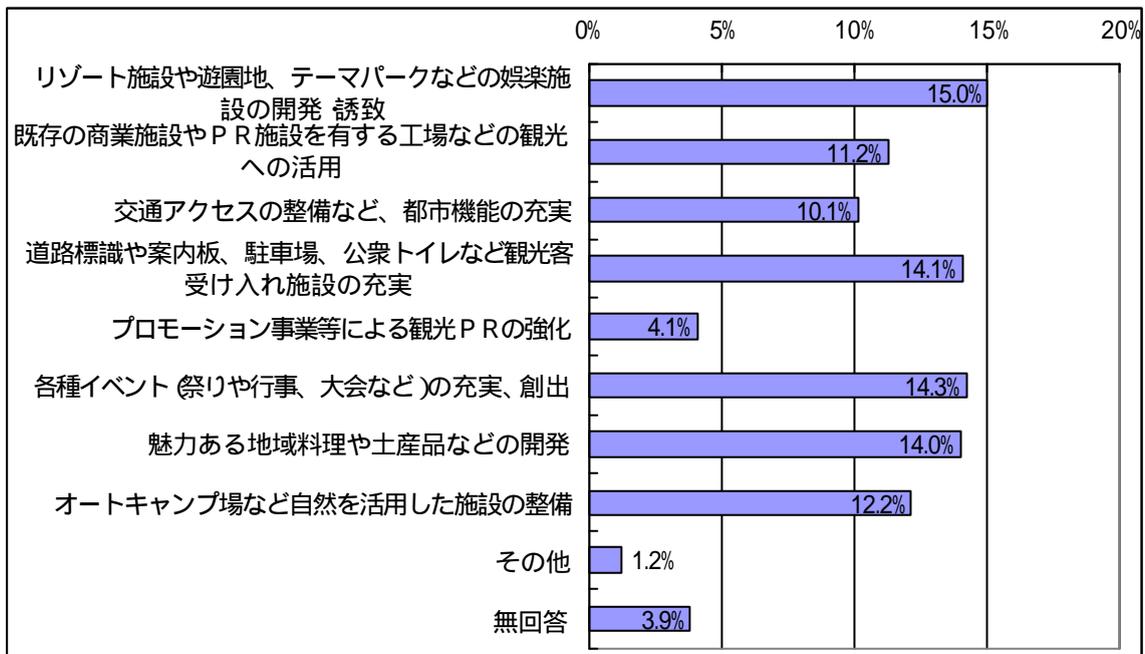
### (3) 観光の振興

問 10 あなたは、千歳市の観光を振興するために、どのようなことが重要とお考えですか。2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

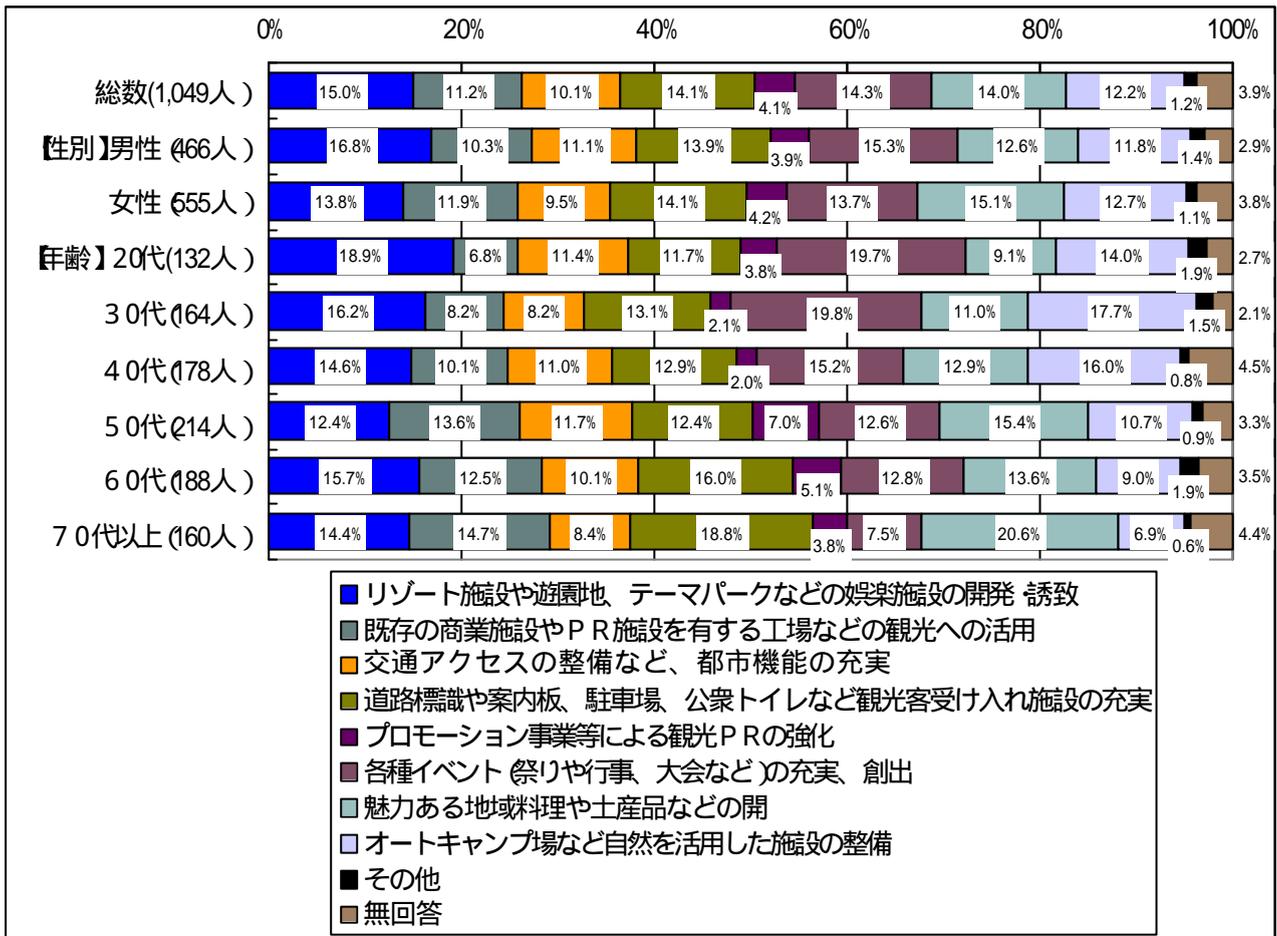
- ・全体で見ると、選択肢間に顕著な差はほとんど見受けられないが、最も多いのは「リゾート施設や遊園地、テーマパークなどの娯楽施設の開発・誘致」である。  
以下ほぼ同数であるが、「各種イベント（祭りや行事、大会など）の充実、創出」「道路標識や案内板、駐車場、公衆トイレなど観光客受け入れ施設の充実」「魅力ある地域料理や土産品などの開発」と続く。
- ・男女別で見ると男性は「娯楽施設の開発・誘致」を最も多く挙げているが、女性は「魅力ある地域料理や土産品などの開発」を最も多く挙げている。
- ・年代別で見ると20代、30代が最も多く挙げているのは「各種イベント（祭りや行事、大会など）の充実、創出」であり、年を追うに従って「道路標識や案内板、駐車場、公衆トイレなど観光客受け入れ施設の充実」や「魅力ある地域料理や土産品などの開発」などが増える傾向にある。

(グラフ参照)

観光の振興に重要なこと (2LA)



### 観光の振興に重要なこと (2LA)



#### 〔前回アンケート結果〕

- ・全体で見ると「観光客受け入れ施設の充実」が最も多く、以下「冬場などオフシーズン対策の強化」、「リゾート施設や遊園地等の開発」と続く。
- ・男女別で見ると、男性は「冬場などオフシーズン対策の強化」を第1位、「観光客受け入れ施設の充実」を第2位としているのに対し、女性はこの順序が逆の結果となっている。
- ・年代別で見ると20代が「リゾート施設や遊園地等の開発」と「各種イベントの充実、創出」を同率で第1位に挙げており、30代から50代が「冬場などオフシーズン対策の強化」、60代以上が「観光客受け入れ施設の充実」をそれぞれ第1位に挙げています。

#### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートにおいても全体では「リゾート施設や遊園地、テーマパークなどの娯楽施設の開発・誘致」、「道路標識や案内板、駐車場、公衆トイレなど観光客受け入れ施設の充実」などは上位となっており、リゾート施設や遊園地などの観光客受け入れ施設の充実は、引き続き観光の振興に必要なこととされていることがわかる。
- ・男女別を見ると、「道路標識や案内板、駐車場、公衆トイレなど観光客受け入れ施設の充実」は今回アンケートにおいても前回と同様、女性の割合が高くなっていることから、特に女性の要望が引き続き高いことがわかる。
- ・年代別で見ると、特に20代～30代の若い世代は「リゾート施設や遊園地、テーマパークなどの娯楽施設の開発・誘致」、「各種イベント(祭りや行事、大会など)の充実、創出」を上位に挙げており、「道路標識や案内板、駐車場、公衆トイレなど観光客受け入れ施設の充実」は年を追うに従って増える傾向にあることからほぼ前回と同様の結果であるといえる。

その他 の回答

観光よりもいつまでも住みよい町づくりが先決だと思う
あまり色々な事に手をつけない方が将来につながると思う。施設設備や利便性等にかこつけた自然破壊は絶対に避けるべき
自然は手入れをして、開発はしないこと
一時間以上滞在できる観光資源への整備と創出
温泉・スパ系をもっと利用しやすい公衆浴場にするべき
空港がある事を生かし道外からの日帰り客等も呼べるようになるといい
空港内の案内が不足していて分かりづらいので増やすこと
空港利用の観光客が市内に足を止める施設。支笏湖温泉整備・市内に温泉娯楽、宿泊施設を作る
旧空港跡地にカジノを誘致
航空博物館を作り、民間機や各国の航空機の展示、PR等を実施し観光地として千歳の街を位置すること
氷濤祭等は一度見たらいい程度のもので、「観光」より「参加型」のイベントでリピーターを増やすべき
アイヌ文化を中心とした一大再生事業の実施に一般観光客も体験型の参加可能として展開する
支笏湖等の自然を生かし自然との関わり方をレクチャーする施設・人材の充実
地元と密着したふれあえる体験型の観光
千歳の名水を生かした土産品等の開発
花の名所等の開発
バリアフリー等福祉の面で発展すべき
春の国際フェスティバル開催（音楽会等）
ポイ捨てが多いので綺麗な町にする事
見えない所も含めての道路の整備（インディアン水車祭では川の周辺の除草をしていない）
魅力ある千歳市民を目指し市役所の一人一人が信頼できる人間育成が必要
人材の育成

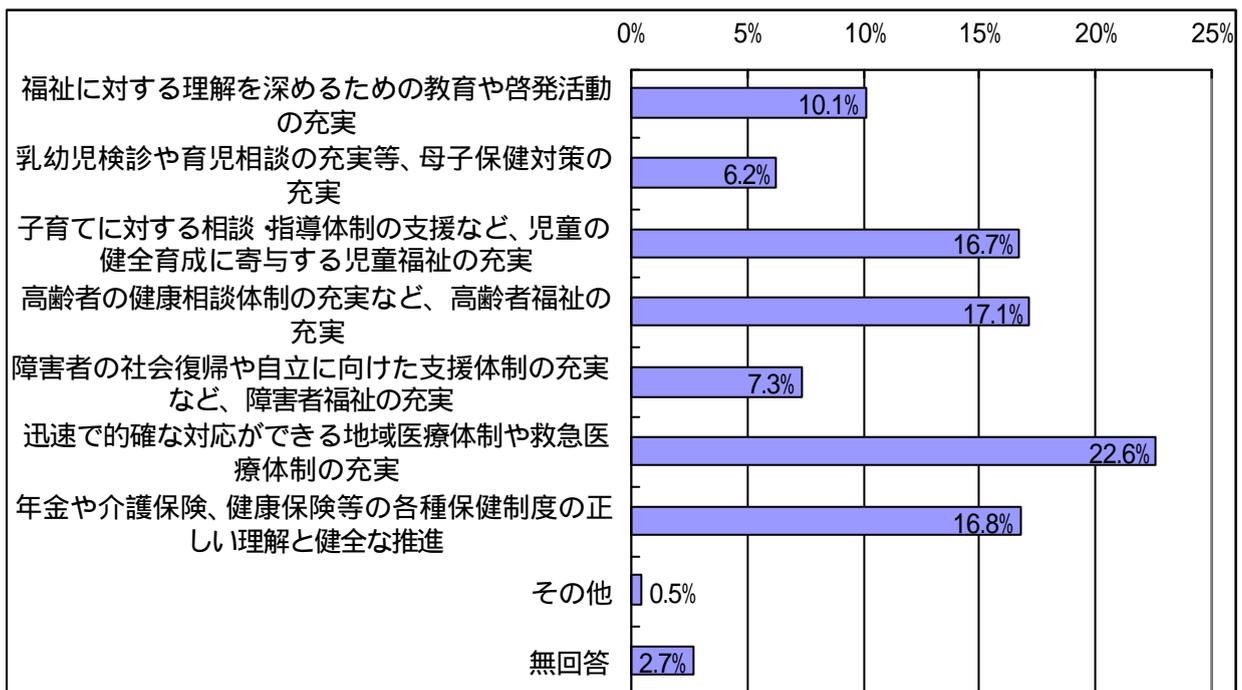
## 4 福祉

### (1) 福祉社会の実現

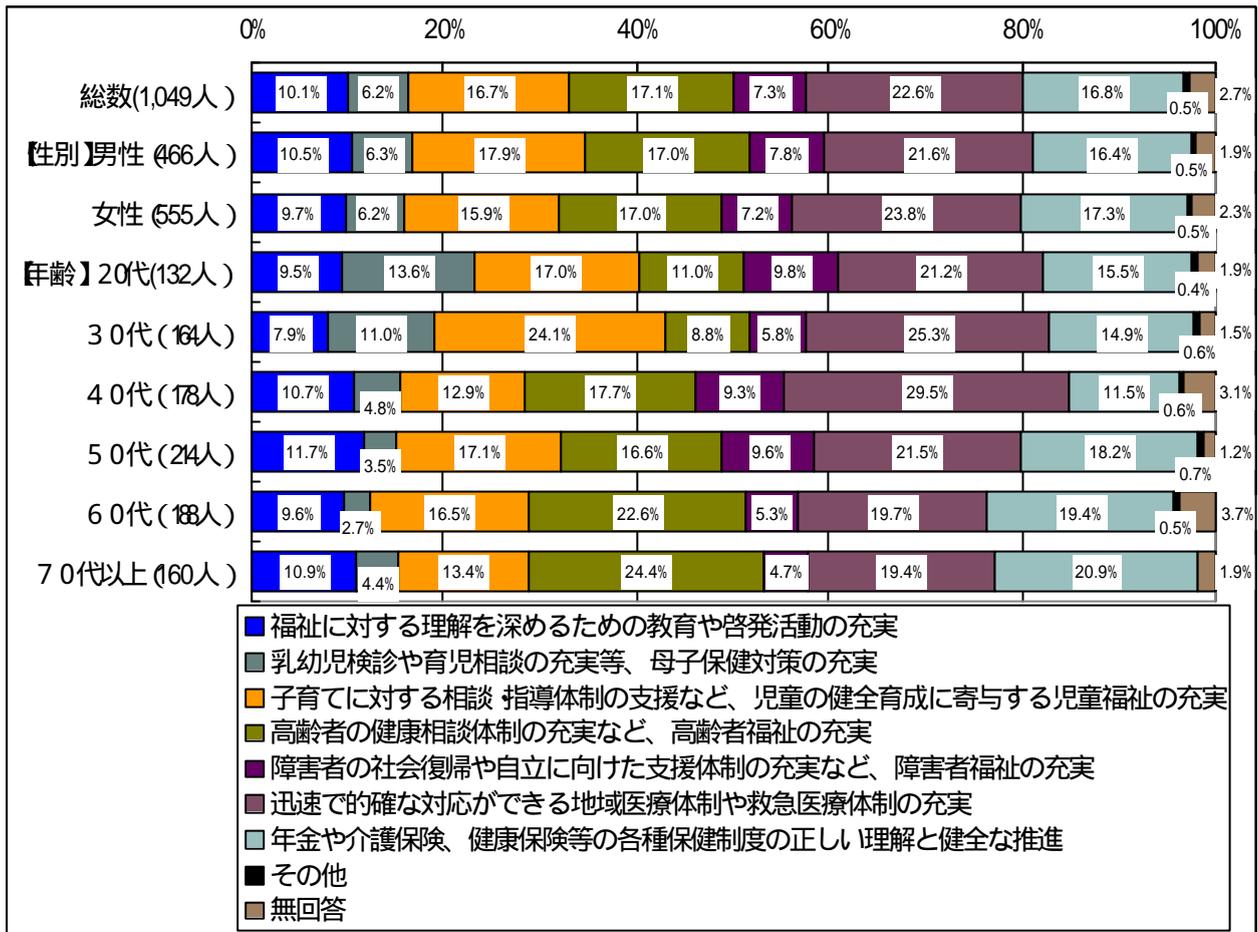
問 11 あなたは、福祉社会の実現に向け、どのようなことが重要とお考えですか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「迅速で的確な対応ができる地域医療体制や救急医療体制の充実」が最も多い。  
以下「高齢者の健康相談体制の充実など、高齢者福祉の充実」「年金や介護保険、健康保険等の各種保険制度の正しい理解と健全な推進」と続くが、問6の「今後のまちづくりの重点分野」についても「病院・診療所などの医療環境」が最も多く、「高齢者のための施策」についても上位であった。
- ・男女別で見ると、男女ともに「迅速で的確な対応ができる地域医療体制や救急医療体制の充実」が最も多い。
- ・年代別で見ると40代以下の世代は若干のばらつきはあるものの「子育てに対する相談・指導体制の支援など、児童の健全育成に寄与する児童福祉の充実」や「迅速で的確な対応ができる地域医療体制や救急医療体制の充実」などが多いが、60代以上になると「高齢者の健康相談体制の充実など、高齢者福祉の充実」が増える傾向にある。  
(グラフ参照)

福祉社会の実現に向け重要なこと (2LA)



### 福祉社会の実現に向け重要なこと (2LA)



#### 〔前回アンケート結果・前回アンケートとの比較〕

- ・前回調査では、「老後のしあわせ」「長寿を過ごすために必要なこと」「高齢化社会に重要なこと」など、福祉社会の実現については「高齢化社会に向けた施策」を特化させた設問であったため、比較は行っていない。

#### その他 の回答

市民全員が理解できる福祉内容の金銭的な援助の充実
低所得者に対する、より細やかな支援
かかわる人材の育成
信頼できる良い病院
老いても安心して暮らせる老健施設
施設・病院が近く公園・畑があり、花・野菜等を作れて心もリフレッシュできる老健施設
産婦人科の増設
不妊の方に対する対策を立て少子化防止
子育てしながら働ける環境整備
児童手当の値上げと、義務教育中は医療控除にすること(少子化対策)
過剰な福祉は必要ないと思う

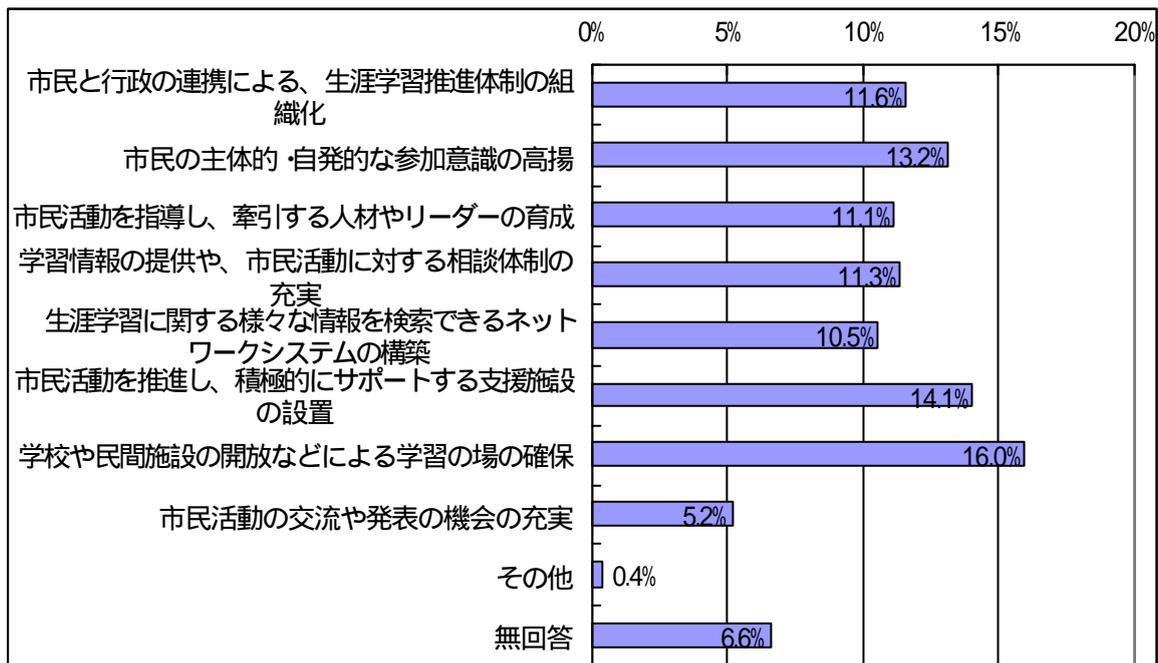
## 5 生涯学習

### (1) 生涯学習の推進

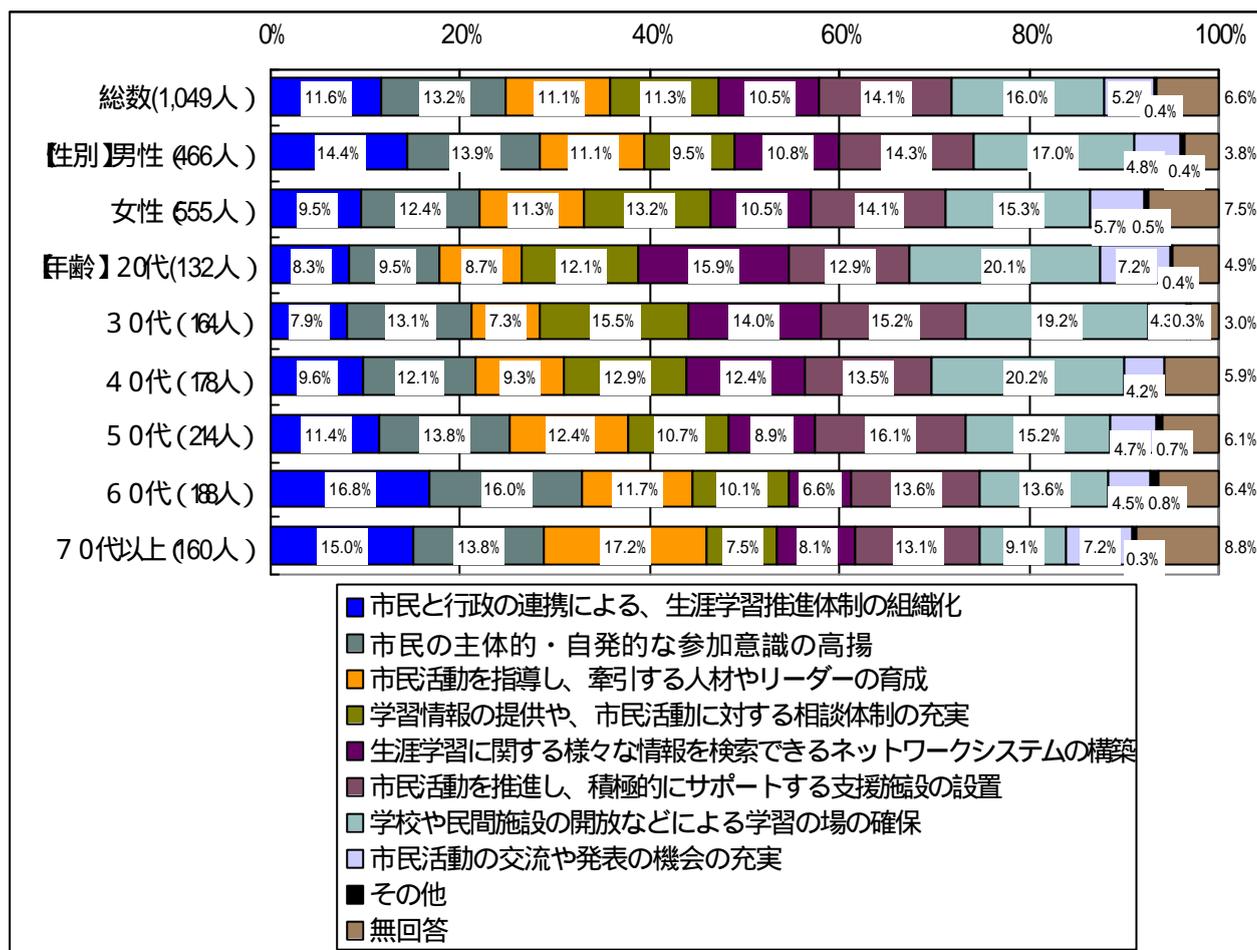
問 12 あなたは、生涯学習を推進するために、今後どのようなことが重要とお考えですか。2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「学校や民間施設の開放などによる学習の場の確保」が最も多い。  
以下、「市民活動を推進し、積極的にサポートする支援施設の設置」「市民の主体的・自発的な参加意識の高揚」と続く。  
このことから、生涯学習を行う場や施設整備の充実をまず重視しており、加えて市民意識の高揚についても重要なこととしていることがわかる。
- ・男女別で見ると、男女ともに最も多かったのは「学校や民間施設の開放などによる学習の場の確保」であり、男性は次に「市民と行政の連携による、生涯学習推進体制の組織化」を挙げているが、女性は「市民活動を推進し、積極的にサポートする支援施設の設置」を次点としている。
- ・年代別で見ると、50代以下の世代は「学校や民間施設の開放などによる学習の場の確保」を最も多く挙げており、特に40代以下で顕著である。  
また、高い年齢になるに従って「市民と行政の連携による、生涯学習推進体制の組織化」や「市民の主体的・自発的な参加意識の高揚」「市民活動を指導し、牽引する人材やリーダーの育成」などが増える傾向にある。  
(グラフ参照)

生涯学習の推進に重要なこと (2LA)



## 生涯学習の推進に重要なこと (2LA)



### 〔前回アンケート結果〕

- ・全体で見ると「公共施設の利用時間や管理体制改善」が一番多く、以下「人と人のネットワークづくり」「市民の自発的な参加意識の高揚」「市民と行政連携の推進体制の組織化」と続く。
- ・一方、男女別に見ると、男性は「市民の自発的な参加意識の高揚」を第1位、「市民と行政連携の推進体制の組織化」を第2位としており、意識の高揚や体制面を重視しているのに対し、女性は「公共施設の利用時間や管理体制改善」を第1位、第2位に「市民講座・教室の内容やテーマの充実」を挙げており、施設利用の利便性の向上など、現状の改善を指摘している。
- ・年代別に見ると40代以下の各年代が「公共施設の利用時間や管理体制改善」、50代・60代は「市民の自発的な参加意識の高揚」、70代以上が「まちや地域に関心の持てる人材育成」を第1位に挙げており、若い年代層は施設の利便性を重視し、高い年代層は市民意識や人材育成を重視している。

### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートにおいては、全体では「学習の場の確保」が第1位であるものの、「支援施設の設置」「参加意識の高揚」がそれぞれ第2位、第3位となっていることから、前回上位であった「参加意識の高揚」については今回も重視されていることがわかる。
- ・男女別の今回の結果を見ると、男性は「学習の場の確保」が第1位であるものの、「推進体制の組織化」や「意識高揚」についても引き続き重視していることから、前回結果とそれほど意識の変化がないと思われる。  
女性についても第1位は「学習の場の確保」であるが、次点に「支援施設の設置」を挙げていることから、前回に引き続き施設の利便性について重視している。
- ・年代別に見ると、50代以下の世代は「学校や民間施設の開放などによる学習の場の確保」を最も多く挙げている反面、高い年代は「参加意識の高揚」や「リーダーの育成」を重視しており、前回と

ほぼ同様の結果となっている。

その他 の回答

学習内容の多角化（農業、園芸、料理等）
生涯学習の場を平日だけでなく、土日曜日にも開催する
働く人の為の生涯学習の場を増やす（夜間講習の増設等）
企業ボランティアの推進
図書館をもっと町の中心部にして、館内の席も増設する
生涯学習に興味を持つことができる余裕のある生活の確立
住民の底上げが基本で生涯学習どころではない
場所と内容、時間による

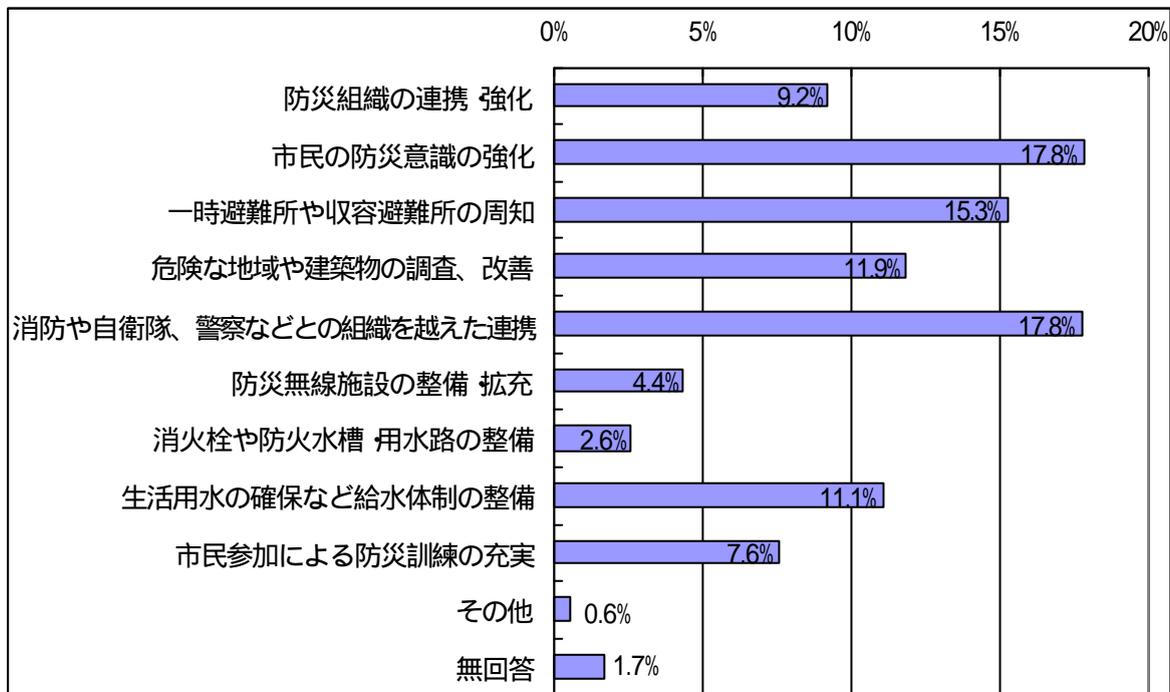
## 6 防 災

### ( 1 ) 大規模災害への備え

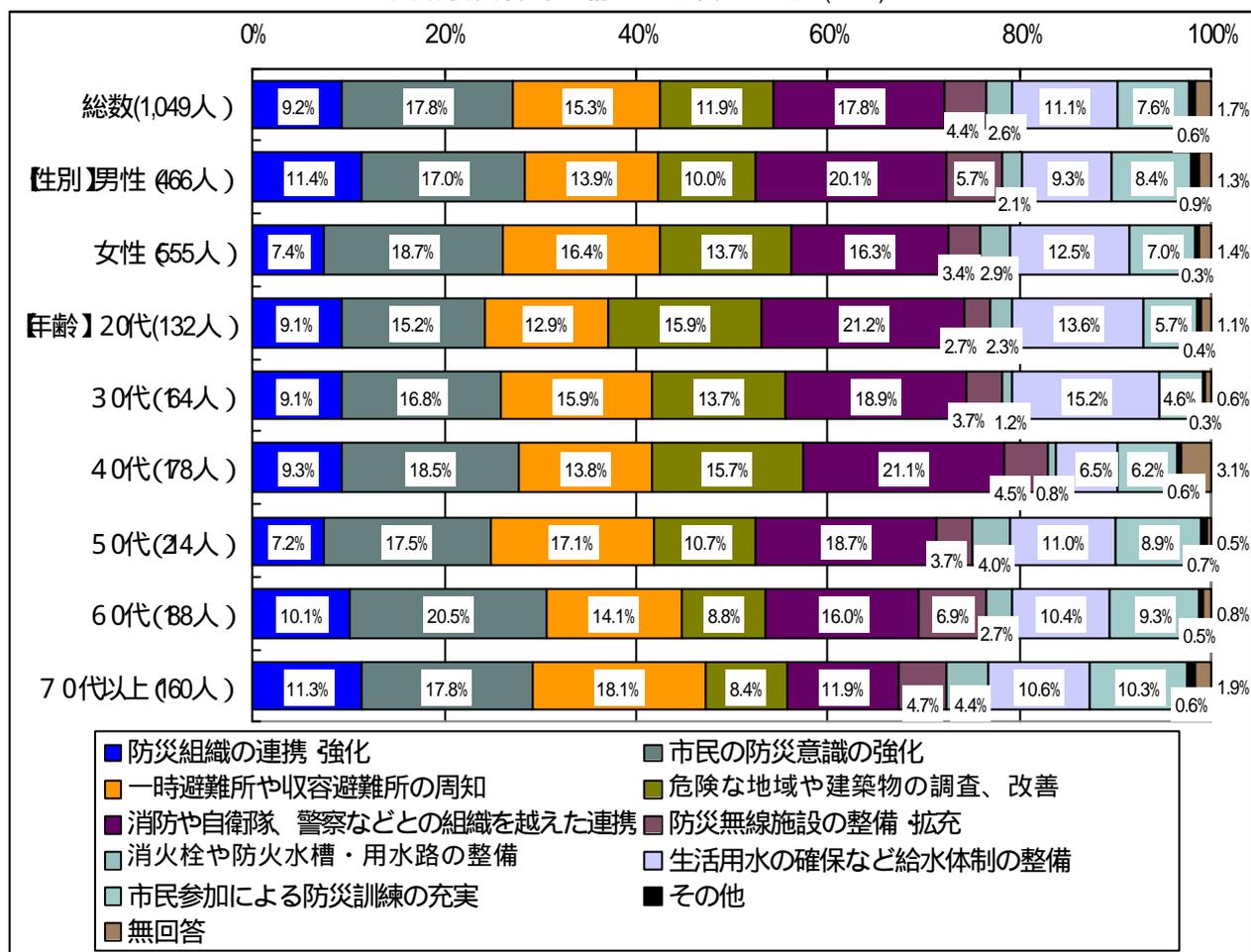
問 13 あなたは、地震、火災など大規模災害時の備えとして、どのようなことが重要とお考えですか。2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「市民の防災意識の強化」、「消防や自衛隊、警察などとの連携を越えた連携」がほぼ同数で第1位である。  
以下、一時避難所や収容避難所の周知、「危険な地域や建築物の調査、改善」と続く。
- ・男女別で見ると、男性は「消防や自衛隊、警察などとの組織を越えた連携」を最も多く挙げ、女性は「市民の防災意識の強化」を最も多く挙げている。
- ・年代別で見ると、40代以下の世代では「消防や自衛隊、警察などとの組織を越えた連携」や「危険な地域や建築物の調査、改善」が目立つが、50代以上になると「市民の防災意識の強化」や「一時避難所や収容避難所の周知」が増える傾向にある。  
(グラフ参照)

大規模災害時の備えに重要なこと (2LA)



### 大規模災害時の備えに重要なこと (2LA)



#### 〔前回アンケート結果〕

- ・全体で見ると「一時避難所や収容避難所の周知」が最も多く、以下「危険な地域や建築物の調査、改善」「災害対策用品の備蓄」「防災組織の連携・強化」と続く。
- ・一方、男女別に見ると、男性、女性ともに「一時避難所や収容避難所の周知」を最も多く挙げており、次に「危険な地域や建築物の調査、改善」と続く。  
また、「防災組織の連携・強化」や「防災意識を高めるための啓発の強化」は女性よりも男性の割合が高く、避難場所の周知や危険地域の改善、生活に必要な物資の供給を女性が多く望み、防災組織の強化や防災設備の充実を男性が多く望んでいる。
- ・年代別に見ると「危険な地域や建築物の調査、改善」は比較的若い世代の意向が強く、20代から40代までが第1位に挙げているが、50代以上の各年代は「一時避難所や収容避難所の周知」を第1位に挙げている。

#### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回の結果では「市民の防災意識の強化」が第1位であるものの、「一時避難所や収容避難所の周知」や「危険な地域や建築物の調査、改善」についても上位にあることから、前回とほぼ同様の結果である。
- ・男女別では、男性は「組織を越えた連携」や「防災意識の強化」を重視し、女性は「防災意識の強化」や「一時避難所や収容避難所の周知」を重視していることから、市民自ら防災意識を持つことが重要であるということが前回と比べ顕著となっている。
- ・年代別で見ると、「危険な地域や建築物の調査、改善」は40代以下の世代で目立ち、「一時避難所や収容避難所の周知」が50代以上になると増える傾向にあることから、ほぼ前回の結果と同じであると言える。

その他 の回答

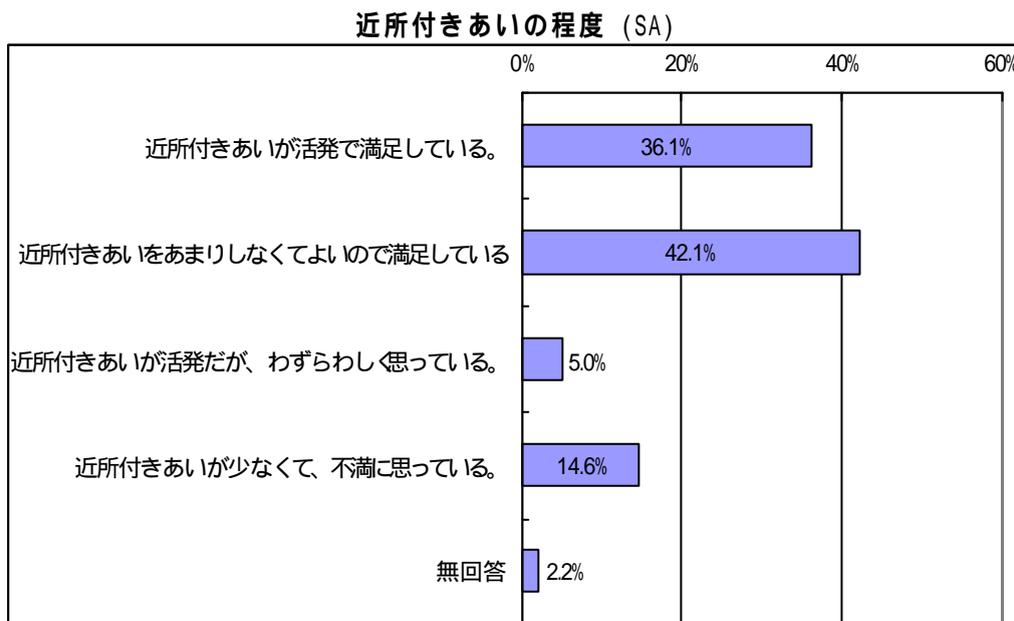
各家庭での災害時の連絡のとり方(家族内・地域含)
各地で発生している災害毎の教訓化とポイントのPR
災害用備品の配給
市営住宅に非常階段・はしごをつける
市道・道々・国道の整備点検
正確な情報伝達手段の確保・被災者等の情報交換手段の確立
地域防災計画の整備・周知
避難場所・食糧等の問題を普段から話し合っておく
向陽台から町への道路をもう一本作ってほしい

## 7 コミュニティ・まちづくり

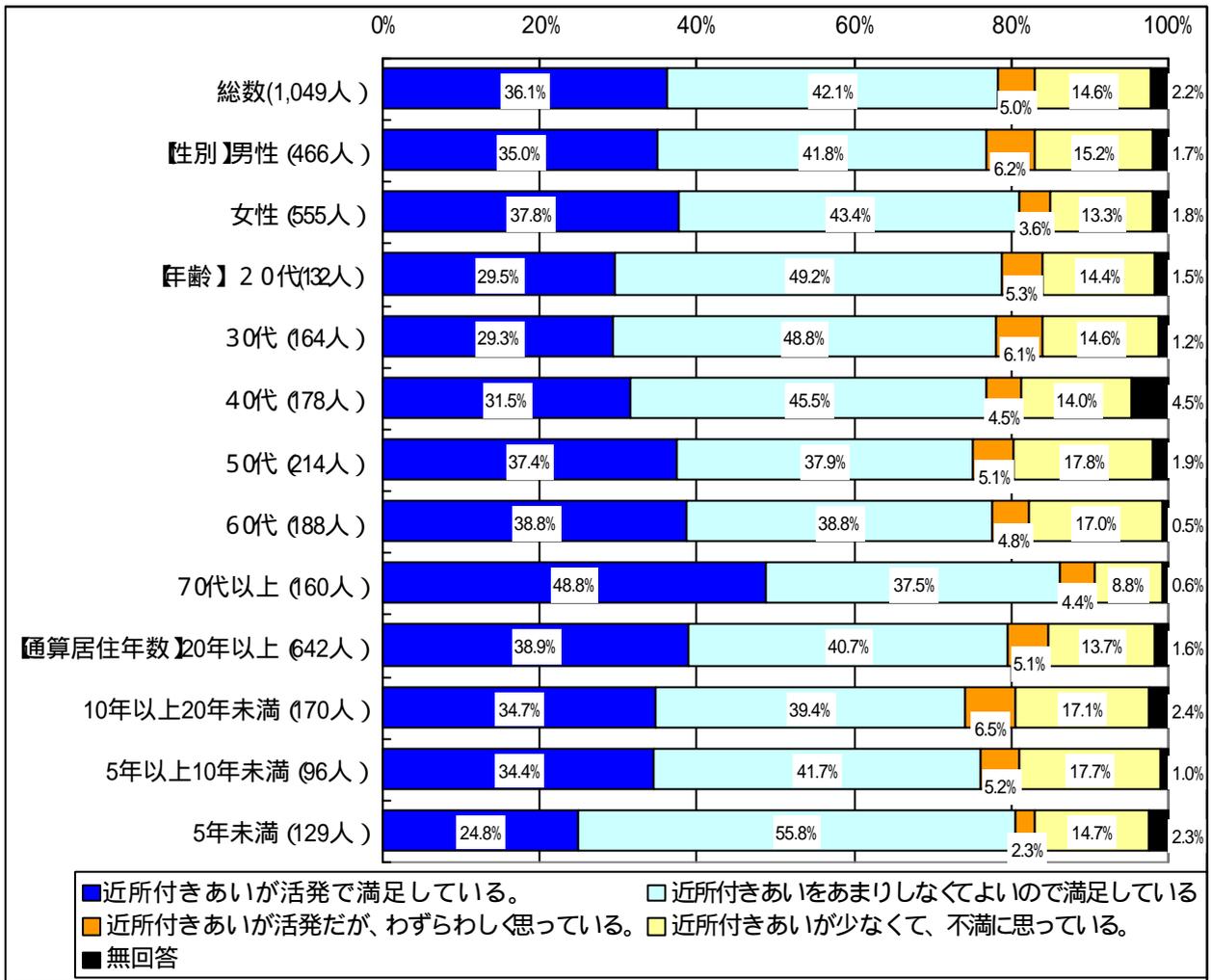
### (1) 近所付き合いの満足度

問 14 あなたは、今の近所付き合いに満足ですか、それとも不満がありますか。  
1つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「近所付き合いをあまりしなくてよいので、満足している」としている回答が一番多く、次に「近所付き合いが活発で、満足している」と続く。  
よって、ほとんどの市民が近所付き合いに満足はしているものの、その理由として「付き合いをあまりしないから」と「付き合いが活発であるから」とする反対の理由があることがわかる。
- ・男女別で見ると、男女ともほぼ同じ傾向であり、ともに「近所付き合いをあまりしなくてよいので満足している」が最も多い。
- ・年代ごとで見ると、若い年代ほど「近所付き合いをあまりしなくてよいので、満足している」割合が高いが、高い年代になるに従って「近所付き合いが活発で、満足している」割合が上がる。  
また、「近所付き合いが活発だが、わずらわしく思っている」割合はそれほど高くはないものの、各年代にわたって5%程度の人が回答している。
- ・居住年数別で見ると、居住年数が少ないほど「近所付き合いをあまりしなくてよいので、満足している」割合が高く、居住年数を重ねるごとに「近所付き合いが活発で満足している。」割合が上がる傾向にある。  
(グラフ参照)



### 近所付き合いの程度 (SA)



#### 【前回アンケート結果】

- ・全体で見ると「付き合いをあまりしなくてよいので満足」が最も多く、以下「付き合いが活発で満足」と続く。
- ・男女別で見ると女性は男性に比べ「あまりしなくてよいので満足」との回答が多く、男性は女性に比べ「少なくて不満」という回答が多い。
- ・年代別に見ると50代以下が「付き合いをあまりしなくてよいので満足」、60代以上が「付き合いが活発で満足」の回答が最も多い。

#### 【前回アンケートとの比較】

- ・今回アンケートにおいても全体では「付き合いをあまりしなくてよいので満足」が最も多く、次に「近所付き合いが活発で、満足している」と続いていることから、前回と同様の結果である。
- ・男女別で見ると、前回とは違い男女間に顕著な差はない。
- ・若い世代ほど「付き合いをあまりしなくてもよいので満足」という結果は前回アンケートと同様の結果である。
- ・年代別で見ると、若い年代ほど「近所付き合いをあまりしなくてよいので、満足している」割合が多く、高い年代になるに従って「近所付き合いが活発で、満足している」割合が増えるため、前回の結果と同様であるといえる。

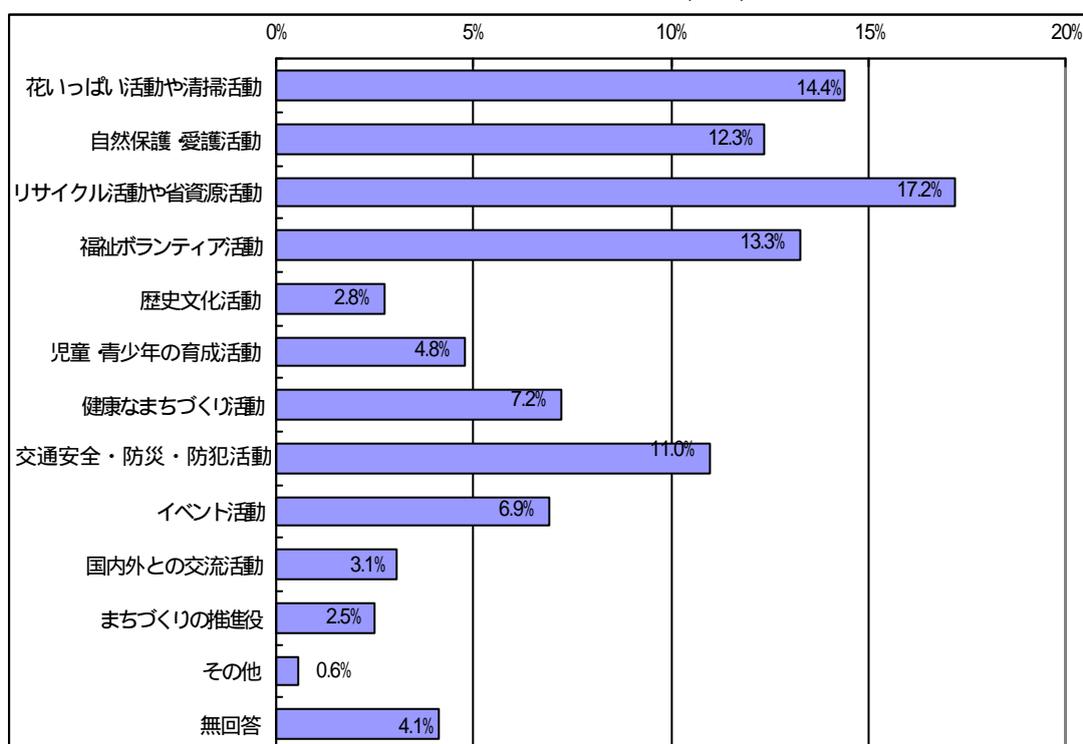
## (2) 参加したいまちづくり活動

問15 あなたは、どのようなまちづくり活動をしたい(できる)とお考えですか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「リサイクル活動や省資源活動」としているのが一番多く、次に「花いっぱい活動や清掃活動」と続く。
- ・男女別で見ると、男女ともに「リサイクル活動や省資源活動」を最も多く挙げている。
- ・年代別で見ると、30代から60代までは「リサイクル活動や省資源活動」が第1位となっているが、20代は「イベント活動」、70代以上は「花いっぱい活動や清掃活動」をそれぞれ第1位としている。ただし、20代と70代それぞれの第2位は「リサイクル活動や省資源活動」となっている。

(グラフ参照)

参加したいまちづくり活動 (2LA)



## 【参加したいまちづくり活動 ベスト5】

### 男女別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	リサイクル活動 や省資源活動 (15.9%)	自然保護・愛護 活動 (13.9%)	交通安全・防 災・防犯活動 (12.6%)	花いっぱい活動や清掃活動 / 福 祉ボランティア活動 (同率 10.8%)	
女性	リサイクル活動 や省資源活動 (18.9%)	花いっぱい活 動や清掃活動 (17.5%)	福祉ボランテ ィア活動 (15.2%)	自然保護・愛護 活動 (10.9%)	交通安全・防 災・防犯活動 (9.7%)

### 年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20代	イベント活動 (15.9%)	リサイクル活動 や省資源活動 (13.6%)	福祉ボランティア活動 / 健康な まちづくり活動 (同率 11.4%)	自然保護・愛 護活動 (11.0%)	
30代	リサイクル活動 や省資源活動 (16.2%)	花いっぱい活動 や清掃活動 (15.2%)	福祉ボランテ ィア活動 (11.9%)	交通安全・防災・防犯活動 / イ ベント活動 (同率 11.6%)	
40代	リサイクル活動 や省資源活動 (18.8%)	自然保護・愛護活動 / 福祉ボラ ンティア活動 (同率 11.8%)	花いっぱい活 動や清掃活動 (11.0%)	交通安全・防 災・防犯活動 (9.6%)	
50代	リサイクル活動 や省資源活動 (21.0%)	花いっぱい活動 や清掃活動 (17.1%)	自然保護・愛護 活動 (14.0%)	福祉ボランテ ィア活動 (13.3%)	交通安全・防 災・防犯活動 (10.5%)
60代	リサイクル活動 や省資源活動 (16.5%)	福祉ボランテ ィア活動 (15.7%)	花いっぱい活動 や清掃活動 (15.2%)	自然保護・愛 護活動 (13.8%)	交通安全・防 災・防犯活動 (13.0%)
70代以上	花いっぱい活動 や清掃活動 (18.4%)	リサイクル活動 や省資源活動 (16.3%)	福祉ボランテ ィア活動 (14.7%)	自然保護・愛 護活動 (13.1%)	交通安全・防 災・防犯活動 (12.5%)

#### 〔前回アンケート結果〕

- ・全体で見ると「リサイクル活動や省資源活動」が最も多く、以下「明るいまちづくり活動」と続く。
- ・男女別に見ると、男女ともに「リサイクル活動や省資源活動」を第1位としており、男女ともに以下「明るいまちづくり活動」と続く。
- ・年代別に見ると20代～50代の各年代が「リサイクル活動や省資源活動」、60代、70代以上が「明るいまちづくり活動」を第1位にあげている。  
また、「自然保護・愛護活動」「福祉ボランティア活動」などは各年代で均等に参加意欲が見られる。

#### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートにおいても前回アンケート同様「リサイクル活動や省資源活動」が全体では最も多い。
- ・男女別に見ると、男女ともに「リサイクル活動や省資源活動」を第1位としており、前回の結果と同様である。
- ・年代別に見ると、30代から60代にかけて「リサイクル活動や省資源活動」を第1位としており、前回とほぼ同様の結果となっていることから、リサイクル活動などのゴミ対策については前回に引

き続き市民は高い関心を持っていることがわかる。

その他 の回答

国道沿いをどうするかを考える
ごみのない町づくり
ニューサンロード等に若者が集まるような店を誘致する = 市の若返り活動
広い意味での環境整備と、子供も大人も含めての人作り
文化センターでのコンサート活動の推進
ペット条例違反・ポイ捨て防止等のルール・マナーの監視活動
市民の意識改革

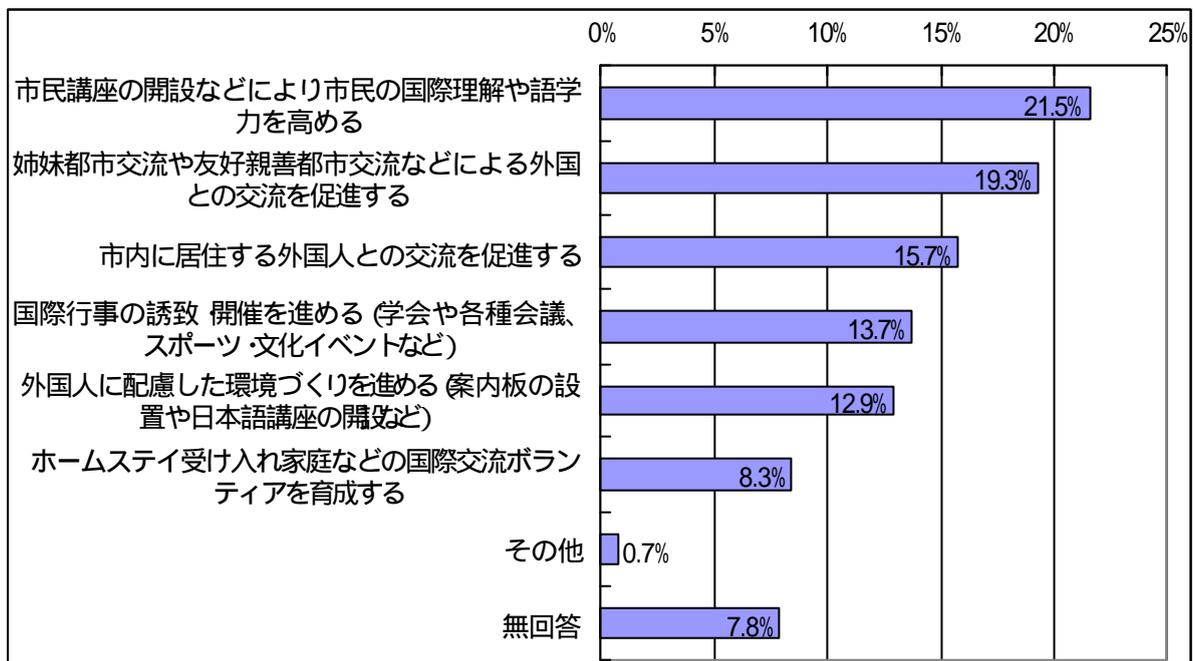
## 8 国際交流

### (1) 国際交流で力を注ぐべき分野

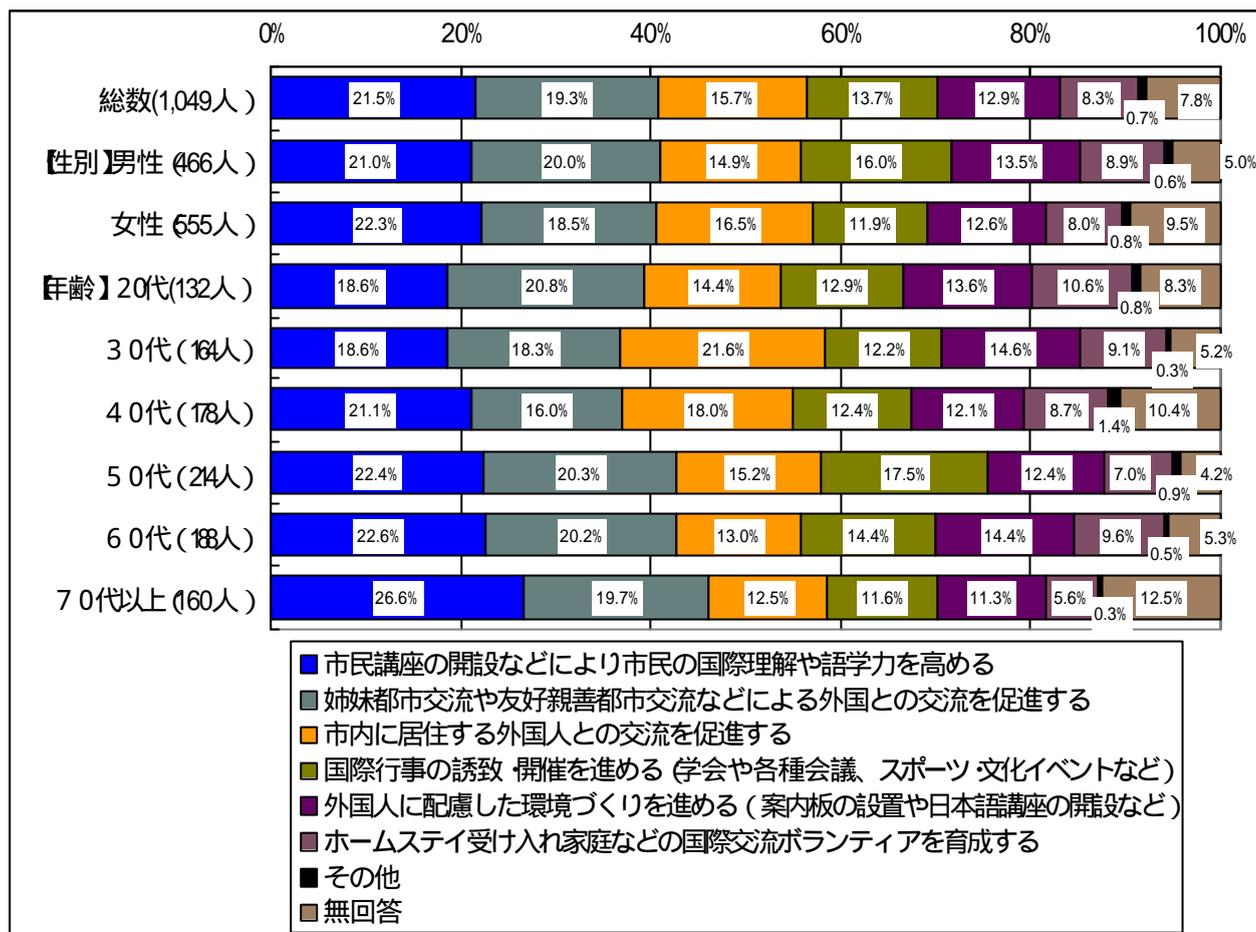
問 16 あなたは、国際化に対応したまちづくりや国際交流をさらに推進するために、どの分野に力をそそぐべきとお考えですか。2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「市民講座の開設などにより市民の国際理解や語学力を高める」としている回答が最も多く、次に「姉妹都市交流や友好親善都市交流などにより外国との交流を促進する」と続く。
- ・男女別で見ると、男女間に目立った差はほとんど見受けられないが、「国際行事の誘致・開催を進める」や「外国人に配慮した環境づくりを進める」などは女性よりも男性の方が多く選択している。
- ・年代別で見ると、年代間の差はほとんどないが、年齢が上がるにしたがって「市民講座の開設などにより市民の国際理解や語学力を高める」の割合が増える傾向にある。(グラフ参照)

国際交流の促進で力を注ぐべき分野 (2LA)



### 国際交流の促進で力を注ぐべき分野 (2LA)



#### 【前回アンケート結果】

- ・全体で見ると「国際感覚を持った青少年を育成する」が最も多く挙げられ、以下「市民の国際理解を深める」「外国との交流を促進する」「市民の外国語の語学力を高める」と続く。
  - ・男女別に見ると、男性は「国際感覚を持った青少年を育成する」「市民の国際理解を深める」「国際行事の誘致・開催を進める」を多く選択し、女性は「市内在住の外国人との交流促進」「外国人留学生等の受け入れ促進」を多く選択している。
  - ・年代別に見ると「国際感覚を持った青少年を育成する」については40代以上の各年代が第1位に挙げているが、同様に「市民の国際理解を深める」についても40代以上の回答比率が高く、第2位となっている。
- また、20代は「市民の外国語の語学力を高める」、30代は「外国との交流を促進する」をそれぞれ第1位に挙げている。

#### 【前回アンケートとの比較】

- ・今回アンケートにおいて、全体では「市民講座の開設などにより市民の国際理解や語学力を高める」および、「姉妹都市交流や友好親善都市交流などにより外国との交流を促進する」が第1位と第2位となっており、語学力の向上や外国との交流促進については前回に引き続き高い割合を示している。
  - ・男女別で見ると、男性は前回同様「国際行事の誘致・開催を進める」について女性よりも多く挙げているが、今回アンケートでは男女ともに目立った差は見られない。
  - ・年代別で見ると、年齢が上がるにしたがって「市民講座の開設などにより市民の国際理解や語学力を高める」の割合が増える傾向にあることから、前回と同様の傾向であることが言える。
- また、今回のアンケートでは20代は「姉妹都市交流や友好親善都市交流などにより外国との交流を促進する」、30代は「市内に居住する外国人との交流を促進する」をそれぞれ第1位に挙げている。

る。

#### その他 の回答

アメリカンスクールを北海道で最初に開校、又は英語の教育校を作り国際都市を子供達にも身近に感じさせる
姉妹都市や親善都市を、ハワイ・プーケット等南国とも交流してほしい
選択回答の6項目に対して、インターネットで在宅のままで情報や研修等ができるようにシステムを構築する
ショーパブ等で働いてる外国人に対し不正行為がないか困っている事等のフォロー
自分の町を良く知ること
無理して妙な姉妹都市交流はすべきではない。交流の成果がどこに反映されているか検証すべき
国際化に対応したまちづくりをする前にすることがあるのではないか
市民の交流が先。内側をまとめて基盤をしっかりしないうちに外に目を向けても駄目

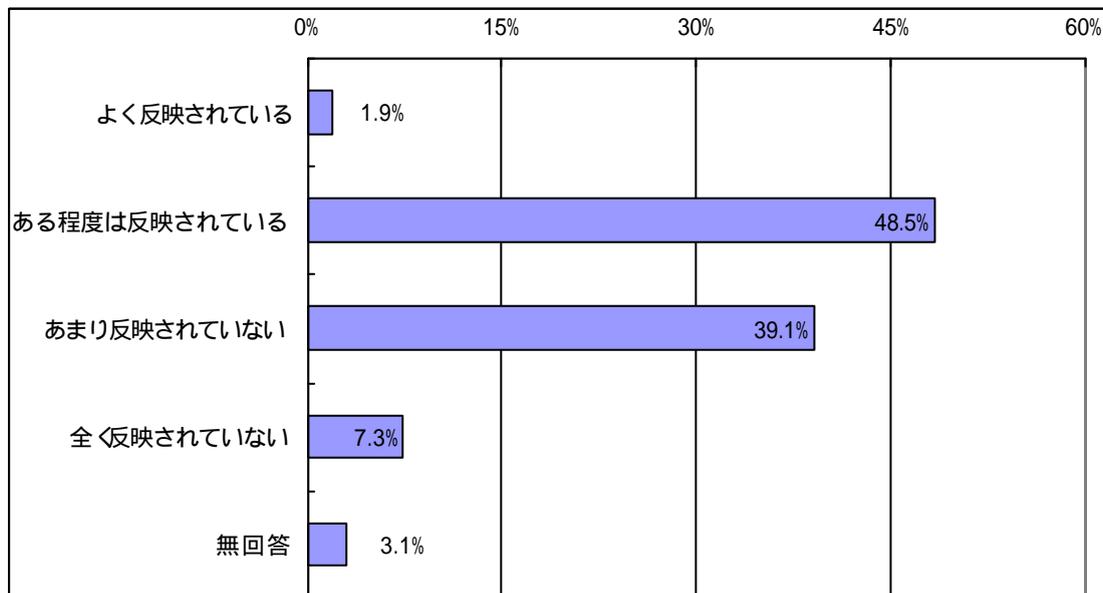
## 9 市民参加・行政運営

### (1) 市政への市民参加の反映度

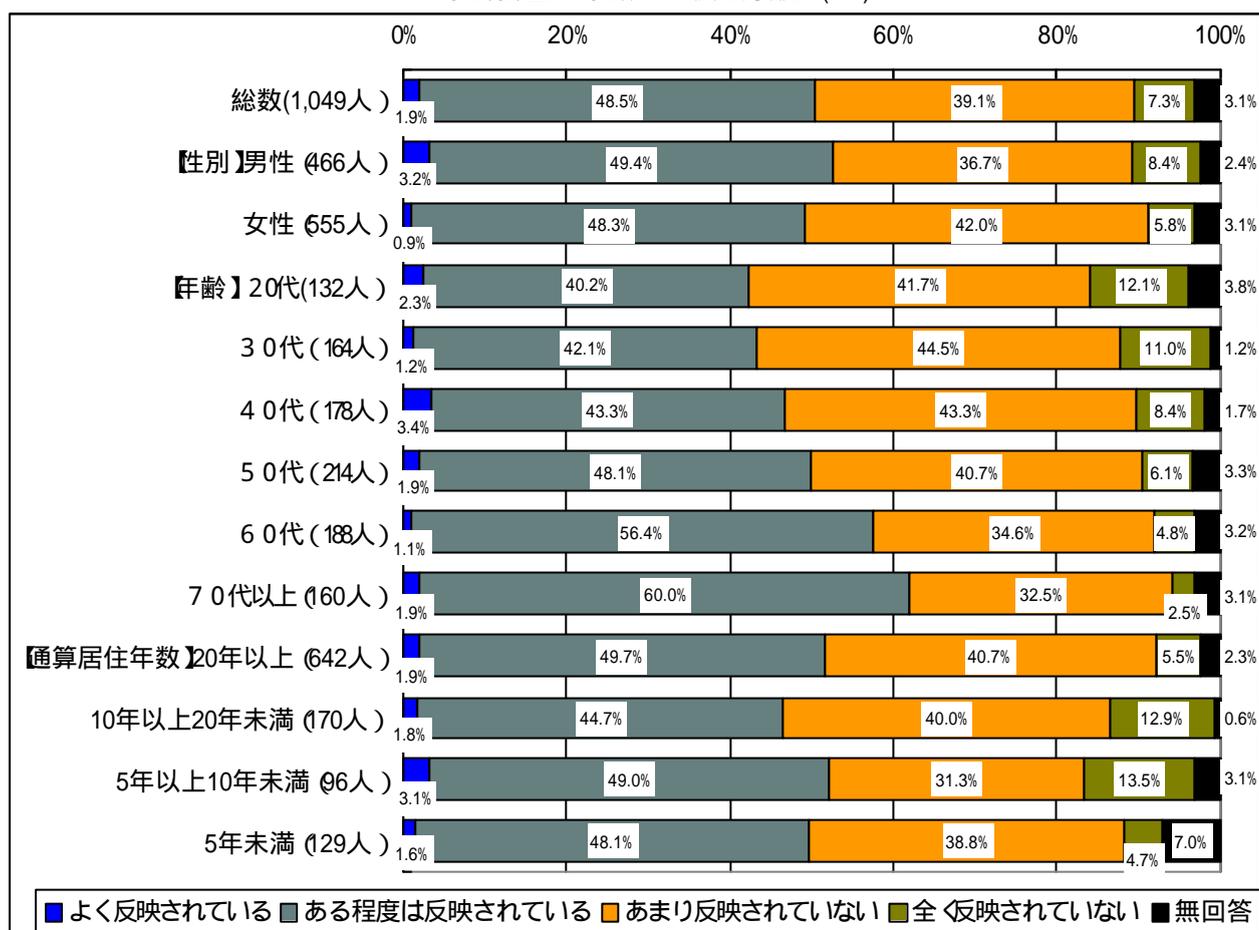
問17 あなたは、市民の意見が市政に反映されていると思いますか。  
1つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「ある程度は反映されている」としている回答が最も多く、次に「あまり反映されていない」と続き、以下「全く反映されていない」「よく反映されている」と続く。
- ・男女別で見ると、男性は「反映されている」とする意見が過半数以上あり、女性についても「反映されている」とする割合がほぼ半数を占めているが、女性は男性よりも「あまり反映されていない」とする割合が多い。
- ・年代別内訳を見ると、「よく反映されている」としているのは各世代ともに2~3%前後であるが、「ある程度は反映されている」としているのは高い年代に行くほど増加する傾向にある。また、「あまり反映されていない」「全く反映されていない」としているのは高い年代に行くほど減少している。
- ・一方、居住年数別内訳を見ると市政への反映度は居住年数にはほぼ差はなく、「よく反映されている」を回答した割合は各居住年数ともに1%の後半から3%までであり、「ある程度は反映されている」を回答した割合は40%中盤から後半にかけて推移している。「5年以上10年未満」では「あまり反映されていない」の割合は31.3%と少ないものの、その他の居住年数ではほぼ40%の割合で一定しており、「10年以上20年未満」「5年以上10年未満」では「全く反映されていない」の割合は10%を越えている。

市民要望の市政への反映状況 (SA)



### 市民要望の市政への反映状況 (SA)



#### 〔前回アンケート結果〕

- ・全体で見ると「ある程度は反映されている」との回答が最も多く、「よく反映されている」を合わせると、約半数の市民が「反映されている」と評価している。  
一方、「あまり反映されていない」と「全く反映されていない」を合わせて 46.4%の市民が「反映されていない」と回答し、評価が分かれた。
- ・男女別では、男性は過半数が「反映されている」としているが、女性は過半数が「反映されていない」としており、男女間に差がある。
- ・年代別で見ると、年代が高まるに連れて「反映されている」との回答比率が高まり、70代以上では肯定的な回答が7割以上を占め、逆に若い年代には否定的な見方が強い。
- ・居住年数別で見ると、居住年数の長い「20年以上」と居住年数の短い「5年未満」の市民は「反映されている」とする割合が多く、「5年以上10年未満」および「10年以上20年未満」の市民は「反映されていない」としている割合が多い。

#### 〔前回アンケートとの比較〕

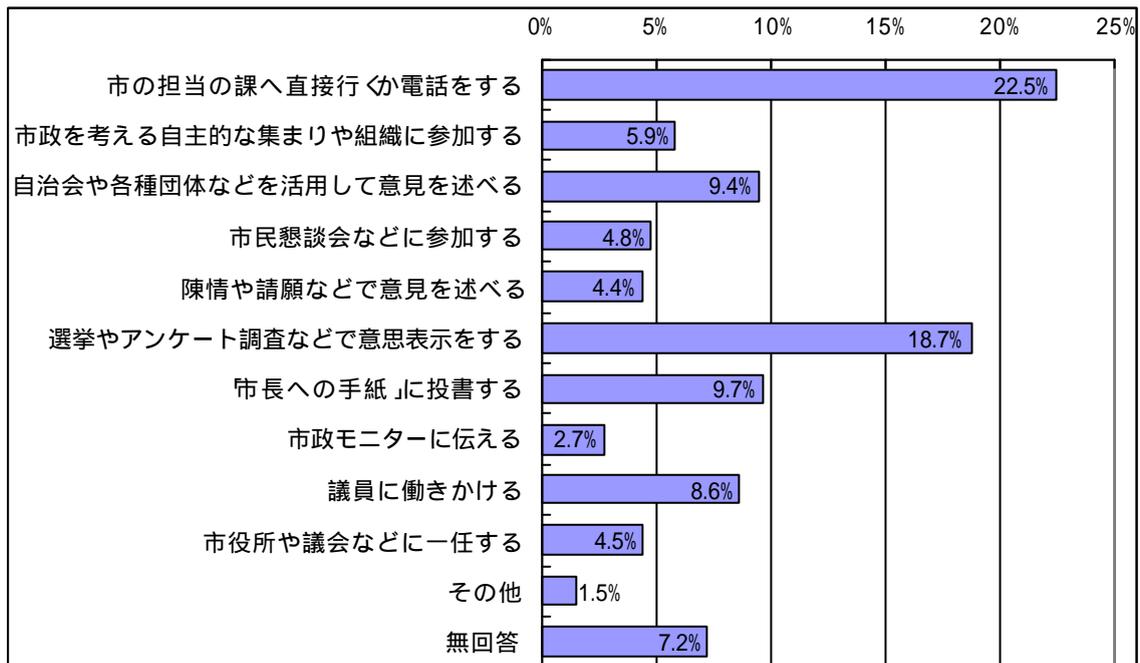
- ・今回アンケートにおいても「ある程度は反映されている」と「よく反映されている」の合計が約半数の50.5%となっており、前回アンケートとほぼ同様の結果となっている。
- ・男女別では、前回と比べ男性はほぼ同じ結果であるものの、前回の結果では女性の「反映されていない」とする割合は過半数を占めており、今回の結果では「反映されている」とする意見が「反映されていない」とする意見を上回っているため、前回とは違いが見られる。
- ・年代別では今回アンケートにおいても年代が高まるにつれて「反映されている」との評価が高まっており、前回アンケートと同様である。
- ・居住年数別では、前回アンケートほど年数別での差は見られなかったが、今回アンケートでは「10年以上20年未満」の市民が最も「反映されていない」とする割合が多い。

## (2) 市民参加（意向反映）の方法

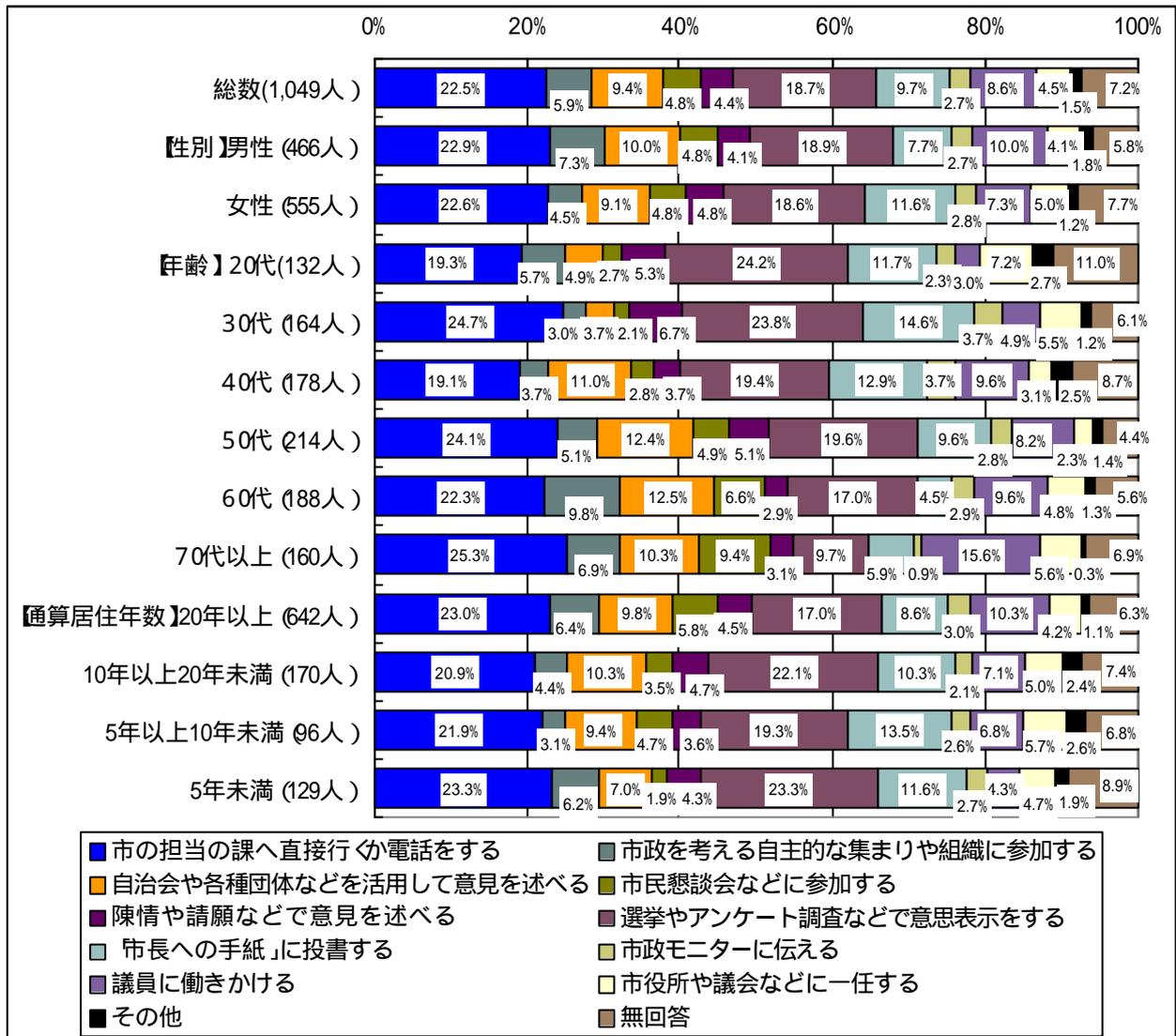
問 18 市政に対して意見を反映したい時、あなたはどのような方法をお考えになりますか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「市の担当の課へ直接行くか電話をする」としている回答が最も多く、次に「選挙やアンケート調査などで意思表示をする」と続く。  
以下「市長への手紙に投書する」「自治会や各種団体などを活用して意見を述べる」「議員に働きかける」と続く。
- ・男女別で見ると、男女ともに「市の担当の課へ直接行くか電話をする」を最も多く選択している。また、男性は女性と比較し「市政を考える自主的な集まりに参加する」や「議員に働きかける」の割合が高いが、「市長への手紙に投書する」の割合は男性よりも女性の方が多い。
- ・年代別に見ると、若い世代ほど「選挙やアンケート調査などで意思表示をする」や「市長への手紙に投書する」の割合が高く、高い年齢ほど「自治会や各種団体などを活用して意見を述べる」や「市民懇談会などに参加する」「議員に働きかける」の割合が増加する傾向がある。
- ・居住年数ごとに見ると、居住年数ごとに目立った差は見られないものの、居住年数が長くなるほど「議員に働きかける」割合は増える傾向にある。

市民要望の市政への反映方法（2LA）



### 市民要望の市政への反映方法 (2LA)



#### 〔前回アンケート結果〕

- ・全体で見ると「市の担当の課へ直接問い合わせる」との回答が最も多く、次に「選挙や世論調査で意思表示する」「自治会や各種団体等で意見を述べる」と続く。
- ・男女別で見ると、男女ともに「市の担当の課に直接問い合わせる」を第1位に挙げている。
- ・年代別で見ると、「市の担当の課に直接問い合わせる」「議員に働きかける」「市政懇談会などに参加する」の回答比率は年代が高まるに連れて高まり、40代以上の各年代が「市の担当の課に直接問い合わせる」を第1位としている。  
また、「自治会や各種団体等で意見を述べる」は50代・60代の回答比率が高い。
- ・居住年数ごとに見ると、居住歴20年以上に「議員に働きかける」とする割合がやや目立つ。

#### 〔前回アンケートとの比較〕

- ・今回アンケートにおいても全体では「市の担当の課へ直接問い合わせる」との回答が最も多く、次に「選挙や世論調査で意思表示をする」と続くところまでは前回アンケートと同様である。  
しかし本アンケートでは「市長への手紙に投書する」という項目が第3位となり、「自治会や各種団体等で意見を述べる」が第4位となっていることから、「市長への手紙」が市政への意見反映手段として市民に浸透していることがわかる。
- ・男女別で見ると、男女ともに「市の担当の課へ直接問い合わせる」を最も多く選択しており、前回

の結果と同様である。

- ・年代別に見ると、今回の結果では高い年齢ほど「自治会や各種団体などを活用して意見を述べる」や、「市民懇談会などに参加する」「議員に働きかける」の割合が増加する傾向があることから、前回とほぼ同様の結果であるといえる。
- ・居住年数ごとに見ると、居住年数ごとに目立った差は見られないものの、居住年数が長くなるほど「議員に働きかける」割合は増える傾向にあることから、この点においても前回と同様である。

#### その他 の回答

インターネットで直接担当にいくようにする
インターネットを中心にする(ネットの普及と、真実を述べやすい為)
千歳市のホームページでそのような意見を書き込みができればそこで意見を述べる
このようなアンケートの型で意見を言えるようにしてほしい。(仕事等で忙しい人はなかなか電話や活動に参加できないので)
英語の教育学校の要望を述べる所がどこにもなかった。前回の選挙でも市民の声を聞く候補者がなくがっかりした
今まで行政の側が何をしたのか見えてこない
市政に意見を言えるように思えない
市の対応に誠意を感じないので共に行おうと思えない。お金がなくても気持ちを見せてほしい
市役所に言いこいても受け入れてくれずほぼ却下される。ほとんど他人事ですまし話は聞き入れない
市役所へ電話をしても適当にあしらわれる
市の担当の課の対応の仕方に問題はないか
意見を言う意欲はあるが煩わしさもある
意見を述べる方法がわからない
どのような事をして無駄としか思えない
何をしてもあまり伝わらないのであきらめた
働きかけても変わらないと感じているので特に何もしない
反映しても無駄と思っている
「市長への手紙」というものがあるのを知らなかった

## 10 財政運営

### (1) これからの行政サービスのあり方

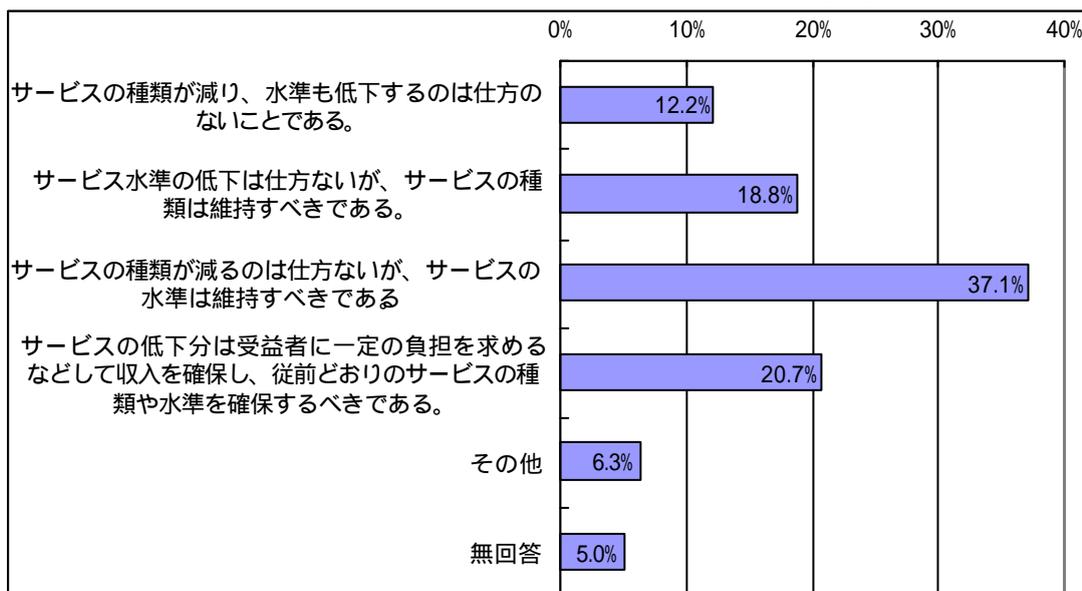
問 19 地方自治体を取り巻く財政状況は厳しく、これまで行ってきた全ての行政サービスを従前どおりの種類や水準で維持することは難しい状況であり、これからのまちづくりは、限られた市の財源をより効果的に配分・活用していくことが求められています。

市においても職員数を減らすなど、経費の抑制に努力しているところですが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方についてあなたはどのようにお考えですか。

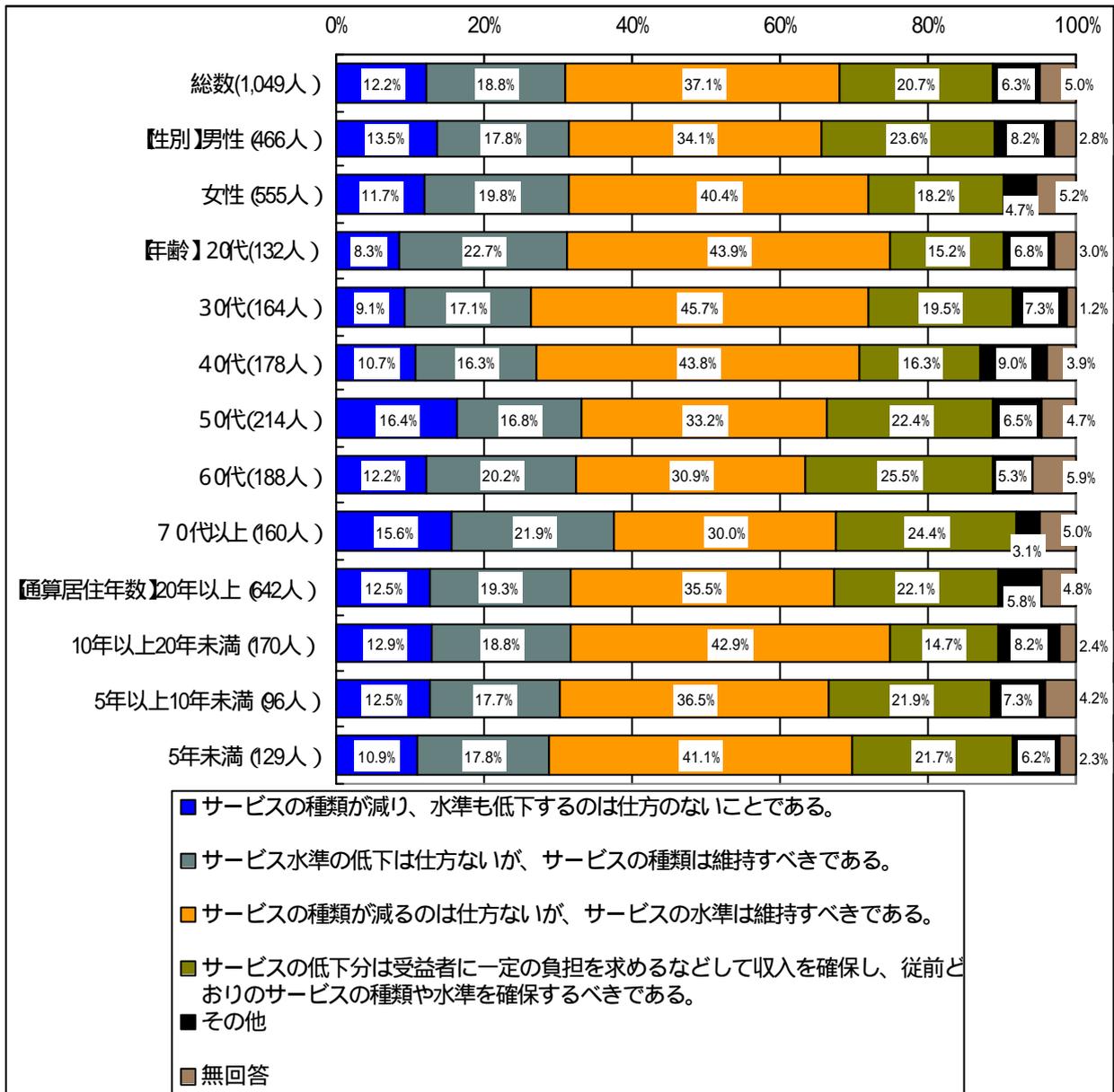
1つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。

- ・全体で見ると、「サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持すべきである」としている回答が最も多く、次に「サービスの低下分は受益者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべきである」、「サービス水準の低下は仕方ないが、サービスの種類は維持すべきである」と続くが、第1位は第2位の約2倍の回答がある。これを見ると、サービス水準のレベルは下げない代わりに必要なサービスの種類を選択するべきであるとする意見が多く、現行のサービスを維持するためには受益者負担を視野に入れるべきであるとする意見も多い。
- ・男女別で見ると「サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持すべきである」を選択しているのは男性よりも女性の方が多く、逆に「受益者負担」を選択しているのは女性よりも男性の方が多い結果となっている。
- ・年代別に見ると、各年代ともにサービスの種類よりも水準を維持するべき意見が多いが、高い年齢になるほど「受益者負担」を選択する割合が増える傾向にある。
- ・居住年数ごとで見ても、各居住年数ともに「サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持すべきである」が最も多い。  
また、10年以上20年未満の居住年数の市民は、他の居住年数の市民と比較し、「受益者負担」の割合が少ない結果となっている。

これからの行政サービスのあり方について (SA)



これからの行政サービスのあり方について (SA)



〔前回アンケート結果および今回アンケートとの比較〕

・前回アンケートでは本設問の設定はなかったため、比較は行っていない。

その他 の回答

専門分野でのスペシャリスト化
あまり使わない施設を停止し、その分の費用をサービスにあて水準をほぼ維持する
一律のサービスではなく弱者にはサービスの継続を行うべき
そのサービスを必要とする人の意見を十分に聞いてから決める
本当に困っている人をしっかり支えてほしい
既成概念にとらわれず時代にふさわしいサービスの種類・内容・質を選びぬけるかが鍵
市として効果的な事業を行う(市としての温泉保養施設を作る等)
文化センターは改修工事の為に閉鎖しているが閉鎖の時期を考えるべきだったのではないか
行政サービスが無料であるという固定観念を越えない限り解決策はない
行政サービスの意味がわからない。下がるというのは必要なかったということか

行政のコスト削減と、必要なサービスをしっかり吟味してメリハリのある実施をすること
行政の財政改革を積極的にしてほしい
経費削減を進め、サービスの種類、水準の維持に努める
経費の抑制をしてサービスの種類や水準を確保すべき
今回のアンケート等から重要で不可欠なものを優先順位をつけ、それらは水準も質も落とすべきでない
サービスの種類がある程度減るのは仕方がないが、受益者負担や経費がかからない方法でサービス水準の維持・向上に努めるべき
サービスの種類が減るのは仕方がないが、水準はかなり低いのでもっと見直しが必要
サービスの種類も水準も負担なしで上げるべき
サービスの低下があり一年ごとに住みづらく感じるので行政についてのプロを入れて立て直す必要がある
サービスの低下を当然の如く、質問の答を設定してるように思える。やればできる。
もともと水準が適当だといえない。下げる事よりも、維持あるいは上げる事が町づくりの市民の協力や対外的なアピールにプラスに働くと考える
財源の無駄遣いを正す
無駄をどんどん無くして市民の税金を大事に使って欲しい
無駄なことがまだあるはずなので経費の抑制をもっとするべき
無駄に使われている税金がないか見直し水準を維持するべき
無駄な工事を無くし浪費を防げば財政状況は多少改善される
千歳は恵庭より財政状況が厳しいと聞いた。原因を追究して市民の血税をもっと大切に使用してほしい
市の財源を効果的に配分・活用されていることはわかるが、必要・不必要をよく検討してほしい
財政難を理由にサービスの種類、質の低下を求めることなく市政を推進することを望む
最低限のサービスに耐えられる国民づくりと、公務員の最大限の能力の効率化
財政状況を改善できないのか
財政状況がどのように厳しいのか知りたい(千歳は税金が高い気がする。自衛隊や空港があるので資金がまわってくるのではない)
財政状況を詳しく公開し、市として無駄を省き経費を抑えていることが伝われば、多少の負担も仕方ないと市民の理解を得られると思う
市民に分かりやすく財政危機の状況を説明・理解してもらい財源の確保に協力を求める
市職員が全員民間人と同じ位仕事をすればサービスの水準を維持する事は難しいことではないと思う
市職員の給与・手当等の見直し・天下り等の行政改革
市職員の給料をもっと減らしても良いと思う
市職員の人件費削減・給料50%カットする
市職員を減らし、議員は定員20名にする
職員減、賃金減、議員減でサービスは向上する。今の半分の賃金で働く人はたくさんいる
議員を少なくし、市職員数を半分に減らし、数多くの公園をやたらに作らないこと
正職員数を減らし安い賃金のパート等を増やせば、サービス低下よりも経費抑制となるのではないか
職員数を減らし経費を抑制しても、智慧をしばってサービスは低下させず施設も減らさない努力をしてほしい
今までの体制がおかしかった。経費抑制・職員数減でも従前のサービスを維持できるはず。それが出来るから今の市長なんだと思う
サービス低下も仕方ないが市職員を減らすことが先
職員が減少していればサービス低下も仕方ない

市は市民から見るとまだ厳しさが甘く苦勞が足りない
公務員は甘すぎる。今の社会情勢をみても一般の会社員は努力している。給与面等で優遇されている分努力すべき
職員が親方日の丸的な考えを無くす必要がある
難しい状況はどこの企業、自治体も同じと考える。人が少なく経費が少ないと言ってサービス水準低下するほうがおかしいと思う。市役所に行って全員が効率よく働いてるとはとても思えない
3月に市役所に行った時暑く感じ、職員も半袖だった。暖房を切る等の小さい無駄を無くす事も重要
地方交付税が職員の給与にまわっていて国家公務員や民間に比べても給料が高すぎ。市民税が大幅アップしたが給料を減らして税を有効活用すべき
特別職手当等、他市町村と比較しても減らしてもよいのでは
不正受給等を無くす
市民に対してキチンと仕事をしているという気持ちがあればこのような質問は出ないはず
出来れば現状維持ではなくより水準向上であれば望ましい。職員いっそうのインテリジェンスが必要
本当に市民が求めている事、ありがたいと思っている事に税金を使うべき。帳尻あわせの道路工事をやめて子供達の安全の為に信号くらいつけてほしい
福祉部分を切り捨てや転換でごまかさないでほしい。保育所等子育て環境をただ丸投げして民間に委託してないか。切るべき所は別でないのか
補助金をできるだけ使わない事で書類作成等の手間が減り、人員削減に繋がる
既に増税や年金額負担増等で受益者負担が多く今後苦しくなることが予想されるのでサービスは広く薄くが適当と思われる
すべて維持すべき
厳しい状況でもやることはやるべき
全て満足できることは困難。一度白紙に戻し、無駄な所と充実しなければならない所を検討すべき
できる限り精一杯行えばよい
無駄のない効率のよい方法
必要なものと無駄なものを正しく見極めて種類を減らす
どのようなサービスがあるか知らないが全て廃止すればすっきりすると思う
利用頻度の少ないサービスを廃止する
現在行っているサービスは全て廃止し、財源内で行われるサービスを優先し順位をつけて行う
無駄なサービスをやめる

## 1 1 市民協働

### (1) 市民協働のまちづくりを進めるうえで重要なこと

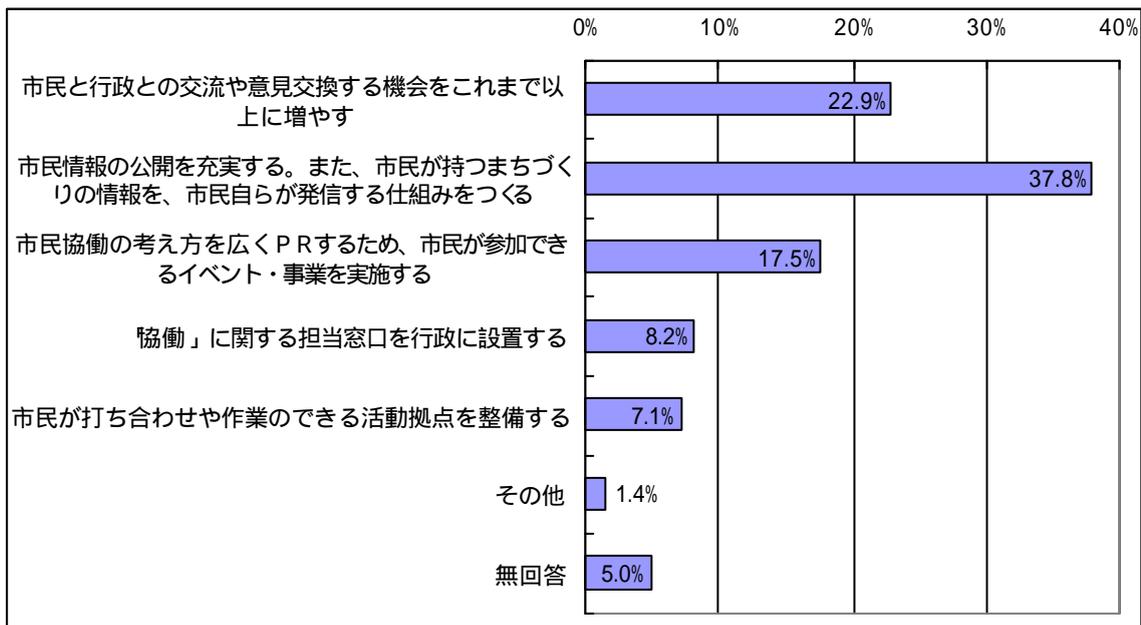
問 20 市民ニーズが多様化し、行政のみではその全てに対応することが難しくなっているなか、千歳市では市民と行政が協力してまちづくりを進める「市民協働のまちづくり」を進めています。

これまで以上に市民の声が反映されるようになりますが、同時にまちづくりに対する市民参加が求められます。

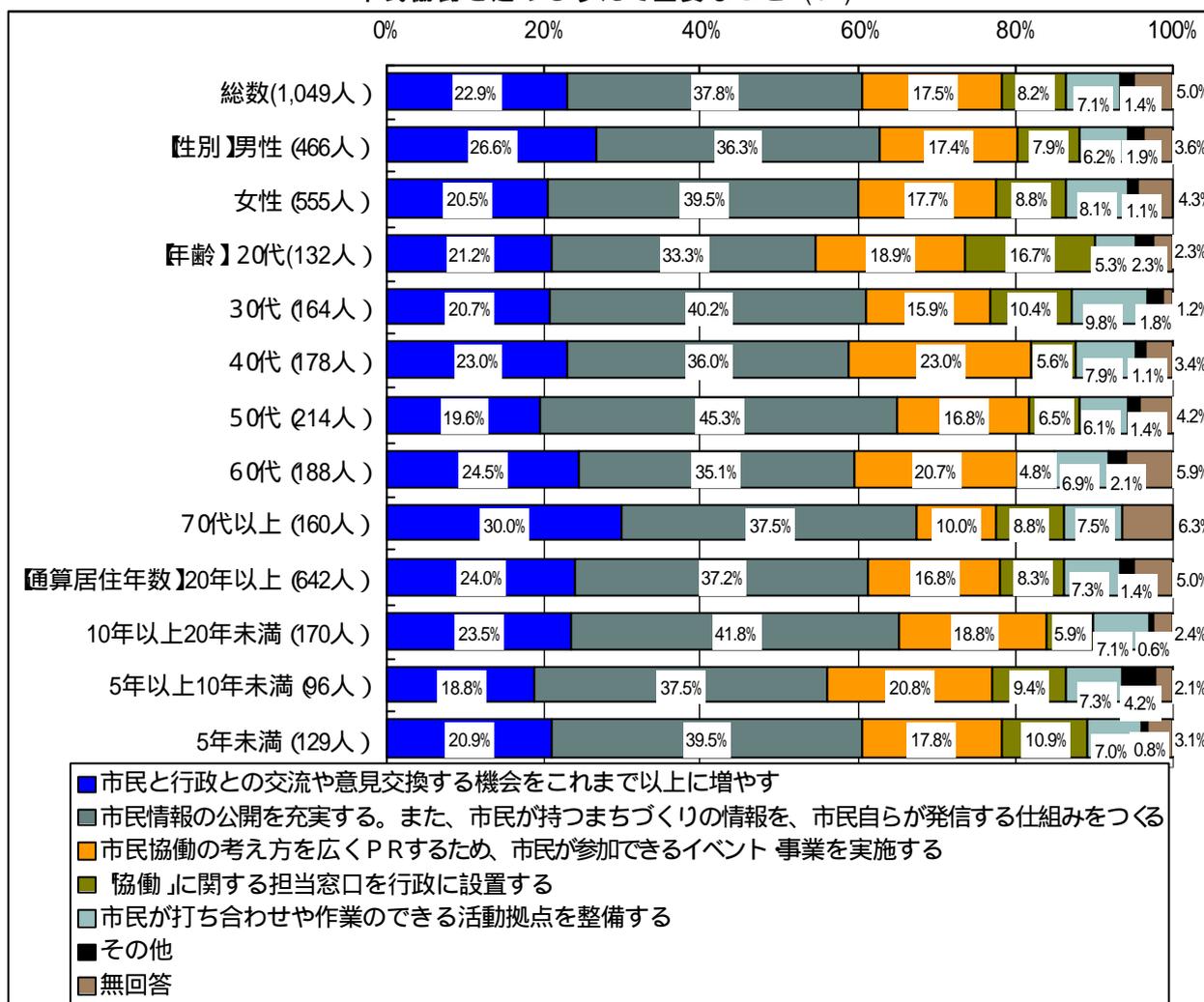
市民の役割が重要となる「市民協働のまちづくり」を進めるうえで、あなたが重要だと考えることを1つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。

- 全体で見ると、「市政情報の公開を充実する。また、市民が持つまちづくりの情報を、市民自らが発信する仕組みをつくる」としている回答が最も多く、次に「市民と行政との交流や意見交換する機会をこれまで以上に増やす」「市民協働の考え方を広くPRするため、市民が参加できるイベント・事業を実施する」と続く。  
これを見ると、市民と行政相互が持つ情報をお互いに共有しあう仕組みづくりや、市民と行政がお互いに意見交換できる場を設けることが必要であるとしている。
- 男女別で見ると、男女ともに「市政情報の公開を充実する。また、市民が持つまちづくりの情報を、市民自らが発信する仕組みをつくる」とするのが最も多いが、この傾向は男性よりも女性の方が若干多い。  
一方、「市民と行政の交流や意見交換する場をこれまで以上に増やす」とする意見は女性よりも男性の方が多い。
- 年代別で見ると、全ての年代で「市政情報の公開を充実する。また、市民が持つまちづくりの情報を、市民自らが発信する仕組みをつくる」とする意見が最も多いが、20代は「協働に関する担当窓口を行政に設置する」とする意見が他の年代と比べ多い結果となっている。  
また、「市民と行政の交流や意見交換する場をこれまで以上に増やす」とする意見は年代が高くなるほど増える傾向がある。
- 居住年数別で見るとこれも全ての居住年数で「市政情報の公開を充実する。また、市民が持つまちづくりの情報を、市民自らが発信する仕組みをつくる」とする意見が最も多い。（グラフ参照）

市民協働を進めるうえで重要なこと (SA)



### 市民協働を進めるうえで重要なこと (SA)



#### 〔前回アンケート結果および今回アンケートとの比較〕

・前回アンケートでは本設問の設定はなかったため、比較は行っていない。

#### その他 の回答

情報開示の徹底と、市民自身がしっかりと勉強すること
町内等自治会の活用による活動
若い人の声を多く聞くこと
若者が参加しやすい方策
喫煙者を追いつめないまちづくり
「レラ」のようなものを作るなら市内中心部 市民がすぐ行ける所に作るべき (市民の声を聞いて作るべき)
今までも市民協働であったと思う。行政は市民の話を誠実に聞き「出来ない」ではなく知恵を出す必要がある
行政はしっかり自分達の仕事をしてほしい
市民と行政との意見交換会等で、行政が主流で進行する事がないようにしてほしい
何をしても市役所のOBが関係するのではないか
こうした事をしてください、と投げかけられるだけの行政のリーダー的、知識の大きさがほしい
実行前にこのような市民のアンケートを参考にして、議会や行政は判断してほしい
半ば強制的でも市民一人一人が参加して考えていかなければ意味がない(このようなアンケートを配るのも良い)。参加して楽しさを感じれば色々な可能性も増えると思う

地区別分析結果

---

# 1 回答者の地区別属性

以下は、今回のアンケートにおける各地区ごとの回答者の属性内訳である。



**[地区1] 東雲町、朝日町、本町ほか** - 東雲町、朝日町、本町、真々地、平和、2空団、真町 -

当地区は、中心市街地の南部のほか、新千歳空港および航空自衛隊千歳基地を含む地区であるが、男性と女性の割合はともに50.0%となっている。

年齢構成は、20代が23.9%と、全地区中で最も若い年齢構成となっている。また、千歳市での居住歴も「5年未満」が26.1%を占めるなど、年齢が若く、転入者が多く居住歴が浅い特性がある。なお、家族構成は「一人暮らし（単身赴任含む）」が26.1%を占めており、これは全地区中第2位である。

職業は、「公務・団体等勤務（自衛隊含む）」が30.4%を占め、全地区中最高となっている。

**[地区2] 若草、白樺、里美、柏陽ほか** - 若草、白樺、里美、柏陽、泉沢、文京、福住 -

臨空工業団地を有し、泉沢向陽台団地を中心とする当地区は、男性の比率が55.0%と女性を12.7ポイント上回り、全地区中で最も高い比率となっている。

年齢構成は、40代と50代で50%を占め、50代（33.3%）は全地区中最高の比率である。「市外生まれ」（91.0%）は全地区中第2位、居住歴「10年以上20年未満」（25.2%）は全地区中最高、「2世代家族」（45.0%）は全地区中第2位であり、居住歴の浅い、核家族中心の新興住宅地の特性が表れている。

職業は、「学生・無職（専業主婦含む）」が44.1%で最も多く、「運輸業・通信業など」が全地区中最高となっている。

**[地区3] 錦町、春日町、緑町、大和ほか** - 錦町、春日町、緑町、大和、桂木、蘭越、新星 -

錦町以西の千歳側左岸の住宅地域を中心とする当該地区は、女性が男性を21ポイント以上上回る60.7%を占めている。

年齢構成は、60歳代・70歳代以上で約50%を占め、20代は10%をわずかに下回っている。

出生地は、千歳と千歳以外の全地区平均割合2：8とほぼ同じ構成となっている。

居住歴の構成比では「20年以上」が67.2%と住宅地域の中では高台、富丘などの地区に次いで高い数値となっている。

家族構成は「一人暮らし（単身赴任含む）」の割合が23.0%と、全地区平均（10.9%）を大きく上

回っている。

職業は、「商業・サービス業・金融業など」「公務・団体等勤務（自衛隊含む）」や「製造業・建設業」が全地区平均を上回っている。

#### [地区4] 清水町、幸町、千代田町、栄町

千歳駅周辺に位置する当地区は、男性と女性の比率が均衡しており、年齢構成は70代以上が30.8%と農業地域以外では最も高い比率となっている。

居住年数は、「20年以上」が61.5%とほぼ全地区平均値となっているが、「5年未満」も全地区中第2位の23.1%と高い比率となっており居住年数の構成に偏りが見られる。

家族構成は、「一人暮らし（単身赴任含む）」の割合が26.9%と全地区中最高であり、「2世代」を合わせると57.7%と全地区平均をかなり上回っている。

職業は、駅周辺商業地域にあることから「商業・サービス業・金融業など」が38.5%で全地区中最高となっている。

#### [地区5] 北栄、新富

千歳駅に近く、JR千歳線と国道36号に挟まれた当地区は、男女構成がほぼ全地区平均値となっている。

年齢構成は、40代が26.8%と全地区中最高であるが、20代と30代も全地区平均を上回っており、比較的若い年齢構成となっている。「千歳生まれ」や居住歴「20年以上」の比率が全地区平均を上回る一方で、居住歴の浅い回答者も少なくない。

職業は、「学生・無職（専業主婦含む）」が44.6%と全地区平均を上回っている。

#### [地区6] 北斗、自由ヶ丘、桜木ほか

- 北斗、自由ヶ丘、桜木、北信濃（無番地、871~964）、北部隊、上長都（3、382、1057、1058） -

工業団地を有し恵庭市に隣接する当地区は、男女構成がほぼ全地区平均値となっている。

年齢構成は、60代で24.5%と住宅地域の中では高い数値を示しているが、20代から50代までは全地区平均に近い年齢構成となっている。

居住年数は、「20年以上」が66.0%と住居地域の中では高い数値を示しており、家族構成は「夫婦のみ」の世帯が39.6%と全地区中最高の比率となっている。

職業は、「学生・無職（専業主婦含む）」が全地区平均を上回り45.3%となっている。

#### [地区7] 北陽、長都駅前、信濃ほか

- 北陽、長都駅前、信濃、富士、北信濃（180、231、232、238、281、283、321、336、338、345、346、360、366、388、591、631、632、676~680、782、841）上長都923、924、929、931、933~943、1020、1024、1036、1102、1112~1119、1121、1122 -

JR千歳線周辺の北部市街地に位置し、工業団地のほか一部農業地域を含む当地区は、男性と女性の割合が均衡している。

年齢構成は、30代が全地区中最高の21.4%で最も多く、20代と40代も全地区平均を上回るなど比較的若い構成となっている。

居住年数では、「10年以上20年未満」「5年以上10年未満」「5年未満」で全地区平均を上回っており、宅地開発の時期とほぼ一致する。

家族構成では、「夫婦のみ」と「2世代」の比率が全地区平均よりも高い。

職業は、「学生・無職（専業主婦含む）」が全地区中第3位で、年齢構成からも学生が多いものと推

測できる。また、「製造業・建設業」、「運輸業・通信業」および「その他の職業」が全地区平均を上回っており、近接する工業団地内企業での勤務者も相当数いることが推測できる。

#### [地区8] 高台、富丘、北光、あずさ

J R千歳線以東の富丘地区を中心とする当地区は、女性が60.8%、男性が36.3%と女性が男性を大きく上回る。

年齢構成は、40代と60代がともに22.5%と全地区平均を大きく上回っている。また、居住年数では「20年以上」が71.6%と住宅地域の中では最高の比率を占めるなど、宅地開発の時期や市営住宅の状況との関連が推測できる。家族構成では「2世代」(44.1%)が全地区平均を上回るが、その他のほぼ平均値である。

職業は、「製造業・建設業」と「商業・サービス業」のほか、「学生・無職(専業主婦含む)」も全地区平均を上回っている。

#### [地区9] 末広、花園、稲穂、清流、幸福

千歳駅の東側、千歳川左岸に位置する当地区は、女性が62.0%、男性が35.2%と女性が男性を大きく上回る。年齢構成は30代と40代で全地区平均を上回っている。また、居住年数では「10年以上20年未満」が全地区平均を大きく上回り、さらに、家族構成も「夫婦のみ」が36.1%、「2世代」が42.6%と全地区平均を上回るなど、今回調査から当地区に編入した新興住宅地の清流および幸福地区の状況が影響しているものと推測できる。

職業は、「製造業・建設業」が14.8%で全地区中第3位、「その他の職業」が15.7%で全地区中最高の比率となっている。

#### [地区10] 青葉、日の出、住吉、豊里ほか - 青葉、青葉丘、日の出、日の出丘、住吉、東郊、豊里、梅ヶ丘2丁目 -

J R千歳線の東部、千歳川右岸の準工業地域を中心とする当地区は、男性と女性の比率がほぼ同じであり、年齢構成は20代から40代までと60代で全地区平均を上回る。

居住年数は、「10年以上20年未満」と「5年未満」が全地区平均を上回っており、職業は、「製造業・建設業」が全地区平均を若干上回っているが、「学生・無職(専業主婦含む)」が46.6%と全地区中最高となっている。このことから、通勤世帯が一定の割合で存在しているものと推測できる。

#### [地区11] 弥生、寿、旭ヶ丘ほか - 梅ヶ丘1・3丁目、弥生、寿、旭ヶ丘、祝梅、東部隊、流通 -

市街地に農業地域と東千歳駐屯地を含む当地区は、男性が51.5%、女性が48.5%と全地区の中で女性の割合が女性を上回る2地区のうちの一つ(もう1地区は若草などの第5地区)である。

年齢構成は、20代から30代までの各年代が全地区平均を大きく上回るなど、若い年齢構成となっている。

出生地は、「千歳市生まれ」が12.1%と少なく、居住歴は「10年以上20年未満」が全地区平均値であるものの全体的には浅い傾向となっている。家族構成も「一人暮らし(単身赴任含む)」の比率が比較的高く、職業は、「公務・団体等勤務(自衛隊含む)」の割合が27.3%と、[地区1]に次いで全地区中第2位の比率となっている。

#### [地区12] 都、長都、駒里、泉郷ほか

- 都、長都、釜加、北信濃(590, 633, 636) 根志越、中央、駒里、泉郷、美々、柏台、柏台南 -

東部市街地や東千歳駐屯地を囲む農業地域である当地区は、女性が60.6%で男性を大きく上回っている。

年齢構成は、50代と70代以上がともに33.3%で全地区中最高のほか、20代が3.0%と全地区中最低となっている。出生地は「千歳市生まれ」が48.5%と全地区中最高の比率を占め、居住年数も「20年以上」が93.9%と全地区中最高の比率となっている。

家族構成は、「3世代以上」で27.3%で全地区中最高の比率となっている。

出生地は、「千歳市生まれ」が48.5%と全地区中最高の比率となっている。

職業は、「農林漁業」が全地区中第2位と極めて高い比率（51.5%）となっている。

#### [地区13] 幌加、協和、新川、東丘

市内最東部に位置し、農地および丘陵地帯が主体をなす当地区は、女性が54.6%で男性を上回り、年齢構成は20代と30代が全地区中最低の比率となっている。

出生地は、「千歳市生まれ」（36.4%）と全地区中最高で、居住年数も「20年以上」が81.8%と全地区中第2位という高い比率になっている。

家族構成は、「夫婦のみ」と「3世代以上」で全地区平均を上回っている。

職業は、「農林漁業」が全地区中最高の78.8%を占めている。

#### [地区14] 支笏湖温泉、幌美内ほか

- 支笏湖温泉、幌美内、モラップ、水明郷、藤の沢、美笛、支寒内、奥潭 -

支笏湖を含めた市西部の広大な森林地帯を占める当地区は、女性が全地区中最高の64.5%を占め、男性を大きく上回っている。

年齢構成は、60代が全地区中最高の29.0%であり、20代と30代が少ない。出生地は「千歳市生まれ」が3.2%と全地区中最低で、居住年数は「20年以上」の居住歴が長い回答者が多く、家族構成は、「夫婦のみ」と「一人暮らし(単身赴任含む)」で54.9%を占める。

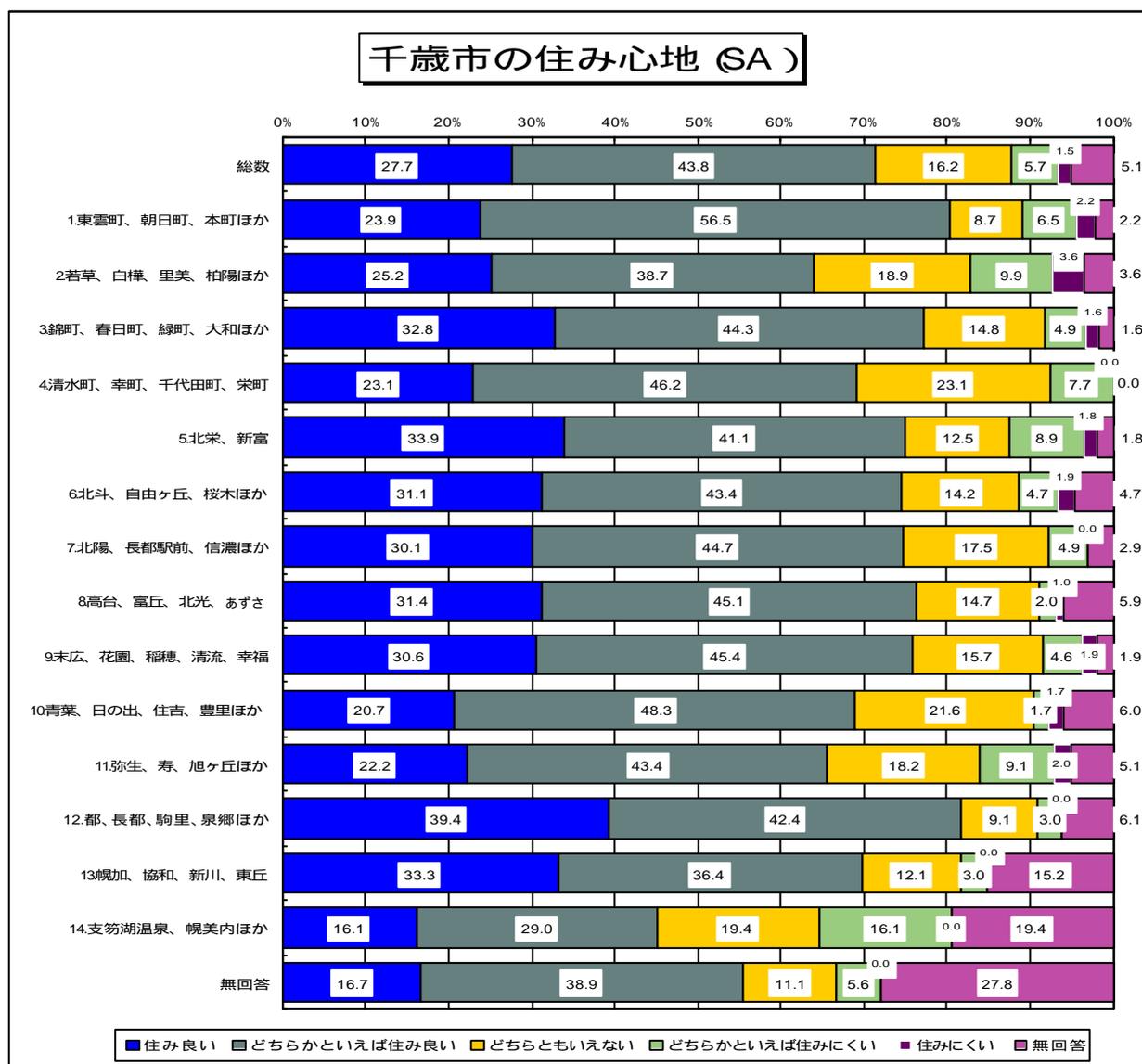
職業は、観光地区であることから、「商業・サービス業・金融業など」（35.5%）が全地区中第2位の高い比率となっている。

## 2 生活環境に関する地区別評価

### (1) 住み心地

住み良さに関する地区別の評価をみると、「住み良い」との回答は、[地区12]が39.4%で最も多く、以下、[地区5](33.9%)、[地区13](33.3%)の順となっているが、「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」を合わせた肯定的な回答の合計は、[地区12]の81.8%を最高に、[地区1](80.4%)、[地区3](77.1%)、[地区8](76.5%)、[地区9](76.0%)、[地区5](75.0%)、[地区7](74.8%)、[地区6](74.5%)の順で、以上の8地区が70%を超えている。

各地区ともに住み良さに肯定的な回答が否定的な回答を上回っているが、[地区14]については肯定的な回答が50%に達していない(45.1%)。「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた否定的な回答は、[地区14]が16.1%で最も多く、[地区2](13.5%)、[地区11](11.1%)、[地区5](10.7%)の合計4地区で10%を超えている。支笏湖周辺地域、向陽台地域、空港に近接する地域などに否定的な回答がめだつ。



## (2) 日常生活の満足度(項目別生活環境評価)

日常生活に関する30の項目について、「満足」に+2、「やや満足」に+1、「普通」に0、「やや不満」に-1、「不満」に-2の加重値を与えた平均評価点を算出し、地区ごとの満足度評価の比較分析を行った(グラフ後掲)。

[地区4][地区6]および[地区13]は全体的に満足度が高く、大半の項目が全地区平均の評価を上回っている。また、[地区1][地区3]および[地区12]も全地区平均の評価を上回る項目が多い。他方、全体的に満足度が低く、全地区平均の評価を下回る項目が多いのは[地区9]である。地区による評価の差が大きいのは、「日常の買い物環境」「道路や歩道の除排雪」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「住宅事情」「小・中学校・高校などの教育環境」「鉄道・バスなどの公共交通機関」などで、他方、地区による評価の差が比較的小さいのは、「青少年の健全育成」「芸術・文化の振興」「国際交流・都市間交流」「観光の振興」などの項目である。

### [地区1] 東雲町、朝日町、本町ほか

- 東雲町、朝日町、本町、真々地、平和、2空団、真町 -

当地区は、評価が高い順に「公園や緑地の整備」「自然環境の保全」「ごみ処理・リサイクル」など11項目がプラス評価、他方、評価が低い順に「道路や歩道の除排雪」「働く場の確保」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「鉄道・バスなどの公共交通機関」など14項目がマイナス評価された。

全地区平均の評価を上回っているのは「公園や緑地の整備」「自然環境の保全」「自然災害などに対する防災」などで、全地区平均の評価を下回っているのは「道路の整備」「鉄道・バスなどの公共交通機関」などである。

### [地区2] 若草、白樺、里美、柏陽ほか

- 若草、白樺、里美、柏陽、泉沢、文京、福住 -

当地区は、評価が高い順に「公園や緑地の整備」「町内会などのコミュニティ活動」「自然環境の保全」など7項目がプラス評価、他方、評価が低い順に「道路や歩道の除排雪」「働く場の確保」「病院・診療所などの医療環境」「日常の買い物環境」など20項目がマイナス評価された。

全地区平均の評価を上回っているのは、「町内会活動などのコミュニティ活動」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「公園や緑地の整備」などである。また、全地区平均の評価を下回っているのは「日常の買い物環境」が著しく低く、その他では「病院・診療所などの医療環境」「高齢者のための施策」「障害者のための施策」「生涯学習の場づくり」「小・中学校・高校などの教育環境」「文化財や史跡の伝承保存」「鉄道・バスなどの公共交通機関」が並んでいる。

### [地区3] 錦町、春日町、緑町、大和ほか

- 錦町、春日町、緑町、大和、桂木、蘭越、新星 -

当地区は、評価が高い順に「公園や緑地の整備」「スポーツの振興」「町内会活動などのコミュニティ活動」など9項目がプラス評価、他方、評価が低い順に「道路や歩道の除排雪」「働く場の確保」「病院・診療所などの医療環境」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」など15項目がマイナス評価された。

全地区平均の評価を上回っているのは「スポーツの振興」「町内会活動などのコミュニティ活動」など8項目で、全地区平均の評価を下回っているのは「小・中学校・高校などの教育環境」など6項目であるが、全地区平均との評価の差は比較的小さい。

### [地区4] 清水町、幸町、千代田町、栄町

当地区は、評価が高い順に「公園や緑地の整備」「スポーツの振興」「自然環境の保全」など20項目がプラス評価、他方、評価が低い順に「働く場の確保」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「防犯」など4項目がマイナス評価された。

全地区平均の評価を上回っているのは、「交通安全」「スポーツの振興」が最も高く、全地区平均の

評価を下回っているのは「騒音・振動・悪臭などの公害防止」のみである。当地区では、30項目の設問のうち11項目が全地区中最高の評価となっているなど満足度が高い傾向にある。

#### [地区5] 北栄、新富

当地区は、評価が高い順に「病気予防のための保健活動」「自然環境の保全」「公園や緑地の整備」など11項目がプラス評価され、他方、評価が低い項目は「道路や歩道の除排雪」が最も低く、以下「病院・診療所などの医療環境」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「防犯」「観光の振興」「働く場の確保」など17項目がマイナス評価された。このうち「病気予防のための保健活動」は全地区の中で最も評価が高い。

全地区平均の評価を上回っているのは「病気予防のための保健活動」「高齢者のための施策」「農業の振興」「働く場の確保」など7項目、全地区平均の評価を下回っているのは「子育て環境」「町内会活動などのコミュニティ活動」「まちの景観」など10項目である。

#### [地区6] 北斗、自由ヶ丘、桜木ほか

- 北斗、自由ヶ丘、桜木、北信濃(無番地、871~964)、北部隊、上長都(3、382、1057、1058) -

当地区は、評価が高い順に「小・中学校・高校などの教育環境」「公園や緑地の整備」「日常の買い物環境」「ごみ処理・リサイクル」など15項目がプラス評価され、他方、評価が低い順に「道路や歩道の除排雪」「働く場の確保」「防犯」「まちづくりに対する市民と行政の連携」など8項目がマイナス評価された。このうち「病気予防のための保健活動」は全地区の中で[地区5]と並んで最も評価が高い。

全地区平均の評価を上回っているのは「小・中学校・高校などの教育環境」「日常の買い物環境」など21項目で、「小・中学校・高校などの教育環境」は全地区の中で最も評価が高い。全地区平均の評価を下回っているのは「道路や歩道の除排雪」のみであり、当地区は全地区平均に比べて評価が全体的に良好である。

#### [地区7] 北陽、長都駅前、信濃ほか

- 北陽、長都駅前、信濃、富士、北信濃(180、231、232、238、281、283、321、336、338、345、346、360、366、388、591、631、632、676~680、782、841) \ 上長都923、924、929、931、933~943、1020、1024、1036、1102、1112~1119、1121、1122 -

当地区は、評価が高い順に「日常の買い物環境」「自然環境の保全」「公園や緑地の整備」など11項目がプラス評価され、他方、評価が低い順に「道路や歩道の除排雪」「防犯」「働く場の確保」など15項目がマイナス評価された。

全地区平均の評価を上回っているのは「日常の買い物環境」「鉄道・バスなどの公共交通機関」など10項目で、全地区平均の評価を下回っているのは「防犯」など11項目であるが、全地区平均の評価との差は僅少である。

#### [地区8] 高台、富丘、北光、あずさ

当地区は、評価が高い順に「自然環境の保全」「日常の買い物環境」「スポーツの振興」など12項目がプラス評価され、他方、評価が低い順に「道路や歩道の除排雪」「働く場の確保」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」など15項目がマイナス評価された。

全地区平均の評価を上回っているのは「交通安全」「住宅事情」「日常の買い物環境」など9項目で、全地区平均の評価を下回っているのは「公園や緑地の整備」など8項目であるが、全地区平均の評価との差は僅少である。

### [ 地区9 ] 末広、花園、稲穂、清流、幸福

当地区は、評価が高い順に「日常の買い物環境」「公園や緑地の整備」「自然環境の保全」など4項目がプラス評価され、他方、評価が低い項目は「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「住宅事情」「道路や歩道の除排雪」が著しく低いほか21項目がマイナス評価された。

全地区平均の評価を上回っている項目は「障害者のための施策」「文化財や史跡の伝承保存」「日常の買い物環境」の3項目で、全地区平均の評価を下回っているのは全地区の中で最も評価が低い「住宅事情」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「道路や歩道の除排雪」など22項目である。全地区平均に比べて全体的に評価が低い。

### [ 地区10 ] 青葉、日の出、住吉、豊里ほか

- 青葉、青葉丘、日の出、日の出丘、住吉、東郊、豊里、梅ヶ丘2丁目 -

当地区は、評価が高い順に「日常の買い物環境」「公園や緑地の整備」「ごみ処理・リサイクル」など6項目がプラス評価され、他方、評価が低い順に「道路や歩道の除排雪」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「働く場の確保」など19項目がマイナス評価された。

全地区平均の評価を上回っているのは「日常の買い物環境」のみであり、全地区平均の評価を下回っているのは「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「まちの景観」など14項目である。

### [ 地区11 ] 弥生、寿、旭ヶ丘ほか

- 梅ヶ丘1・3丁目、弥生、寿、旭ヶ丘、祝梅、東部隊、流通 -

当地区は、評価が高い順に「自然環境の保全」「公園や緑地の整備」「スポーツの振興」など9項目がプラス評価され、他方、評価が低い順に「道路や歩道の除排雪」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「働く場の確保」など18項目がマイナス評価された。

全地区平均の評価を上回っているのは「障害者のための施策」「芸術・文化の振興」「文化財や史跡の伝承保存」「スポーツの振興」「農業の振興」「働く場の確保」の6項目であるが、いずれもプラス0.1ポイントとほぼ平均値である。他方、全地区平均の評価を下回っているのは「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「鉄道・バスなどの公共交通機関」など9項目である。

### [ 地区12 ] 都、長都、駒里、泉郷ほか

- 都、長都、釜加、北信濃（590、633、636）、根志越、中央、駒里、泉郷、美々、

柏台、柏台南 -

当地区は、評価が高い項目は「日常の買い物環境」が第1位で、次いで「公園や緑地の整備」「住宅事情」「文化財や史跡の伝承保存」が同ポイントで並んでおり、全体では10項目がプラス評価された。他方、評価が低い項目は「高齢者のための施策」「道路や歩道の除排雪」「農業の振興」「働く場の確保」が同ポイントで最も低く、全体では13項目がマイナス評価された。

全地区平均の評価を上回っているのは「病院・診療所などの医療環境」「防犯」「住宅事情」「道路や歩道の除排雪」「文化財や史跡の伝承保存」「日常の買い物環境」が同ポイントで並び、全体では13項目である。全地区平均の評価を下回っているのは「農業の振興」が最も低く、次いで「高齢者のための施策」「小・中学校・高校などの教育環境」「道路の整備」が並び、全体では7項目である。

### [ 地区13 ] 幌加、協和、新川、東丘

当地区は、評価が高い項目は「公園や緑地の整備」「道路の整備」が第1位で、次いで「町内会活動などのコミュニティ活動」「自然環境の保全」「道路や歩道の除排雪」が同ポイントで並んでおり、全体では17項目がプラス評価され、他方、評価が低い項目は「高齢者のための施策」が第1位で、次いで「障害者のための施策」「働く場の確保」が並び、全体では5項目がマイナス評価された。

全地区平均の評価を上回っているのは、「騒音・振動・悪臭などの公害防止」が第1位で、次いで「病院・診療所などの医療環境」「道路の整備」が同ポイントで並び、全体では21項目である。全地区平均の評価を下回っているのは、「高齢者のための施策」「日常の買い物環境」の2項目である。

[ 地区14 ] 支笏湖温泉、幌美内ほか

- 支笏湖温泉、幌美内、モラップ、水明郷、藤の沢、美笛、支寒内、奥潭 -

当地区は、評価が高い順に「公園や緑地の整備」「自然環境の保全」「ごみ処理・リサイクル」など9項目がプラス評価され、他方、評価が低い順に「日常の買い物環境」「鉄道・バスなどの公共交通機関」「病院・診療所などの医療環境」「働く場の確保」など17項目がマイナス評価された。

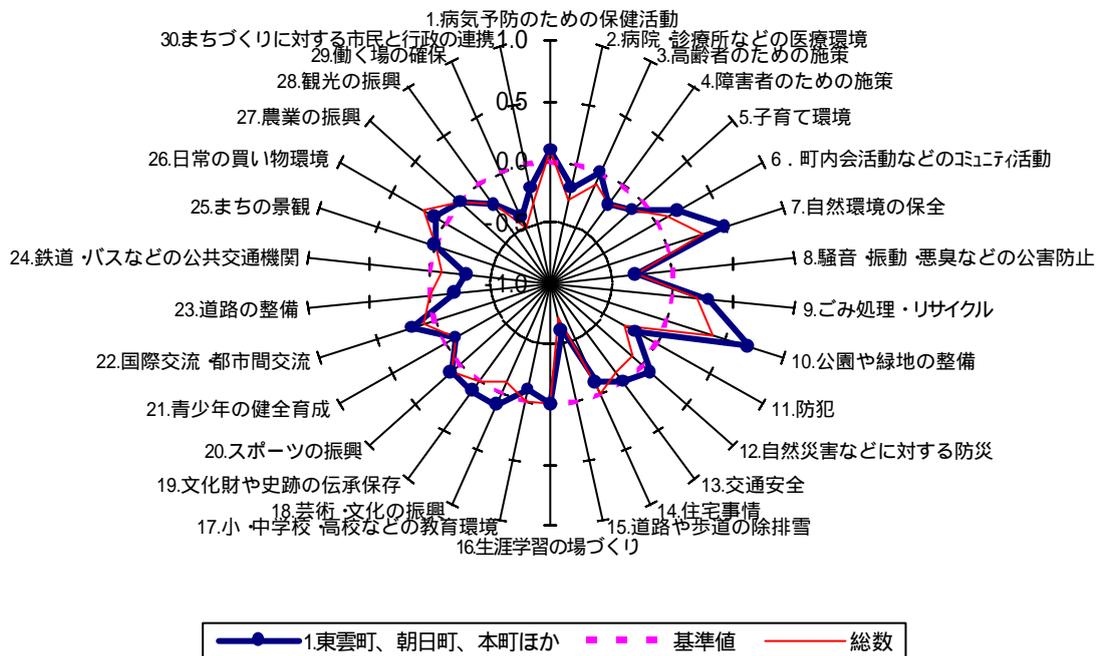
全地区平均の評価を上回っているのは「防犯」が第1位で、次いで「自然環境の保全」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「公園や緑地の整備」が並び、全体では12項目である。全地区平均の評価を下回っているのは、「鉄道・バスなどの公共交通機関」が第1位で、次いで「病院・診療所などの医療環境」と続き、全体では15項目である。

次に掲げるグラフは、「満足」に+2、「やや満足」に+1、「普通」に0、「やや不満」に-1、「不満」に-2の加重値を与えた平均評価点を算出し、地区別・項目別で満足度評価の比較を行ったものである。

太実線は当該地区の評価、点線は基準値（±0：「普通」）、細実線は総数（全地区平均の評価）を表す。

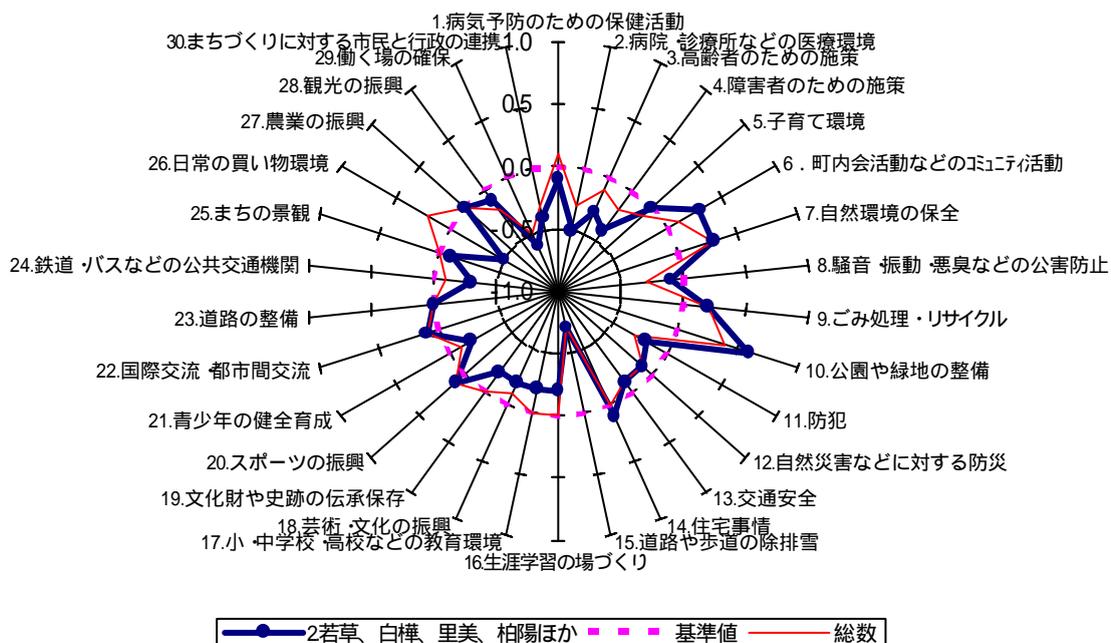
### 日常生活の満足度(SA)

1.東雲町、朝日町、本町ほか

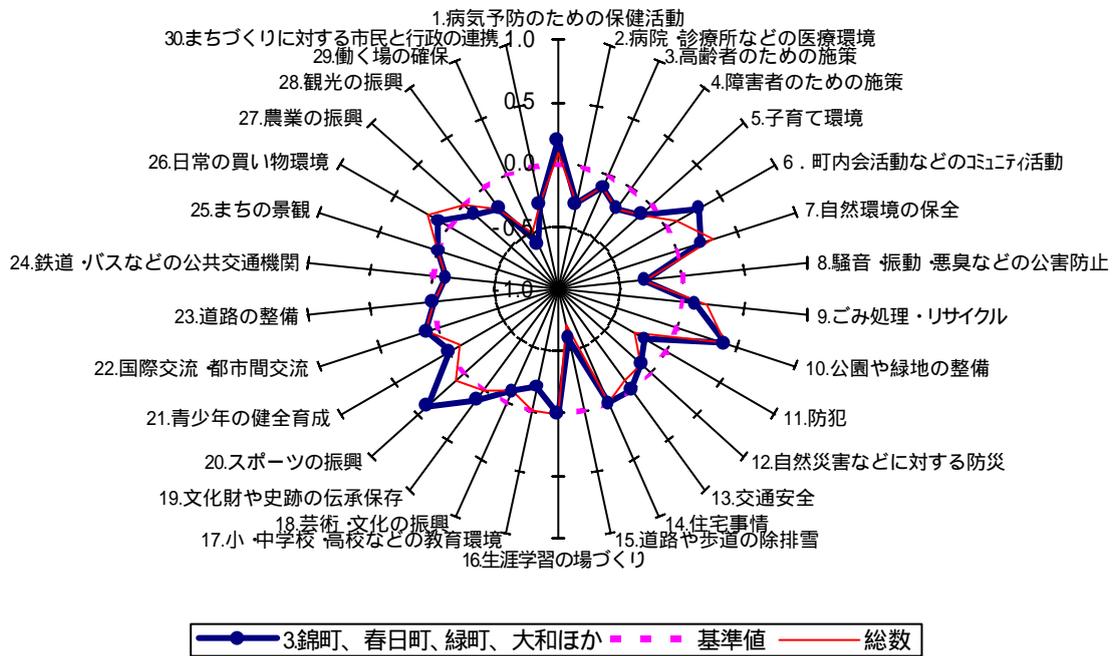


### 日常生活の満足度(SA)

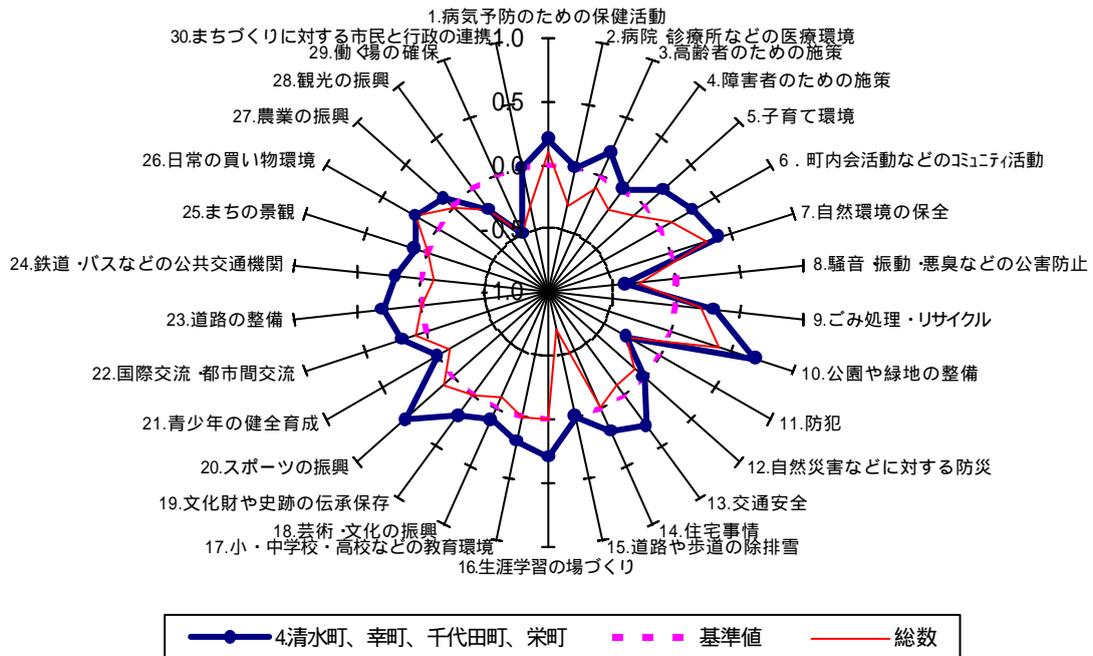
2.若草、白樺、里美、柏陽ほか



### 日常生活の満足度(SA) 3.錦町、春日町、緑町、大和ほか

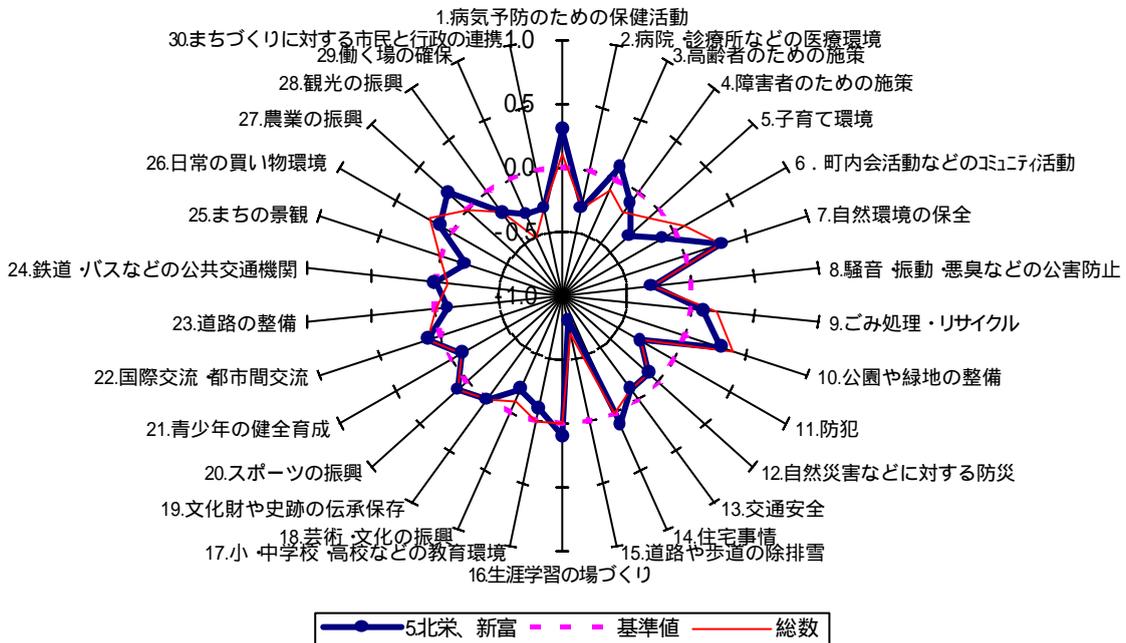


### 日常生活の満足度(SA) 4.清水町、幸町、千代田町、栄町



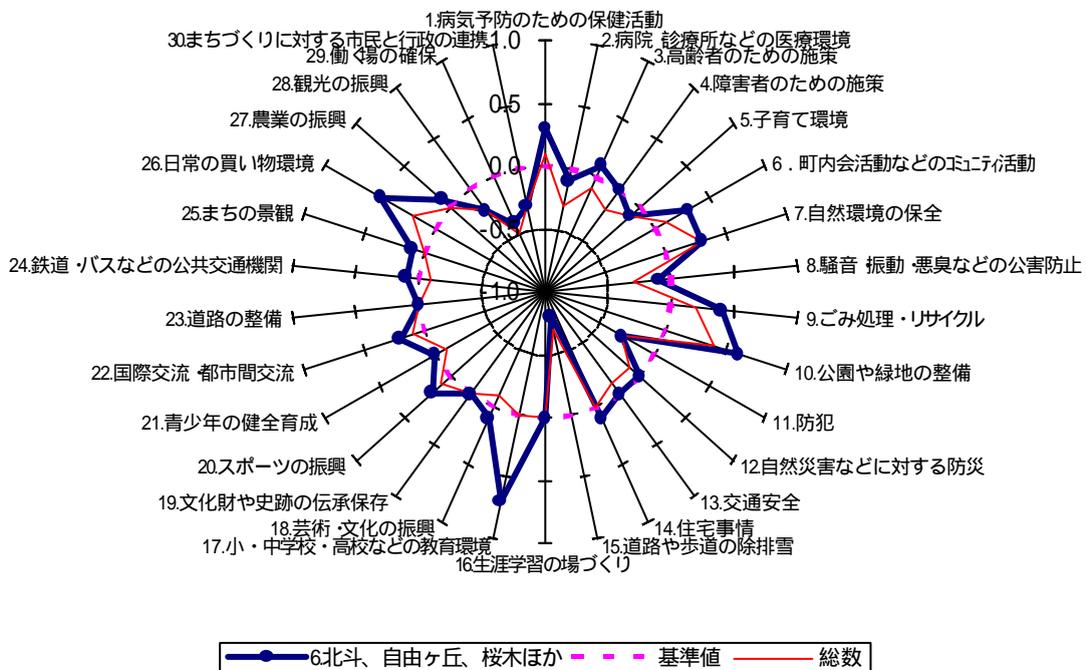
## 日常生活の満足度(SA)

5北栄、新富



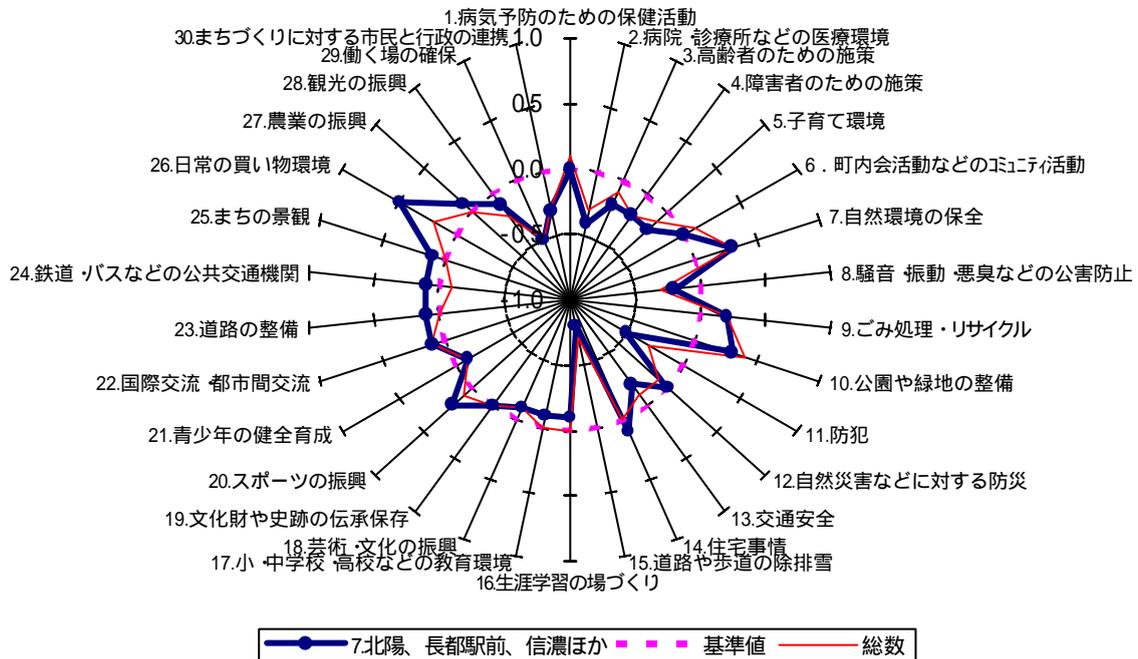
## 日常生活の満足度(SA)

6北斗、自由ヶ丘、桜木ほか



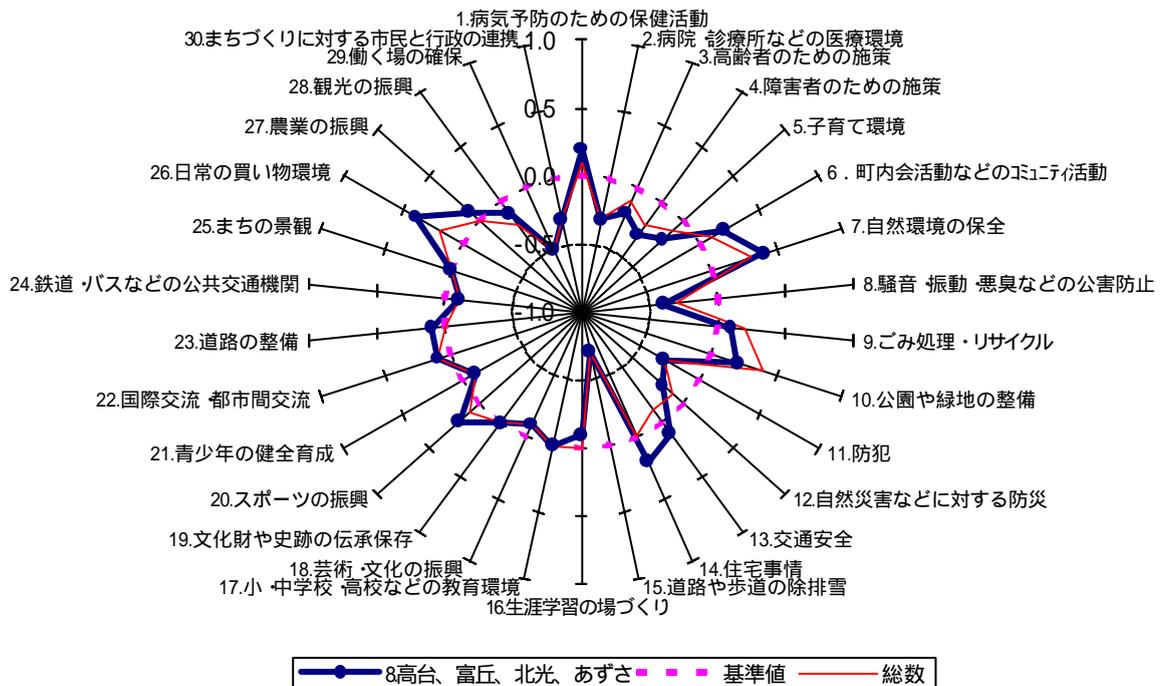
## 日常生活の満足度(SA)

7.北陽、長都駅前、信濃ほか



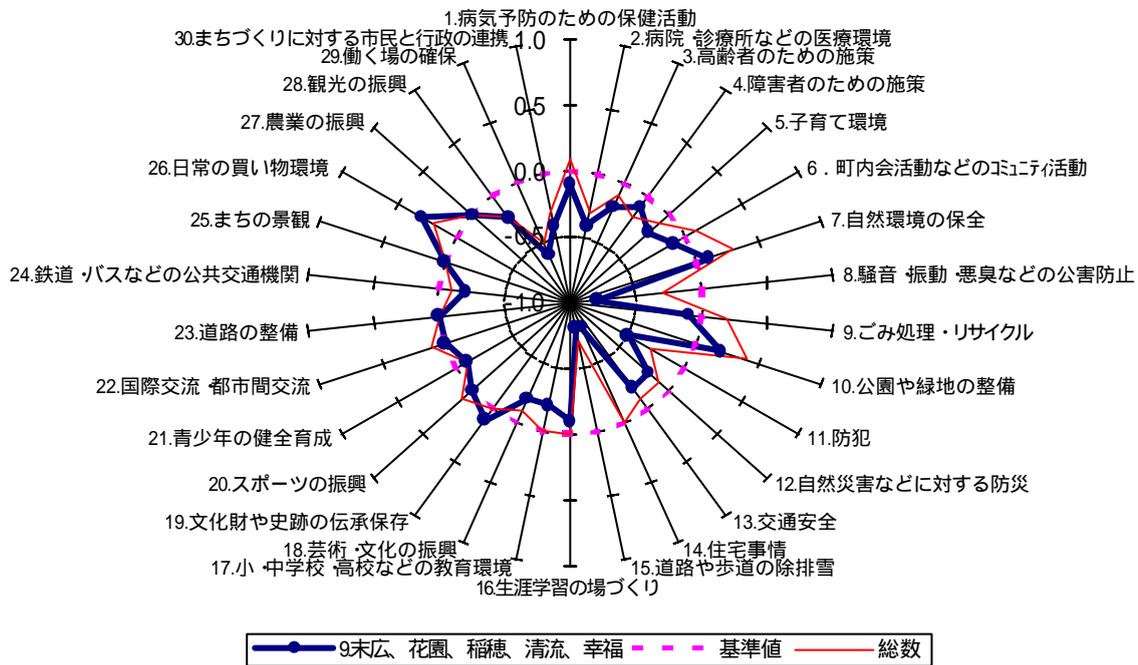
## 日常生活の満足度(SA)

8.高台、富丘、北光、あずさ



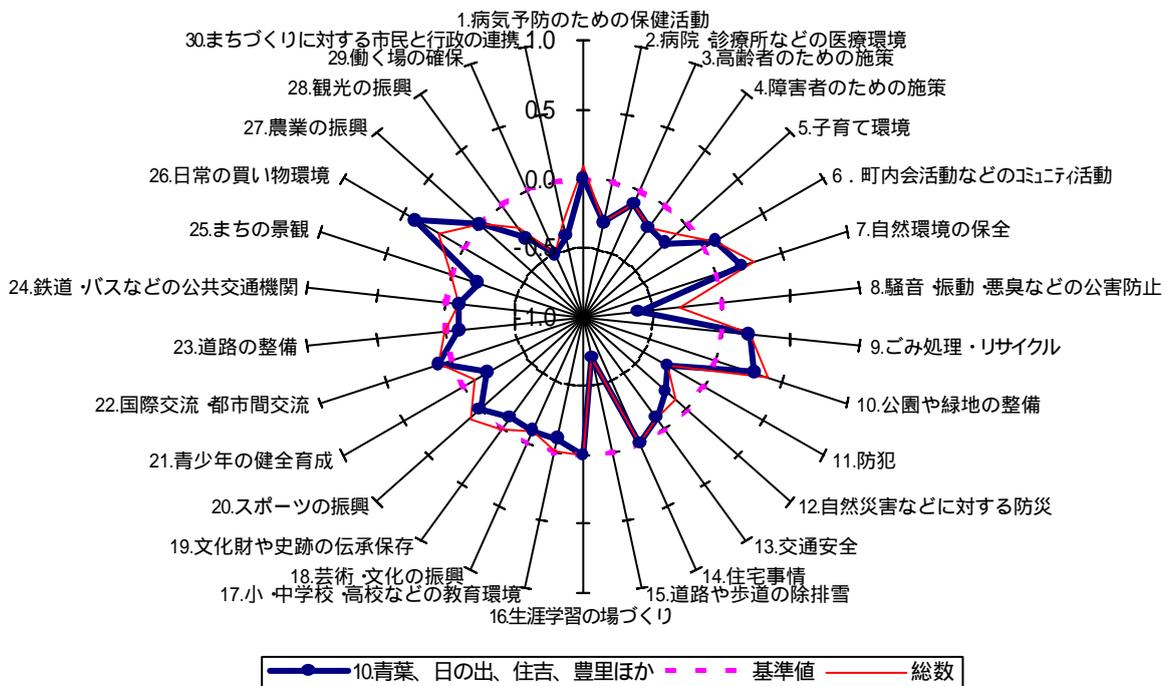
### 日常生活の満足度(SA)

9末広、花園、稲穂、清流、幸福



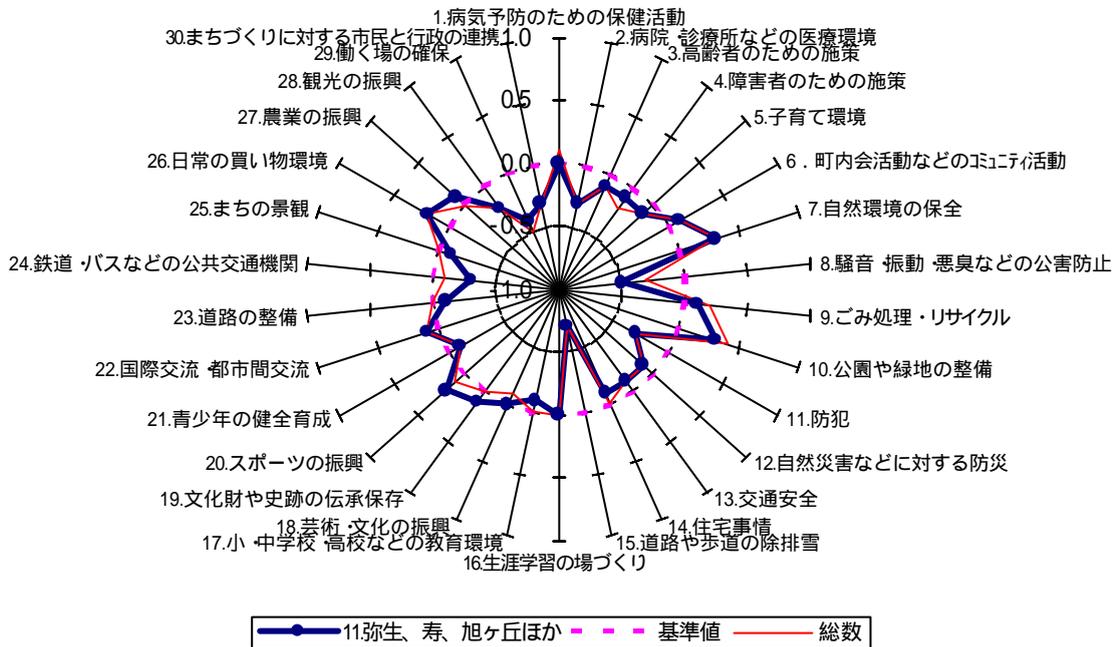
### 日常生活の満足度(SA)

10青葉、日の出、住吉、豊里ほか



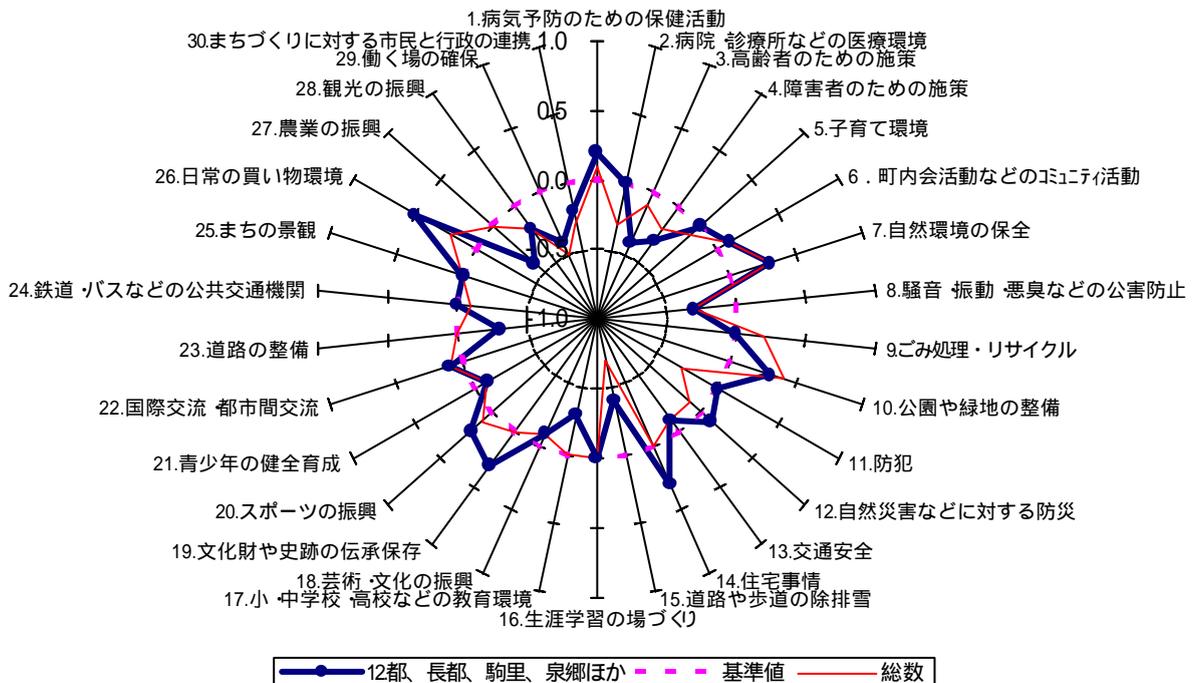
## 日常生活の満足度(SA)

11.弥生、寿、旭ヶ丘ほか



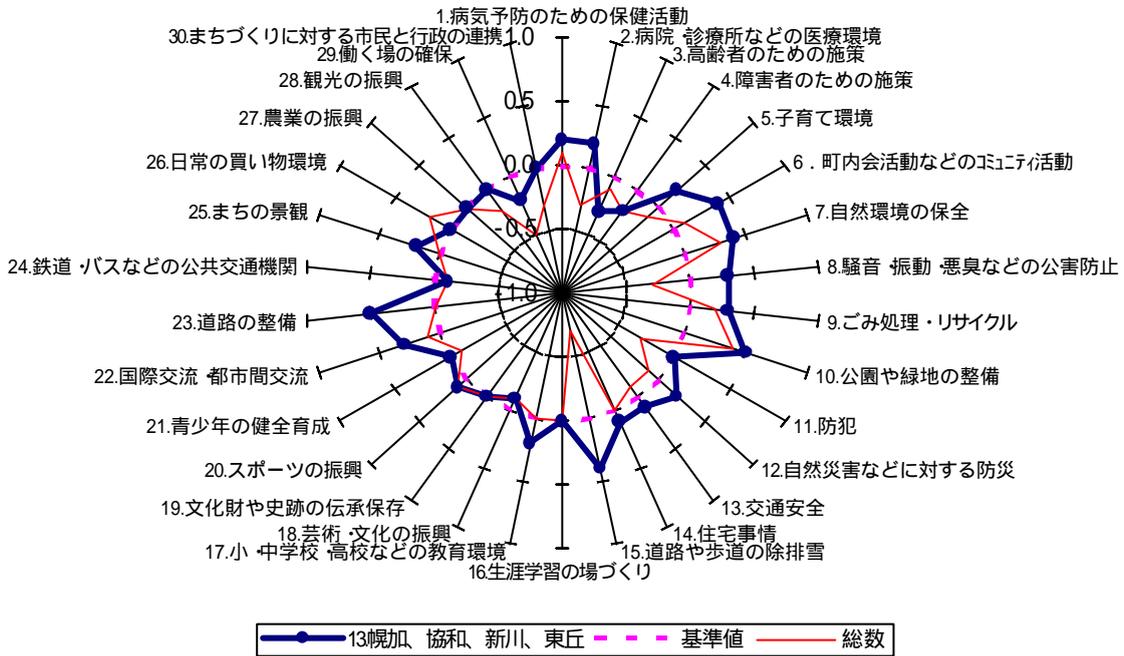
## 日常生活の満足度(SA)

12.都、長都、駒里、泉郷ほか



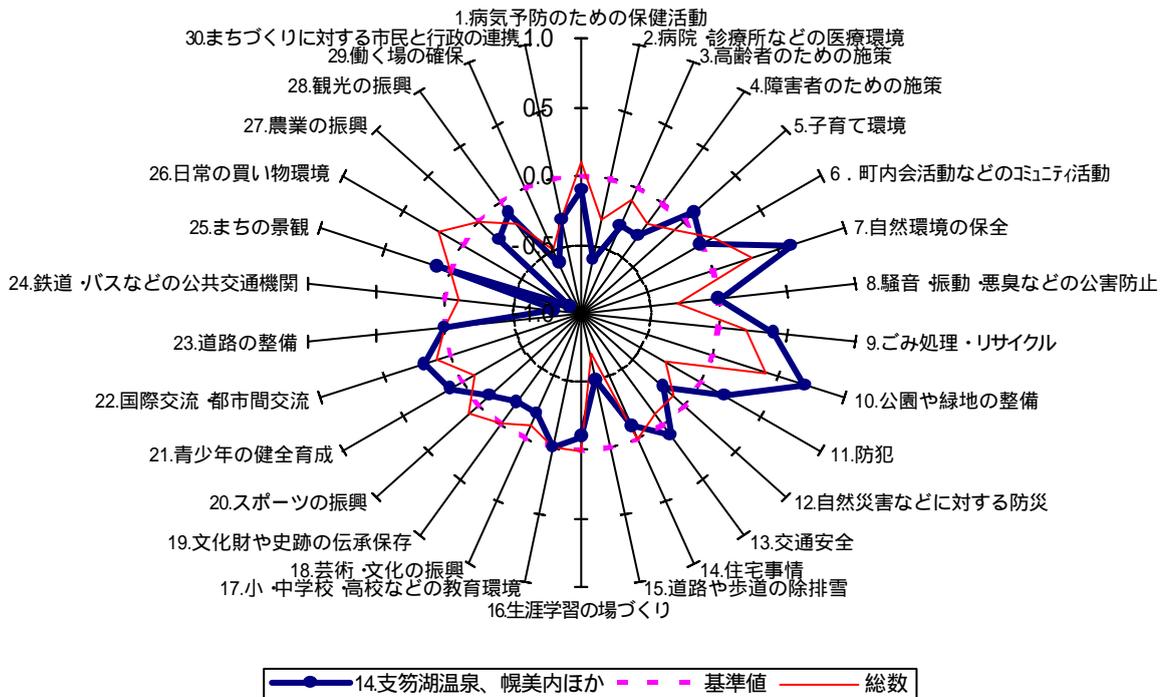
## 日常生活の満足度(SA)

13幌加、協和、新川、東丘



## 日常生活の満足度(SA)

14支笏湖温泉、幌美内ほか



### (3) 5年前との住み良くなった点 / 住みにくくなった点

#### 住み良くなった点

「住み良くなった」と感じる点としては、[地区7][地区8]などの5地区が「日常の買い物環境」を、[地区1][地区3]などの4地区が「病院・診療所などの医療環境」を、[地区4][地区14]の2地区が「公園や緑地の整備」を、[地区2][地区5]の2地区が「ごみの処理・リサイクル」を、[地区6]が「鉄道・バスなどの公共交通機関」を、[地区13]が「道路や歩道の除排雪」をそれぞれ第1位に挙げている（[地区5]は回答数同数により第1位2項目あり。）

「日常の買い物環境」については、特に[地区10][地区7][地区12][地区9]の回答比率が高く、比較的各地区で評価を得ているが、[地区14][地区5][地区2]ではあまり支持されていない。

「病院・診療所などの医療環境」については、[地区12][地区4][地区10][地区5]の回答比率が特に高いほか、全地区の中で10地区が第3位以内に挙げ、ほぼ市内全域で評価されている。

「ごみ処理・リサイクル」については、特に[地区9][地区2][地区5]の回答比率が高いが、[地区14][地区13]ではあまり支持されていない。

これらのほか、[地区4][地区14]の「公園や緑地の整備」、[地区13][地区4]の「道路や歩道の除排雪」、[地区6][地区9]の「鉄道・バスなどの公共交通機関」、[地区14]の「まちづくりに対する市民と行政の連携」などの回答比率がほかの地区に比べて高い。

#### [ 住み良くなった点 地区別ベスト3 ]

	地 区	第1位	第2位	第3位
1	東雲町、朝日町、本町ほか	病院など医療環境	ごみ処理・リサイクル	買い物
2	若草、白樺、里美、柏陽ほか	ごみ処理・リサイクル	公園・緑地	公共交通機関
3	錦町、春日町、緑町、大和ほか	病院など医療環境	ごみ処理・リサイクル / 公共交通機関	
4	清水町、幸町、千代田町、栄町	公園・緑地	病院など医療環境	ごみ処理・リサイクル / 公共交通機関
5	北栄、新富	病院など医療環境 / ごみ処理・リサイクル		公園・緑地
6	北斗、自由ヶ丘、桜木ほか	公共交通機関	買い物	ごみ処理・リサイクル
7	北陽、長都駅前、信濃ほか	買い物	公園・緑地	病院など医療環境 / 公共交通機関
8	高台、富丘、北光、あずさ	買い物	公共交通機関	病院など医療環境
9	末広、花園、稲穂、清流、幸福	買い物	公共交通機関	ごみ処理・リサイクル
10	青葉、日の出、住吉、豊里ほか	買い物	病院など医療環境	公共交通機関
11	弥生、寿、旭ヶ丘ほか	買い物	ごみ処理・リサイクル	病院など医療環境
12	都、長都、駒里、泉郷ほか	病院など医療環境	買い物	高齢者施策 / ごみ処理・リサイクル / 公共交通機関
13	幌加、協和、新川、東丘	除排雪	買い物	病院など医療環境 / 公園・緑地
14	支笏湖温泉、幌美内ほか	公園・緑地	まちづくりに対する市民と行政の連携	高齢者施策 / 住宅事情 / まちの景観

## 住みにくくなった点

「住みにくくなった」と感じる点としては、[地区1][地区5][地区13][地区14]を除く10地区が「道路や歩道の除排雪」を、[地区1][地区11][地区13][地区14]の4地区が「鉄道・バスなどの公共交通機関」を、[地区12][地区13][地区14]が「働く場の確保」を、[地区12][地区13]が「高齢者のための施策」をそれぞれ第1位に挙げている(回答数同数により第1位の項目が複数ある地区あり。)

「道路や歩道の除排雪」については、全地区の中で10地区が第1位に挙げているほか、第2位も1地区あり、各地区が共通して「住みにくくなった」要因として指摘している(回答数同数により第1位が複数ある地区あり。)

「鉄道・バスなどの公共交通機関」については、4地区が第1位に挙げており、特に[地区14][地区11][地区1]の回答比率が高い(回答数同数により第1位の項目が複数ある地区あり。)

これらのほか、[地区14][地区8][地区13]などの「働く場の確保」、[地区5][地区7]などの「病院・診療所などの医療環境」、[地区13][地区12]の「高齢者のための施策」、[地区9][地区11]の「騒音・振動・悪臭などの公害防止」、[地区5]の「ごみ処理・リサイクル」、[地区6][地区9][地区7]の「防犯」などの回答比率が他の地区に比べて高い。

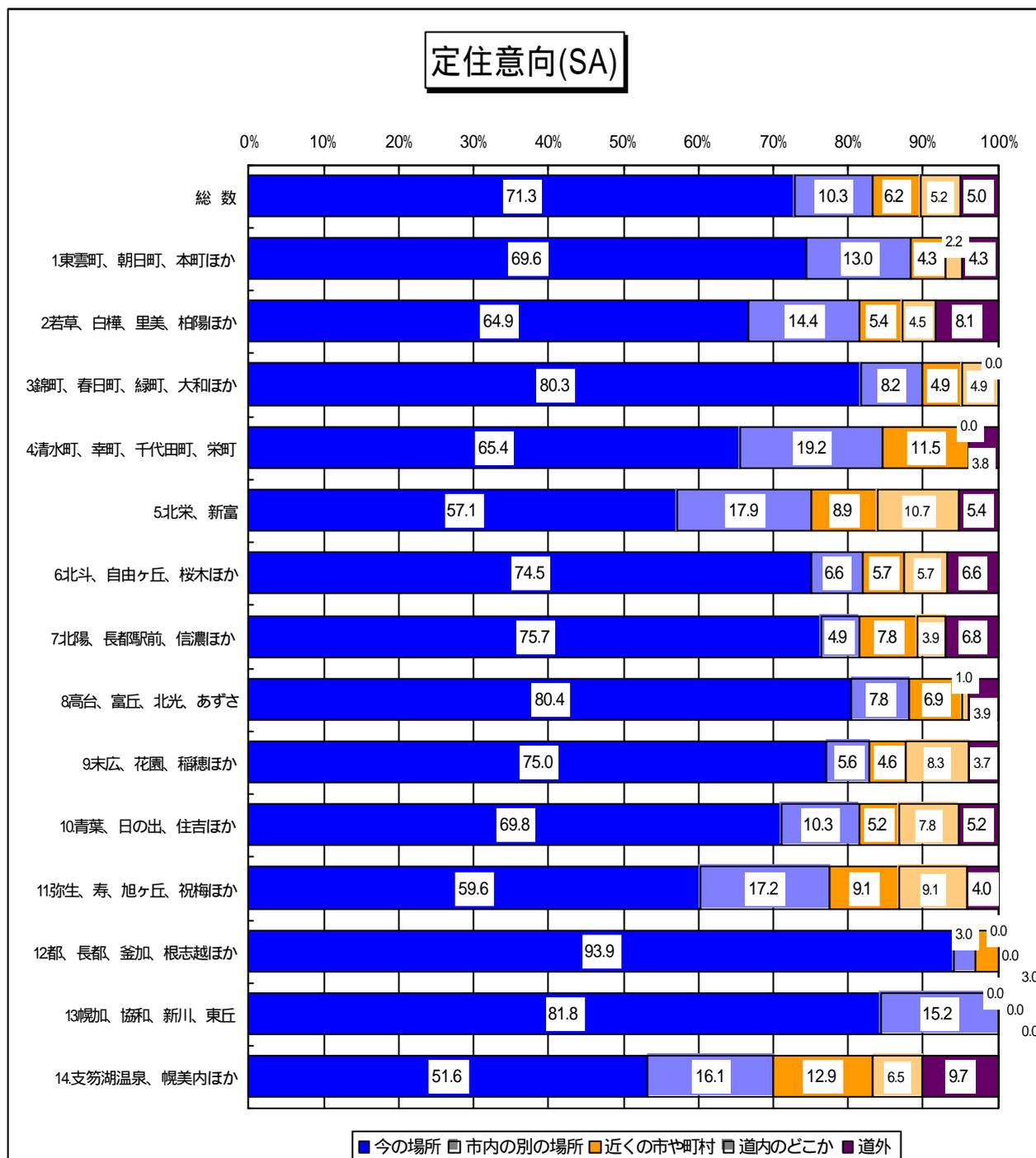
### [ 住みにくくなった点 地区別ベスト3 ]

地区	第1位	第2位	第3位
1 東雲町、朝日町、本町ほか	公共交通機関	除排雪	働く場の確保
2 若草、白樺、里美、柏陽ほか	除排雪	働く場確保	防犯
3 錦町、春日町、緑町、大和ほか	病院など医療環境 / 除排雪 / 働く場の確保		
4 清水町、幸町、千代田町、栄町	除排雪	防犯 / 公共交通機関	
5 北栄、新富	病院など医療環境 / ごみ処理・リサイクル		公園・緑地
6 北斗、自由ヶ丘、桜木ほか	除排雪	防犯	働く場の確保
7 北陽、長都駅前、信濃ほか	除排雪	病院など医療環境	防犯
8 高台、富丘、北光、あずさ	除排雪	働く場の確保	病院など医療環境
9 末広、花園、稲穂、清流、幸福	除排雪	騒音・振動等の公害防止	防犯
10 青葉、日の出、住吉、豊里ほか	除排雪	働く場の確保	防犯
11 弥生、寿、旭ヶ丘ほか	除排雪 / 公共交通機関		騒音・振動・悪臭などの公害防止
12 都、長都、駒里、泉郷ほか	高齢者施策 / 除排雪 / 働く場の確保		
13 幌加、協和、新川、東丘	働く場の確保 / 高齢者施策 / 公共交通機関 / 買い物 / 農業振興		
14 支笏湖温泉、幌美内ほか	公共交通機関 / 働く場の確保	病院など医療環境 / 買い物	

#### (4) 定住意向

地区別の定住意向をみると、「今の場所に住み続けたい」との回答は、[地区12]が93.9%で最も多く、以下、[地区13](81.8%)、[地区8](80.4%)、[地区3](80.3%)の順となっている。一方、「近くの市や町村」「道内のどこか」「道外」などの転居希望の合計が高かった地区は、[地区14]の29.1%を最高に、[地区5](25.0%)、[地区11](22.2%)の順となっている。

各地区とも「今の場所に住みたい」との肯定的な回答が半数以上を占めているが、この回答が最多の[地区12]では9割以上であるのに対して、最少の[地区14]では5割程度にとどまっており、地区による定住意向の違いがみられる。



### 3 まちづくりの重点分野に関する地区別意向

まちづくりの重点分野に関する地区別の意向をみると、全地区のうち、[地区9]などの10地区が「病院・診療所などの医療環境」を、[地区6][地区11]の2地区が「道路や歩道の除排雪」を、[地区12][地区13]の2地区が「農業の振興」を、[地区13]が「高齢者のための施策」を第1位に挙げている（[地区13]は回答数同数により第1位が2項目あり）。

全体的には医療環境の充実を重視する回答が高い比率を占めているが、農業地域においては、農業の振興や高齢者への施策の充実を重視する傾向が見られている。

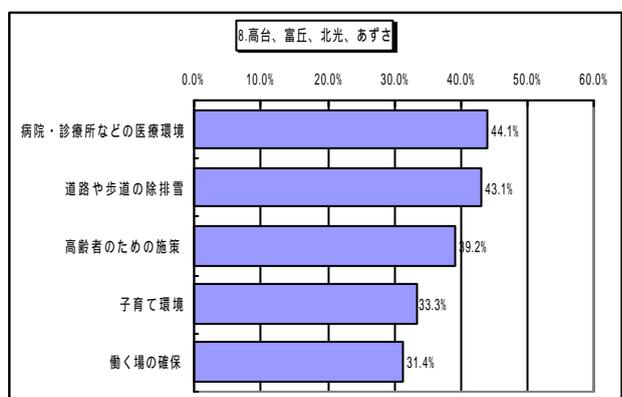
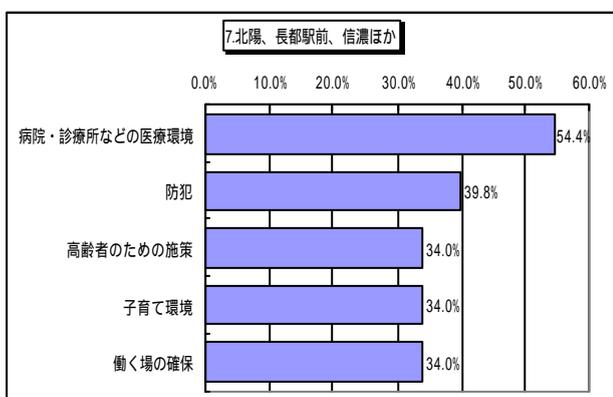
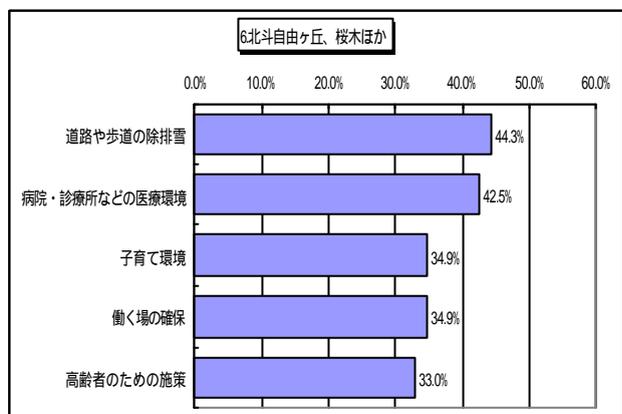
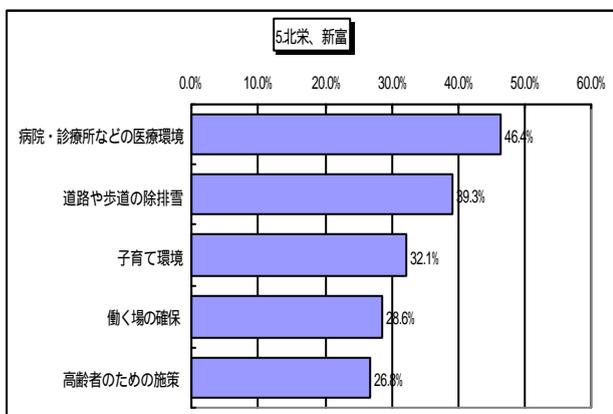
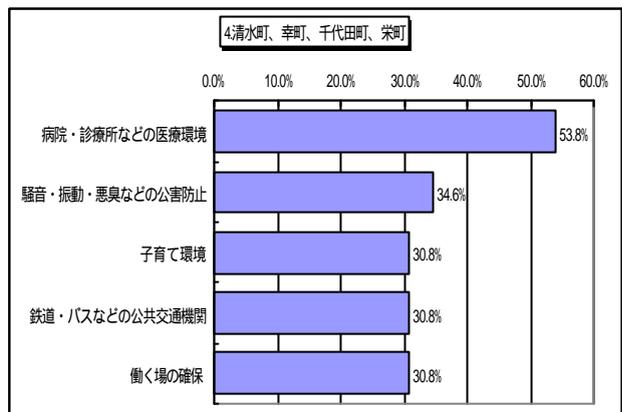
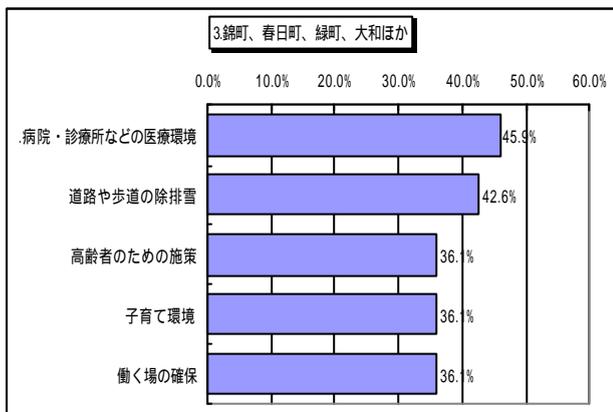
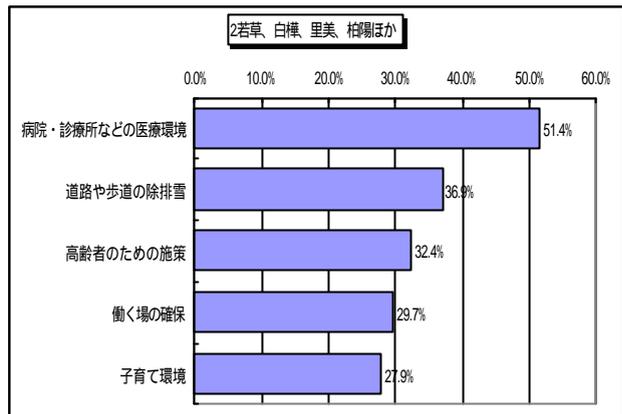
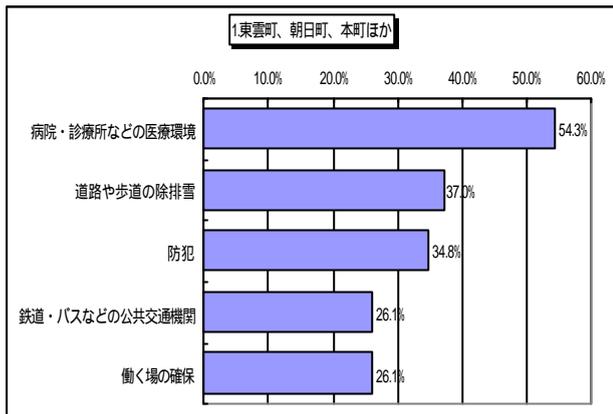
前回調査と比較すると、今回は全14地区のうち5地区が「除排雪」を第1位に挙げ、その他の地区においては意向の多様化がみられていたが、今回は、「除排雪」も全体的には上位にあるものの、「病院・診療所などの医療環境」を重視する回答が顕著となっている。

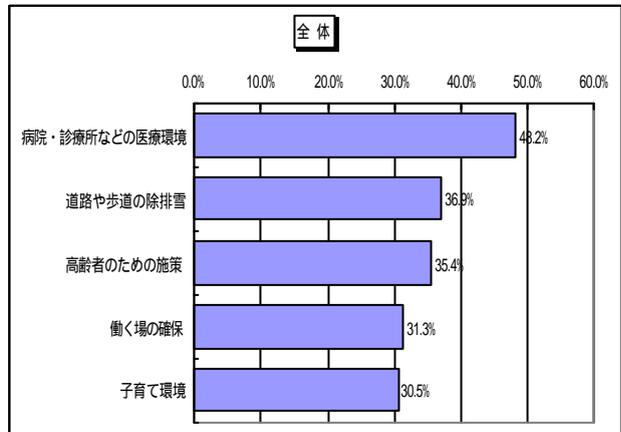
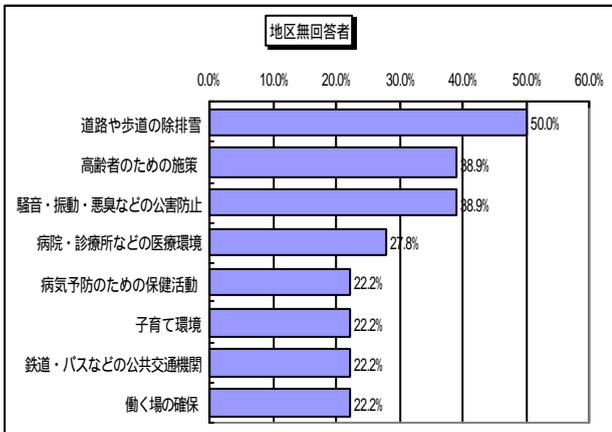
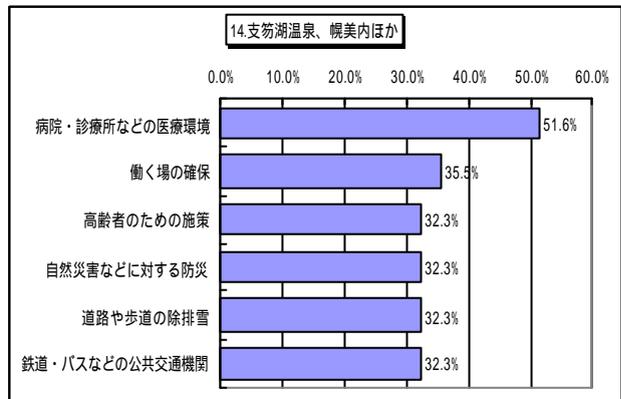
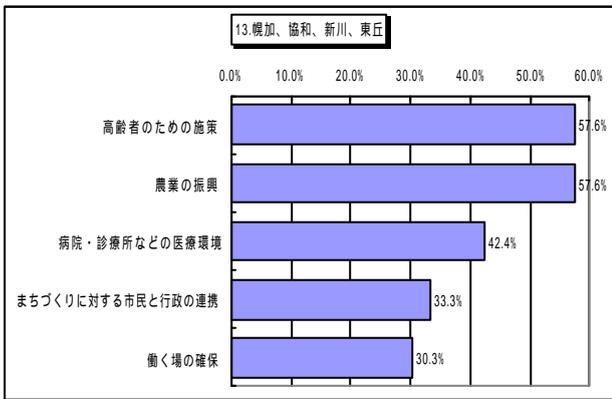
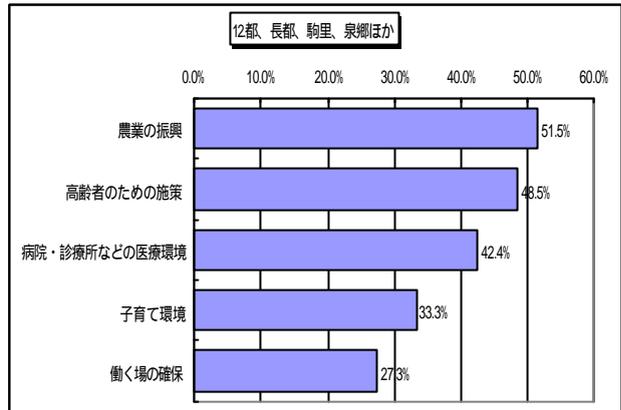
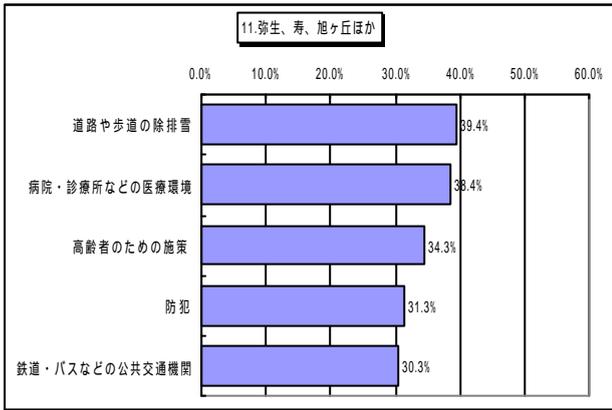
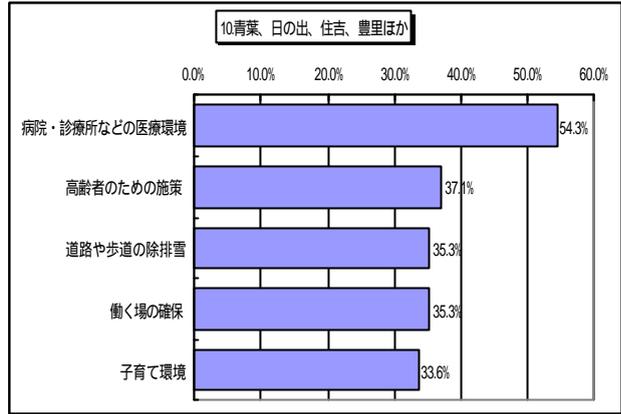
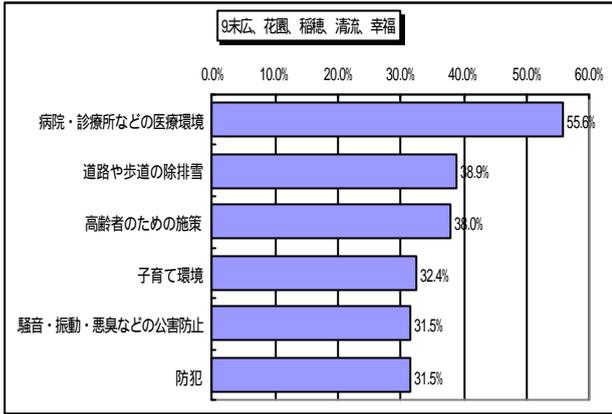
[まちづくりの重点施策分野 地区別第1位（今回／前回比較）]

地 区	今回第1位	前回(H10)第1位
1 東雲町、朝日町、本町ほか	病院・診療所などの医療環境	医療環境 / 自然環境保全
2 若草、白樺、里美、柏陽ほか	病院・診療所などの医療環境	医療環境
3 錦町、春日町、緑町、大和ほか	病院・診療所などの医療環境	高齢者のための施策
4 清水町、幸町、千代田町、栄町	病院・診療所などの医療環境	駐車場、駐輪場 / 市街地再開発
5 北栄、新富	病院・診療所などの医療環境	除排雪
6 北斗、自由ヶ丘、桜木ほか	道路や歩道の除排雪	除排雪
7 北陽、長都駅前、信濃ほか	病院・診療所などの医療環境	除排雪
8 高台、富丘、北光、あずさ	病院・診療所などの医療環境	高齢者のための施策
9 末広、花園、稲穂、清流、幸福	病院・診療所などの医療環境	除排雪
10 青葉、日の出、住吉、豊里ほか	病院・診療所などの医療環境	高齢者のための施策
11 弥生、寿、旭ヶ丘ほか	道路や歩道の除排雪	除排雪
12 都、長都、駒里、泉郷ほか	農業の振興	高齢者のための施策
13 幌加、協和、新川、東丘	高齢者のための施策 / 農業の振興	駐車場、駐輪場 / 医療環境 / 公害対策 / 障害者施策 / 働く場の確保
14 支笏湖温泉、幌美内ほか	病院・診療所などの医療環境	医療環境

前回調査の選択肢には「農業の振興」がなかったなど、設問内容が一部変更されているため、同様の比較はできない。

## まちづくりの重点施策分野 <地区別ベスト5>





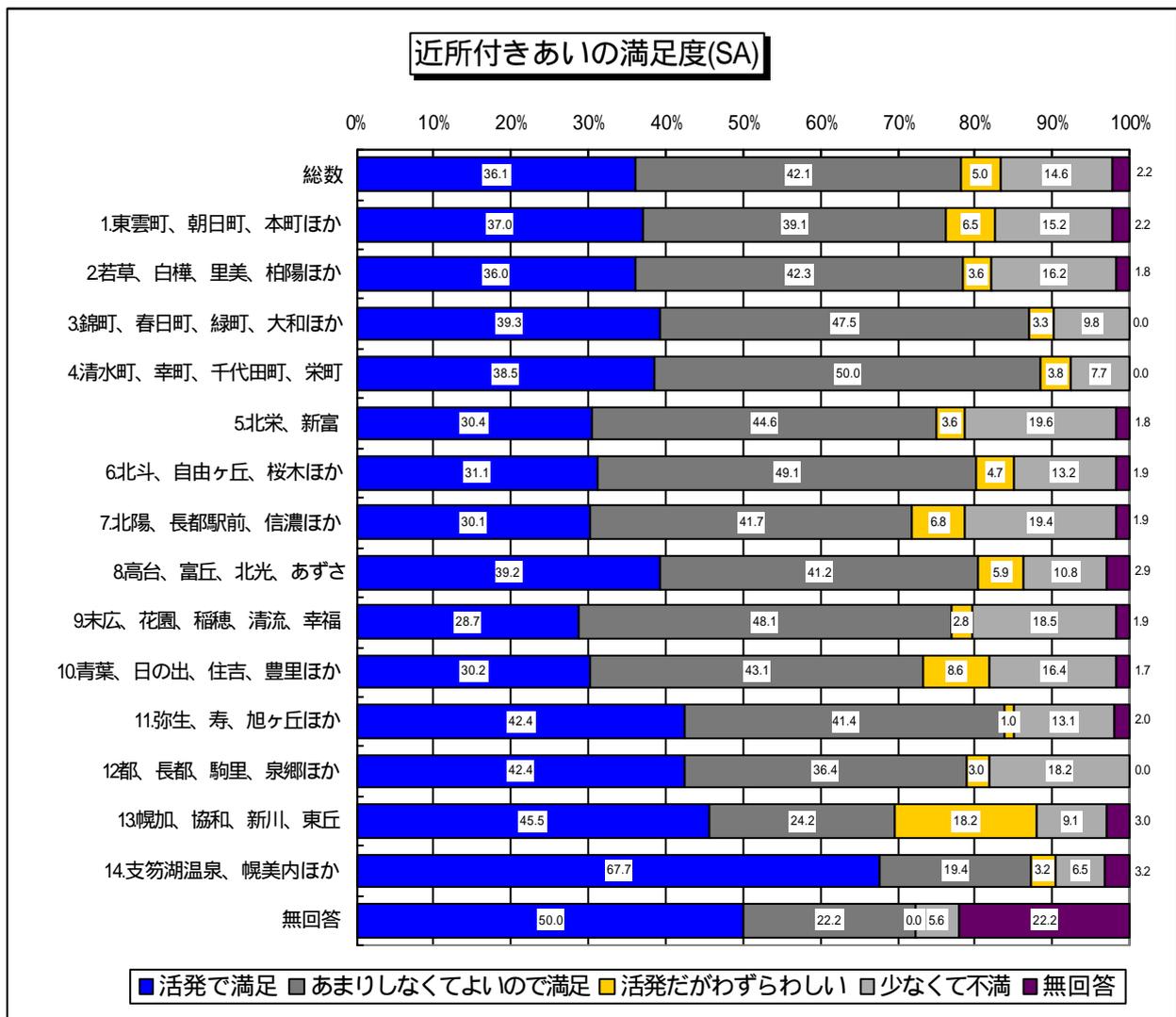
## 4 コミュニティに関する地区別実態と意向

### (1) 近所付き合いの満足度

近所付き合いの満足度については、付き合いの程度にかかわらず各地区ともに過半数が「満足」としており、「満足」の回答比率は特に[地区4](88.5%)、[地区14](87.1%) [地区3](86.8%) および[地区11](83.8%)の4地区が高い。

「満足」と感じる理由については、[地区14][地区13][地区11][地区12]の4地区が「近所付き合いが活発で満足」が「(近所付き合いを)あまりしなくてよいので満足」を上回っている。特に[地区14]では過半数を大きく上回る67.7%が「近所付き合いが活発で満足」と回答していることから、親密な地区であることがうかがえる。一方、[地区4]は「(近所付き合いを)あまりしなくてよいので満足」が過半数を占める結果となっている。

現在の近所付き合いに「不満」との回答が多いのは、[地区5]と[地区7]が19%代を占め、[地区7]は前回調査でも全地区中第2位(23.5%)であった。前回調査では中心市街地とその周辺地域にその傾向が強かったが、今回調査では住宅地域にシフトしている。全体では前回調査よりも「不満」とする回答率は低下している。



## (2) 参加したいまちづくり活動

参加したい(できる)と思うまちづくり活動としては、[地区2][地区6]など11地区が「生活のムダをなくし環境を守る“リサイクル活動や省資源活動”」を、[地区3][地区14]の2地区が「地域の自然を守り育てる“自然保護・愛護活動”」を、[地区12][地区13]の2地区が「美しいまちをつくるための“花いっぱい活動や清掃活動”」を、[地区4]が「スポーツ・保健事業への参加・協力など“健康なまちづくり活動”」を、[地区14]が「高齢者や困っている人たちへの“福祉ボランティア活動”」をそれぞれ第1位に挙げている([地区4][地区12][地区14]は回答数同数により第1位が2項目あり。)

多くの地区で環境・ごみ問題への関心が高まり、「生活のムダをなくし環境を守る”リサイクル活動や省資源活動”」への参加意欲が強いが、この回答比率は[地区12][地区2][地区6]の3地区が高い。

下の表に示した上位3項目のほか、地区別に見た特徴として、[地区6]の「郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える”歴史文化活動”」、[地区4]の「子ども会やPTA、健全育成組織などを通じた”児童・青少年の育成活動”」、[地区5]の「祭りや文化祭など”イベント活動”」、[地区12][地区13]の「ホームステイの受け入れなど”国内外との交流活動”」、[地区13]の「まちづくりの企画・研究やリーダーなど”まちづくりの推進役”」の回答比率が他の地区に比べて高い。

[ 参加したいまちづくり活動 ]

地 区	第1位	第2位	第3位
1 東雲町、朝日町、本町ほか	リサイクル・省資源	福祉ボランティア	自然保護
2 若草、白樺、里美、柏陽ほか	リサイクル・省資源	花いっぱい・清掃	福祉ボランティア
3 錦町、春日町、緑町、大和ほか	自然保護	リサイクル・省資源	福祉ボランティア
4 清水町、幸町、千代田町、栄町	リサイクル・省資源 / スポーツ・保健事業		交通安全・防災・防犯
5 北栄、新富	リサイクル・省資源	福祉ボランティア	花いっぱい・清掃 / イベント
6 北斗、自由ヶ丘、桜木ほか	リサイクル・省資源	花いっぱい・清掃	福祉ボランティア
7 北陽、長都駅前、信濃ほか	リサイクル・省資源	花いっぱい・清掃	交通安全・防災・防犯
8 高台、富丘、北光、あずさ	リサイクル・省資源	花いっぱい・清掃	福祉ボランティア
9 末広、花園、稲穂、清流、幸福	リサイクル・省資源	花いっぱい・清掃	交通安全・防災・防犯
10 青葉、日の出、住吉、豊里ほか	リサイクル・省資源	福祉ボランティア	自然保護
11 弥生、寿、旭ヶ丘ほか	リサイクル・省資源	花いっぱい・清掃	福祉ボランティア
12 都、長都、駒里、泉郷ほか	花いっぱい・清掃 / リサイクル・省資源		福祉ボランティア / 交通安全・防災・防犯
13 幌加、協和、新川、東丘	花いっぱい・清掃	自然保護	リサイクル・省資源
14 支笏湖温泉、幌美内ほか	自然保護 / 福祉ボランティア		花いっぱい・清掃





## 1 自由回答

【自由回答】最後に、今後のまちづくりへのアイデアやご提案があればご記入ください。

今後の千歳市へのまちづくりへのアイデアに対する自由回答としては、「子育て」や「医療・病院」、「除排雪」、「中心市街地」に関することなどをはじめ、「公共施設」や「行政全般」に関することなどが特に多く挙げられた。

福祉全般	・高齢者や子供など弱者が安心して暮らせるまちづくりを望む（リバースモーゲージ制度など）	1
	・財政健全化のため各種助成制度の見直しの必要性は認めるが弱い立場の人への制度は残すべき	1
	・障害者・高齢者の地域社会での受入態勢を充実させていくべき	1
	・障害者が学び働く場所をつくってほしい	1
	・生活保護の決定は必要性をよく見極めるべき	1
	・総合福祉センターにボランティア活動の拠点などの機能充実を望む	1
	・段差が多い	1
	・福祉面で継続不可能な制度は、当初から十分に検討してから実施すべき	1
	・母子家庭の人が偽装離婚により保護を受けていないかなど市民のことを見守るべき	1
	・ボランティア活動をスムーズに利用できるように担当窓口を設置すべき	1

高齢者施策	・市の財政が厳しいのは理解するが、入浴券やバス券が減らされたのは残念。お年寄りにやさしい施策を	2
	・医療費抑制などにつなげるため、意欲ある健康な高齢者向けの働く場を開拓することを望む	1
	・帰るところのないお年寄りが沢山いる。老人施設を増やすべき	1
	・高齢者・障害者が安心して暮らせるよう病院や老人ホームの充実を望む	1
	・高齢者が老人施設に入居するときに、その費用を自宅賃貸料・売却料で相殺する仕組みを検討してはどうか	1
	・高齢者社会を迎えるに当たり、冬期間でもパークゴルフができる施設を望む	1
	・高齢者の安全運転のため講習会を強制的に行うべき	1
	・高齢者の経験を活かしたボランティア活動を推進すべき	1
	・高齢者の体力向上を目指し元気なうちから運動を取り入れていくシステムづくり	1
	・高齢者のためにロードヒーティング設置の助成を望む	1
	・支笏湖温泉を利用した老人ホームの建設を望む	1
	・市の事業に高齢者を活用する奉仕券を発行し、将来自宅除雪等の作業にこれを充てるような仕組みを検討してはどうか	1
	・一人暮らしのお年寄りの力になるための参加の場を設け募集すべき	1
	・緑との共存としてグリーンベルト付近にお年寄りを利用するデイサービスなどを考えてみてはどうか	1
	・老人への入浴券のサービスは無関係の者の使用が目立つ。その金額分を米券に変えてはどうか	1

子育て	・子供たちの室内の遊び場をつくるべき	3
	・育児相談を気軽にできる方法を検討すべき	1
	・片親世帯で子供が入院した際に兄弟を一時的に預かるサービスの創設を望む	1
	・子育て環境の具体的な方策の一つとして、育児中の転入者のために自衛隊騒音マップを作成してはどうか	1
	・子供たちがお年寄りと接する中から、物を大切にすることや様々な智恵を学ぶ仕組みがあればよい	1
	・子供たちがお年寄りの家の雪かきや草むしりをしたり、老人ホームを訪れふれあう機会があることが望ましい	1
	・子供たち成長して行く中で、お年寄りを大切にすることから安全、安心、防災等の重要なことを学ぶのではないか	1
	・子供のいる人専用のバスの運営を望む	1
	・子供の多い市だが、子供に関する援助・支援の水準が高齢者に対するものより低いのでは	1
	・子供や若い世代を中心としたまちづくりを考えていくべき	1
	・子供を中心としたイベントやスポーツ大会等を増やすべき	1
	・産婦人科、救急医療、保育園等の不足、時代の流れに逆行した乳幼児医療の有料化など子供に関する行政サービスが手薄	1
	・児童館は幼児が遊ぶには不向きであるので、幼児を対象とした遊び場をつくるべき	1
	・少子化を解決するには妊娠中の通院・子育てにかかる手当の増額や女性の職場環境の改善が必要	1
	・託児所の料金が過ぎる。市でもっと安く安心して保育所をつくるべき	1
	・千歳市の保育料は滝川市や白老町などと比べても高い	1
	・共働きが増える中、保育所などの施設の拡充を望む	1
	・共働き世帯の保育料が高い	1
	・保育所など子育ての環境が十数年前から変わっていない。今のままでは子供はつくれない	1
	・夜間保育園の増設を望む	1
・幼稚園の3歳児受け入れを行うべき	1	
・母子扶養手当が少額で、児童手当とともに4か月に1回の支給であるなど、子供がいる人への援助がなっていない	1	

健康	・歩きタバコや共同施設での喫煙をやめさせるべき	1
	・自然保護も大切だがアレルギーや日当たり不良により病気になっている人がいることも知るべき	1
	・市民病院で行う検査を、血液のほかホルモン量、骨の量、ビタミン量などもできるようにしてほしい	1
	・喘息の子の医療費への助成を検討してほしい	1
	・肺炎球菌ワクチン接種の普及	1
	・働いていない人のための健康診断を無料で行ってほしい	1

医療・病院	・産婦人科の充実を	17
	・市民病院の待ち時間の解消	4
	・千歳市民病院をもっと信頼できる病院にすべき	4
	・安心して出産できる、高齢者・病人が安心して通える信頼できる医師の確保を望む	1
	・医療環境を充実させるべき	1
	・医療機関（総合病院等）の誘致・整備が望まれる	1
	・急患でない者も安易に利用している救急車を有料にして受益者の一部負担にしてはどうか	1
	・救急車を呼ばないと対応してくれない病院は救急に指定しないでほしい	1
	・救急当番医の改善	1
	・支笏湖診療所は受診人数も少ないので廃止すべき	1
	・市内の病院に小児科の医師を増やす方を検討すべき	1
	・市民病院が主となる24時間救急の充実	1
	・市民病院看護師の奉仕精神の向上	1
	・市民病院の経営が心配である。民間への売却を模索してはどうか	1
	・市民病院の平日21時までの救急外来はありがたい	1
	・市民病院の待ち時間が長く子供連れは困っている。院内で無料で子供を見てもらえる環境はできないか	1
	・市民病院を休日も利用できるようにしてもらいたい	1
	・精神科の充実	1
	・千歳市内の病院はちゃんと手術ができるところが少ない	1
	・乳幼児医療体制の充実を望む	1
・はり、灸を国保適用にすることが患者・国保負担の両方に良いと考える	1	
・母子家庭で医療費の負担が3割になってから病院に行けなくなった	1	

景観	・青葉公園、サイクリングロード等で倒れている木々の除去を市民ボランティアの手を借りて出来ないか	1
	・恵庭市の草刈りを見て、千歳市の道路ももう少しきれいにするべきと感じる	1
	・国道沿いに設置されているメーカーの幟が目障りである	1
	・市役所から第一病院にかけての千歳川沿いに桜やツツジを植えて名所にできないか	1
	・千歳川沿いに環境に配慮したサイクリングロードと高齢者に歩きやすい歩道を設置してほしい	1
	・千歳川沿いに桜街道をつくり人が集まるようにすべき	1
	・道道支笏湖公園線の道路脇に桜を植えてはどうか	1
	・日の出5丁目の桜並木を保護すべき	1
	・ママチ川はとともきれいになったので、一般市民にPRすべき	1

環境保全	・公園内の犬の糞公害を何とかしてほしい	2
	・新しい団地が造成されるたびに森林が消滅している。豊かな自然を残しながら計画することを望む	1
	・おはよう橋から高速道路高架橋までの間の千歳川沿いにトンボの生息地がある。保護・繁殖をすることを望む	1
	・開発は自然を生かして出来るだけ構造物を造らないようにすべき	1
	・公園、公衆トイレ、道路、ごみ箱等の設置・整備等による「きれいな街」をめざすことにより活性化が期待できる	1
	・これ以上箱物にお金を使わず、今ある自然をそのまま保存してほしい	1
	・支笏湖周辺の自然環境の保全と活用、生態系の調査を基礎としたエコツーリズムを推進すべき	1
	・自然の中で生きていること知る場所やイベント、自然に触れることができる環境を整備することを望む	1
	・森林を切り倒し緑を減らすことはやめてほしい	1
	・千歳川に遡上するサケの自然産卵のためインディアン水車の設置時期を短くできないものか	1
	・千歳市南部に鶴が飛来した。鶴の飛来地として自然保護を進めるべき	1
	・千歳は森が多く、川が美しく清流であるが、一歩中に入るとごみが多い。条例を作り自然環境保全に努めてほしい	1
	・マンション等が多くなり、近くの住民は大変迷惑をしている	1
	・緑、自然を壊さないまちづくりを望む	1

ごみ	・ゴミのポイ捨てをなくすため、「市民一斉ごみ拾いの日」を行うなど市民に働きかけられないか	5
	・市内のいたるところでゴミが落ちていて汚い。ポイ捨てを禁止すべき	2
	・ゴミの減量化のためプラスチック類を回収できるようにすべき	1
	・アパートの住人の町内会活動参加への啓蒙、及びゴミ処理の徹底を図るべき	1
	・家庭ごみは家の前に置くようになると急速に美化が進む	1
	・カラス対策として燃えないゴミ用の袋を青色に、燃えるゴミ用の袋を黄色に変更すべき	1
	・ゴミ処理問題は、業者に協力を要請し燃える包装袋にし、燃やせないゴミは業者に処理費用を負担させてはどうか	1
	・ゴミの有料化はやめてほしい	1
	・ごみ拾いをもっとした方がよい	1
	・千歳市民のごみ及び環境に対する意識の問題をよく考えるべき	1
	・町内会活動等を通し、ゴミの問題やリサイクルの問題を検討すべき。何でも有料化はナンセンス	1
	・転勤族や一人暮らしの学生などもゴミのリサイクルで市と関わって生きていることを感じるようまちづくりを進めてはどうか	1
	・野林・車道へのごみの不法投棄に厳格な処置を行い、自然環境豊かな都市づくりを望む	1

公園	・市役所裏の千歳川を全面改良し市民や市外客が楽しく遊べる場をつくることを望む	3
	・青葉公園に行かなくても手近に散策できる公園なり街路樹があると良い	1
	・インディアン水車方面につながる千歳川沿いにサイクリングロード、散歩道、公園等をつくってみてはどうか	1
	・恵庭市の漁川にあるような公園を千歳市にもつくってはどうか	1
	・桂木地区の歩道を補修し、また、桂木1丁目に公園を造成すべき	1
	・共同墓地は、個人単位では土地の無駄。少子化により無管理となるので公園化してはどうか	1
	・グリーンベルトはコンクリートではなく、以前のように土と芝を多くして遊具を置き子供たちが遊べるようにすべき	1
	・公園・パークゴルフ場ばかりではなく、青少年が自由に走り回ってスポーツ等を楽しめる施設の充実を	1
	・公園内が汚く、管理ができていない。	1
	・公園の芝生に犬の糞や割れたビンの破片が散乱しており対策が必要	1
	・公園の駐車スペースが少ない	1
	・公園遊具の整備を地区によって差を設けないこと	1
	・郊外にパークゴルフ場を造成することを望む	1
	・子供が遊んでいない公園を貸農園にして地域住民に貸与してはどうか	1
	・支笏湖地区にアスレチックや水遊び場など子供の楽しめる施設をつくることを望む	1
	・支笏湖の自然を生かし市民が気軽に遊べる花見会場や公園などを作ってほしい	1
	・市内中心部に建物や店ばかりでなく利用したい広場（公園）があると良い	1
	・少し大きめの緑や花がいっぱいのみんながふれあえるような公園をつくることを望む	1
・小さい子供が遊べる公園を増やすことを望む	1	
・道路脇に突然現れる休憩所のような公園は不要。目玉となるような公園を数カ所つくる方がよいのでは	1	
・メムシ公園のような焼き肉やレクリエーションができる施設を増やしてほしい	1	
住宅	・市営住宅を増やすべき	1
	・学業のため親元を離れ千歳市外で生活する学生に対し、その市町村に学生用公営住宅を建てるなどの支援を望む	1
	・市営住宅の入居要件は市民としての年数も十分に考慮すべき	1
	・支笏湖の市営住宅の設備の充実（風呂のシャワー設置）	1
	・千歳市内のアパートの家賃が高すぎる。市営住宅を広域で建てて欲しい	1

学校・教育	・学校の先生の人間性や人にもものを教える力が足りない。教育委員会の機能にも疑問	1
	・学校の勉強より塾で学ぶ方が成績が上がるという。学校ではどんな教え方をしているのか	1
	・学校や町内会館のスペースを利用し、市・教師・地域が連携して、低料金で子供達が共に学び向上して行くシステムをつくれなにか	1
	・小・中学校、高校の生徒全員がスポーツ・文化・福祉等の団体に参加し活動を推進すべき	1
	・少子化により増加する市内小中学校の空き教室の有効活用を望む	1
	・スポーツセンターや武道館が混んでいるので休日に学校体育館を開放してほしい	1
	・大学の誘致	1
	・中高一貫教育の学校誘致を行うべき	1
	・北斗中学校正門のモニュメント周辺にある教職員の駐車場を移設すべき	1
	・未来の技術を担う千歳科学技術大学に対して、人材育成の点から支援すべき	1
	・障害者と高齢者の交流を通じ効果を上げている向陽台小学校の「あおぞら学級」のようなクラスを多くしてほしい	1
人材育成	・小学校からの英語づけ教育やアメリカンスクール、独自の留学制度を作り将来のリーダーを育成してはどうか	1
	・まちづくりに協力している市民はごくわずか。意識の低い人々を目覚めさせるべき	1
	・まちづくりの前に千歳には人を育てる力が全くない	1
	・未来ある子供たちに伝え残していく「職人」の人材育成が必要	1
各種文化	・青葉公園での野外コンサート（PMF）の開催	1
	・郷土館、歴史館、博物館、絵画館のような施設がなく文化の香りに乏しい。構想はもてないものか	1
	・ストリートパフォーマンスなど音楽や芸術があふれ、みんなが元気になれるまちづくりを望む	1
	・千歳市の文化的充実度を増すため、文化センターの活発な活用方法を検討すべき	1
	・千歳は芸術・文化関係が遅れている。芸術の森、美術館のような施設をつくるべき	1
	・文化センター等を利用して、イベントや芸能人を呼び楽しませてほしい	1
	・文化的遺産を大切に施設をつくったり、歴史を知らしめることによって地域を大切に作る心が芽生え発展していく	1
国際化	・国際交流を活発に行い、参加したい市民に英会話講座などを無料で実施することを望む	1
	・国際都市にふさわしい都市づくりに市民と一体となって取り組むことを望む	1
	・国際都市を目指しているのであれば英語案内表示を設置すべき	1

中心市街地	・ニューサンロードの屋根を早急に撤去すべき	4
	・ニューサンロードの再生を望む	3
	・千歳の中心がどこなのか分からなくなっている	2
	・中心街活性化に力を入れることは理解できるが街全体が従来と変わっておりいつまでも固執する必要はない	2
	・駅前周辺を活性化し、若い世代が集まる場所にすべき	1
	・駅前ショッピングセンターと千歳タウンプラザを地下通路で結べば両方に客が入るのではないかと	1
	・駅前はその都市の顔であるので、古い建物への対応を望む	1
	・公園（グリーンベルト）を中心に札幌大通公園のような商店街を形成してはどうか	1
	・娯楽施設と商店街の発展を望む	1
	・娯楽施設の誘致等による中心市街地の活性化	1
	・清水町周辺に無料駐車場がない	1
	・商店街に活気がないので何らかの対策を講じるべき	1
	・商店街をバラバラにしないで、まとめて街の活性化を図るべき	1
	・千歳駅から清水町までの地下街をつくり、ニューサンロードの店を地下に移動させ、地上にアミューズメント系の店をつくる	1
	・千歳駅前から栄えるように努力すべき	1
	・千歳駅前はきれいなので、商店街も再開発することを望む	1
	・千歳タウンプラザ周辺にファーストフード店などひと休みする場所が必要	1
	・千歳の中心街の活性化で人が集まりやすいまちづくりを望む	1
	・千歳の中心として、ニューサンロード周辺の活性化が必要である。アミューズメントの集合施設のようなものをつくれなにか	1
	・中心街がさびしくならないよう、すべてのバスが以前のように千歳タウンプラザ前を通るようにすべき	1
	・中心街に雇用促進住宅や市営住宅など多くの人が集まることを考えるべき	1
	・中心市街地の2世、3世の人々は自ら復活する努力がなく、その気概も見えず残念	1
	・中心市街地の活性化に力を入れ、日常生活に魅力ある環境を創造すべき	1
	・中心商店街活性化のためボランティアによる企画活動（世界の少数民族の祭り等）により道内外から集客してはどうか	1
	・中心商店街を苫小牧のイオンの建て方で一つにまとめるべき	1
	・ニューサンロードの活性化対策として車両の駐停車禁止は一考を要する	1
・ニューサンロードの駐車場を地上につくり、地下駐車場をスーパーにしてみてもどうか	1	

雇用	・旧空港跡地にカジノを誘致し雇用を促進してはどうか	1
	・自衛隊以外の雇用の確保	1
	・自衛隊がいるために一般の者の仕事がない。自衛隊のないまちづくりを望む	1
	・市で運営する職業能力開発機関の設置を望む	1
	・青少年、高齢者がともに充実できる職場の確保が必要	1
	・中高年には住みやすい街だが、もっと若い世代が働きやすい街にすべき	1
	・定年退官した自衛官の再就職が千歳のできるための努力が必要	1
	・もっと地元の間人が働きやすい環境をつくることを望む	1
	・若い人は勿論、高齢者にも働く場所・環境を整備すべき	1

買い物・飲食 ・娯楽	・買い物環境の充実（札幌への流出防止）	3
	・大型店が郊外に集中し車を持たない市民には買い物が不便	2
	・居酒屋ばかりで、ちゃんとした食事ができる場所がほとんどない	1
	・インターネットが出来るまんが喫茶や駅付近にボーリング場、映画館など遊べる場所がほしい	1
	・映画館がないことには驚いた	1
	・市街地に映画館があるとよい	1
	・駅前に大きな飲食店や映画館など活気のある施設があるとよい	1
	・恵庭市・北広島市に比べ千歳市内のガソリンが高い	1
	・娯楽施設が少ない	1
	・自然を生かしながら、軽井沢を手本としてサイクリングをしながら買い物などができるまちづくりを望む	1
	・市民が楽しめる娯楽施設の確保	1
	・食堂街の形成など特徴のある、まちづくりの推進	1
	・食料品の買い物は困らないが、洋服は札幌で買い物をすることが多い。人気のある店を置いてほしい	1
	・ショッピングセンターは増えたが営業の終了時間が他都市に比べ早いので不便	1
	・千歳駅のホームに立ち食いそば屋などを設けてはどうか	1
	・千歳タウンプラザやペウレ千歳に映画館をつくるなど若者が集まる場所にすべき	1
	・パチンコ店が多すぎる	1
	・パチンコ店が多すぎる。家族・子供連れて遊べる場を中心街をつくるべき	1
	・ペウレのテナント選択は集客力のあるものを	1
	・ペウレはうまくいっていない。市が市民にアンケートをとり、店（企業）と話し合うことで改善され活気が出る	1
・若者が増えるには千歳駅の周辺に遊べる場所が必要	1	

産業	・恵庭市にある恵庭の湯、ラフォーレ、とんでんのような施設が千歳市にあると良い	1
	・企業誘致だけでなく産・官・学が一体となった共同研究、商品開発を行い工業化を進めることが千歳の底力になる	1
	・経済の活性化のため、不動産売買の活性化を促すような政策を検討すべき	1
	・工場ばかりではなく、研究所等を増やせば北海道の科学産業が活発になり景気も回復する。	1
	・向陽台の工業団地、住宅団地とも空白が目立つ。新たな活用方法の検討が必要	1
	・産・学・官の連携で、新規産業・光技術を利用した分野の創造すべき	1
	・産物、加工品など何か一つ日本の千歳ブランドを作ってPRし、千歳を活気のある街にすべき	1
	・商業の活性化に対する姿勢は評価できるが、NEWS（千歳空港跡地）の失敗を繰り返さないようアセスメントをしっかりと行うべき	1
	・千歳独自の観光施設、地場商品の開発などに力を注ぐべき	1
	・道内他地域より企業誘致しやすい環境にある（空港・港湾に近い）のに企業誘致が進んでいない	1
	・不況になったときにすぐ撤退しないビジョンをもった企業を長期的な展望をもって誘致すべき	1
	・若者が定住するように地域を代表するような企業が育つための努力が必要	1

農業	・都市部の市民が地元の農村と交流を図りくつろげる場があってもよいのではない か	1
	・無農薬、有機栽培等の農業について市全体で取り組むべき	1

観光	・夏祭りなどのイベントの充実化	4
	・街の案内表示を増やすべき	2
	・アウトレットモールや駅前ショッピングセンターに人が集まるようにもっとPRすべき	1
	・大手企業のお金に頼るよりも、市が観光地の施設を充実させ有料としてお金を得ることを考えるべき	1
	・オートキャンプ場を作ると人が集まる	1
	・川下り、釣り、レジャーなど千歳川を利用した観光の開発を行うべき	1
	・観光客が長く滞在し楽しく観光できる宿泊・観光施設が必要（フルーツマトなどのスイーツのテーマパークなど）	1
	・観光客に千歳で一泊したいと思わせる方策を検討すべき	1
	・観光地に動物園や遊園地などアピールできるテーマパークをつくってはどうか	1
	・空港、市街地、観光工場、支笏湖を結ぶ交通の整備や観光レクリエーションルートの開発をすべき	1
	・空港と広大な土地があるのでディズニーランド北海道をつくってはどうか	1
	・空港を離陸する客を街へ立ち寄りさせる施策を推進すべき	1
	・国の機関（陸上自衛隊など）の祭りなどをまとめて、ある一定の期間に、四季を通じた祭りとして実施してはどうか	1
	・見学できる工場が多いので、それをアピールして街を知る手段として見学ツアーを開催してみてもどうか	1
	・工場見学のできる場所を充実させるべき	1
	・ここ数年観光客の足が他の市町村に向いているので取り戻す方法を検討すべき	1
	・サケの遡上で捕獲目標を達成したら、一般市民や観光客に開放して捕獲させるべき	1
	・支笏湖、インディアン水車（川）、空港を利用した千歳ならではの特色を生かした観光施設の充実	1
	・支笏湖温泉地の店員の接客態度が不十分で活気がない。今流行の「足湯」がない	1
	・支笏湖地区で道路・駐車場が良くなっても高い料金では36億円の緑のダイヤモンド計画は台無し	1
	・支笏湖の観光マップを見たことがない	1
	・支笏湖の駐車場料金やチップの値段が高過ぎる	1
	・市内にある数多くの観光資源を行政と市民が連動することで点から線へ、滞在型観光エリアの構築を考えるべき	1
	・市の環境を良くするとともに、知名度を深め市外客が足止めする場所をつくるべき	1
	・新千歳空港と支笏湖を活用した観光に力を入れるべき	1
	・すばらしいキャンプ場があるのに、車両を近くまで持って行けないのは利用度が低いからか	1
	・樽前山、恵庭岳、紋別岳の3山（苔の洞門を含む）登山ツアーの企画	1

観光 (つぎ)	・千歳アウトレットモール・レラに続くテーマパークのような施設を充実させると経済効果が期待できる	1
	・千歳アウトレットモール・レラの近郊に遊園地を造成することを望む	1
	・千歳市の中心地に観光を目的とした話題の場所をつくるべき	1
	・千歳タウンプラザ、レラ、道の駅のPRをポスター掲示などで行うべき	1
	・千歳には集客力のある場所があるので、イベントや名産品PRにもっと力を入れるべき	1
	・千歳の豊かな環境、豊富な資源をそのままにしておく手はない	1
	・ニューサンロードを昭和30年代の古き良き時代の再現など本格的なものをつくり、観光名所にしてはどうか	1
	・飛行機の発着を見られる温泉をつくり、札幌などから子供や観光客を迎える	1
	・道の駅は支笏湖道路の蘭越地区に設置すべきではなかったか	1
	・道の駅をもっと整備すべき	1
	・名所となりうる自然の恵みがないので、祭り、行事又は健全娯楽施設等の千歳ならではの施設を望む	1
	・利用者の多い美笛キャンプ場の料金を元に戻すべき	1

交通	・バスの便が悪くなった	3
	・JRの運行時間に対応する路線バスの運行を検討すべき	1
	・駅前バス待合室の防寒対策を講ずるべき	1
	・車の危険運転が目立つ。交通マナーをもっと強く教育すべき	1
	・向陽台にビーバスを運行させるべき	1
	・高齢者が楽しく暮らせるよう、バス路線、特に病院に通うためのバスを増やしてほしい	1
	・高齢者に配慮し、市役所前のバス停を総合福祉センター前に移設すべき	1
	・駒里地域のような郊外にも循環バスを運行させ、JR駅ができることを望む	1
	・支笏湖地区ではバス運賃が高く、また便数も少なく不便である	1
	・市内路線バスの運行路線・時間帯の見直し	1
	・信濃の手押し信号のある道路で事故が多いので逆方向にも信号をつけてほしい	1
	・住宅地及び街中において路上駐車が多く交通安全上好ましくない	1
	・除雪の妨げになる路上駐車規制を強化するとともに、空き地を利用した有料駐車場を随所につくるべき	1
	・地下鉄を設けることを望む	1
	・千歳駅から向陽台に向かうバスの時刻が不便で運賃が高い。弱者に暖かいまちにするため公は民に働きかけるべき	1
	・千歳は違法駐車や壊れた車の放置が多い。改善を望む	1
	・千歳はお年寄りや車を持たない人には交通の便が悪い	1
	・バスの本数や行ける場所を多様化すべき	1
	・バス路線が中心部に集中し乗り換えが増え、ビーバスも時間がかかるなど不便になった。市民の声を聞くべき	1
	・ビーバスの路線拡張による交通利便性の充実	1
	・ビーバス路線の再考と民間バス路線の充実	1
	・ビーバスを千歳タウンプラザや清流方面に運行させるなど、本数を増やすべき	1
	・桂木などに矢印信号の設置が必要などところがある	1

防犯	・住宅地の街灯が少ない	3
	・パトロールなど防犯の強化を望む	3
	・長都駅周辺の街灯を増やすべき	1
	・子供たちの安全のため、住民、警察、市職員（外勤時、公用車にパトライト設置）、自衛隊が協力して巡回すべき	1
	・子供たちの防犯（不審者等）に関して市民に呼びかけ、安心して遊ばせる環境をつくることを望む	1
	・子供の安全のため、保育園・幼稚園は施設すべき	1
	・市民にとって住みやすく安全なまちにすることを望む	1
	・新住宅地が密集し過ぎて緑地も少なく、防災面からも問題である	1
	・新富交番の所管する範囲が広すぎるので、警察官の増員や交番の増設を検討すべき	1
	・通学路に変質者・不審者が多発している。防犯体制を整え安心して住めるまちにしてほしい	1
	・犯罪が多発しているので市民同士で見回り活動を実施してはどうか	1
	・防犯ベルを無料で配布できないか	1

防災	・屋外の防災無線放送は聞こえづらいので、各家庭に防災放送受信施設を低価格で斡旋してはどうか	1
	・学校施設等のすべてを防災拠点として、発電機、水、トイレなど準備し災害に備えるべき	1
	・桂木地区の避難場所が2つに分断されるため有事の際には活動に支障がある	1
	・避難所にある程度の防災用の毛布、簡易トイレ、食品、水などを揃えるべき	1
	・避難場所が容易にわかるようマップの制作や道標（看板など）を設置すべき	1

防音	・青葉地区の防音工事の拡大を望む	1
	・航空自衛隊の戦闘機の音がとてもうるさい	1
	・雑音被害を解消するため住宅地に隣接する工場等の移転又は防音林の設置を検討すべき	1
	・自衛隊機がうるさい。住宅の上空では気をつけてほしい。	1
	・自衛隊の飛行機がうるさいので飛ぶ時間帯をある程度決めてほしい	1
	・住宅建設の際、防音の援助がないのはおかしい	1
	・騒音を少なくする取り組みをもっと積極的に行うべき	1
	・花園地区の防音対策を講じるべき	1
	・防音工事の地域を拡大すべき	1
	・防音工事をしていない支笏湖地区での自衛隊訓練はやめるべき	1

除排雪	・住宅敷地内から公道に排雪する行為に対し徹底した指導を	3
	・除排雪の充実	2
	・除雪作業の開始時間が遅いので改善すべき	2
	・交通安全上問題がある交差点付近の除排雪をしっかりと行うべき	1
	・交通事故防止のため除排雪をきれいにすべき	1
	・向陽台方面の除雪が下手で適当過ぎる。他のまちを見習ってほしい	1
	・高齢化社会に向けて、除雪について考えるべき	1
	・高齢者・子供・障害者が安心して歩ける除雪体制	1
	・市の土地を売却してそのお金で共同の融雪槽をつくってはどうか	1
	・除雪が適当過ぎる。市内を見回ってまじめにやるべき	1
	・除雪が悪い。毎年の実績で予算組みができるので、予算がないという理由は成り立たない	1
	・除雪作業の指定業者に支払うお金を歩合制にし、1件でも苦情がきたら減額するペナルティーを課すべき	1
	・除雪車をただ走らせている除雪業者がいる。税金の無駄遣いである	1
	・除雪予算を増やし、住宅地周辺道路や歩道の除雪を強化すべき	1
	・他の市町村の人から千歳の除雪はメチャクチャと言われる。業者への指導の徹底を	1
	・年輩者の歩行の安全を考えると除雪はお金を徴収してでもきっちりやるべき	1
・屋根の雪が歩道に落ちている状況が多く見られる。建築許可の段階で指導・規制すべき	1	

道路	・梅ヶ丘方面は歩道の幅が狭く段差があって歩きにくい	1
	・駅前からニューサンロードまでの道路の整備を望む	1
	・大型車両が通過するたびに振動する道路上のマンホールの蓋の改善を望む	1
	・危険防止のため交通量が増加している祝梅大通の完全4車線化を望む	1
	・向陽台地区から支笏湖道を結ぶ道路を開通すべき	1
	・住宅地での路上駐車対策を望む	1
	・住宅地の道路、歩道の整備がなっていない	1
	・通勤時の混雑緩和のため道路の幅を拡張し、車線数も増やすべき	1
	・道道支笏湖公園線は土・日・祝日の交通量が多いので片側2車線にすべき	1
	・道路の補修・整備を行うべき	1
	・なぜ同じ道路ばかり掘り返しては埋めるような工事ばかりするのか	1
	・錦町交差点の右折ラインを増設するなど道路整備を行うこと	1
	・避難経路、子供の通学の安全対策として、桂木地区から市内へ向かう市道を造成すべき	1
	・文京地区に道路標識を早急に設置すべき	1
	・歩道（インターロッキング）のゆがみが目立つので、歩きやすい歩道整備を望む	1
	・南30号道路の混雑緩和や北陽高校に通う生徒の利便などのため南29号道路の清流方面と豊里方面をつなぐ橋をかけるべき	1
	・大和・桂木方面の市道の傷みが激しいので整備すべき	1

財政運営 ・税金	・税金の無駄遣いをやめること	3
	・各種補助金の見直しを検討すること	1
	・財政状況が厳しい時こそどんな行政をするか議会等を含めよく検討すべき	1
	・財政状況の改善のため、税金や保育料などを逃れている人を取り締まるべき。また、生活保護の実態も調査すべき	1
	・財政逼迫のときこそ智恵を出していくことが大事	1
	・自衛隊OBと関わりのある団体に補助金が多いのではないか	1
	・施設・空き地を処分してスリム化をすべき	1
	・市として経費節減をしているので、毎月の広報にバランスシートの記載をし、達成率を逐一市民に周知してはどうか	1
	・市のお金、国のお金という区別なく、必要なところ、削るべきところを見極めて市の財政を改善すべき	1
	・他の自治体が羨む財源をもつ千歳市が今の財政状況になった原因は分かっているはず。市民の我慢と行政効率化で改善を	1
	・千歳市は道内で有数の税収入が多い街なのに財政が苦しいのはおかしい。本当に必要な出費にだけ税金を使うべき	1
	・ミニ公募債を5年債、10年債と増やしてみてもどうか	1
	・ムリ、ムダのない予算で子供から老人まで安心して住める千歳市であってほしい	1
	・メリハリのある予算配分の実施を望む	1
・横浜市のように市のホームページ内に掲載する広告を募集してみてもどうか（電子版市民カレンダー）	1	

市職員	・行政のサービス業としての意識の徹底を図るべき	1
	・公務員の意識が低すぎる。無駄な金を使うからまちづくりに金を回せない	1
	・ごみの有料化等の市民いじめの行政をやめ、職員の賃金を50%減らしてはどうか。税金の無駄遣いは市職員である	1
	・市職員同士の間人間関係はうまくいっているか。市長はもっと職員の声を聞くべき	1
	・市職員の意識改革が必要（危機意識の欠如）	1
	・市職員の数を減らし質を良くすべき	1
	・市職員の採用凍結により、臨時職員が増えているが責任ある仕事をすることを望む	1
	・市職員の態度が大き過ぎる	1
	・市職員の人数が多すぎるのでよく考えるべき	1
	・市担当者のパークゴルフ場等への現場進出がないため現況認識がなされておらず利用者の不評を買っている	1
	・市役所内で職員の私用パソコンが多くないか。電気代がかかりすぎる	1
	・市役所は市民が行きやすい場所にしてほしい。職員に笑顔がない	1
	・千歳市に市民税を納めていない千歳市民でない市職員は市のことを考えられるのか疑問	1
	・不景気でサラリーマンの給料が減る中、公務員は訳の分からない手当があったり減っているとは思えない	1
	・臨時職員が増えて職員の負担が増え、給料が減り辞めていく人が増えていると聞く。これからの街づくりが不安である	1

市議会	・市議会議員を減らすべき	3
	・議員の定年制を作って若年議員を増やし、市民に近いふれあいをもってほしい	1
	・行政の無駄を最小限にするために市議会議員を28名から20名程度にすべき	1
	・後援会のための議員では足踏みのまま。学生議員や町内会議員を設けてはどうか	1
	・市議会議員が選挙前と選挙後で態度が変わる。こんなことで千歳のまちが良くなるのか不安	1
	・市議会議員に自衛隊出身者が多すぎる。市民のためにならない	1
	・市議会議員の定数を現在の半分にしても良いのではないか	1
	・市議会議員の年金制度について、明快地に公表すべき	1
	・市議会議員は20名程度の少数精鋭にすべき	1
	・市議会議員を28名から24名程度に減らすべき	1
	・選挙後になると市議会議員の顔が見えなくなる	1
	・千歳の街は古びてきている。沢山の議員が市民から選ばれたのでさわやかなまちづくりをしていくことを望む	1

空港を活かしたまちづくり	・空港24時間運用の利点を活かし、航空産業関連の企業の増加を望む	1
	・空港の利用充実・活性化のために、羽田空港やセントレア空港を見習ってはどうか(レラだけでは経済効果が不安)	1
	・空港の駐車場からターミナルに行くまでの距離が長く自動車で行くときには不便	1
	・空港を十分に生かせる施設を増やすことで、まちを活性化させるべき	1
	・空港を有する都市の利点を活かし道外企業を積極的に誘致すべき	1
	・国際空港である新千歳空港を北海道の自然にめぐまれた空港としてアピールし、名所又はお土産等を世界に発信する	1
	・新千歳空港及び周辺地区を整備し、国際的な交流を促進するとともに、北海道交通の拠点とすべき	1
	・新千歳空港を北米、北欧、ロシア等へのハブ空港として活用すべき	1
	・千歳空港の側に観光客や、市民の幅広い年齢層が楽しめて癒されるような保養施設をつくる	1

アンケート	・アンケート調査の責任を明らかにするため、作成した人たち、組織を明記してはどうか	1
	・アンケートは統計のみの利用ではなく、確実に改革の方向に活用することを望む	1
	・このアンケートに対して具体的に何をするのか	1
	・今後アンケートは書面とインターネットの両方で対応できるようにした方がよい	1
	・市広報誌に市民の声、質問の欄を設け、市長の言葉を掲載してはどうか	1
	・市長への手紙はちゃんと届くのか	1
	・市民が、まちづくりに関する意見等を提案できる窓口(目安箱)を設置すべき	1
	・市民の声を今以上に聞き入れることができるようアンケート・投書などの機会を増やした方がよい	1
	・人口、財政規模が同等の他の市町村の状況を照会し比較結果を市民に周知し、アンケートなどで建設的なまちづくりについての意見を聞くべき	1
	・転入して来たばかりの人はまちづくりアンケート対象者にすべきでない	1
	・まちづくりアンケートを定期的実施すべき	1

公共施設全般	・温泉保養施設をつくるべき	4
	・空き地を利用して公園、駐車場を増やすことを望む	1
	・公共施設が無駄に多いので経費減のために毎日ではなく隔日開放にするなどの配慮が必要	1
	・公共施設の玄関外に灰皿を設置するのは如何なものか（屋内に設置すべき）	1
	・公共施設の建て替えの際には一つの建物で複数の用事が済ませられるように施設にすべき	1
	・公共性の高い建物、道路、公園などをつくる時には、市民が気軽に意見を出し合える仕組みが必要	1
	・支笏湖の温泉を利用して市民が安い料金で入浴でき、自然を楽しめる施設があるとよい（市民は市外の温泉を利用している）	1
	・室内テニスコートの設置を望む	1
	・市の施設の運営委託を行う際には利用者の利便性を第一義に考えるべき	1
	・市の体育館等にスポーツ施設としてフリークライミングの壁を造ってほしい	1
	・市民が自由に利用できるスポーツ・レクリエーションの場の提供（有料の場合は市民と市外利用者に差をつける）	1
	・スポーツ施設は自衛隊が優先されているので良好な関係を築くためには分離すべき	1
	・スポーツセンター・武道館を使用できない団体があることから施設の使用割当てを検討すべき	1
	・税金の無駄遣いを正し、真に必要なことに遣うこと（おはよう橋等必要のない施設はいいらない）	1
	・他市町村から人が集まり利用できる施設をつくることを望む	1
	・千歳駅前に温度表示塔を設置することを望む	1
	・千歳駅前の行政の利便性を上げるのであれば本庁舎を駅前に動かすべき	1
	・町内会館をもっと活用するとともに、へき地保育所・季節保育所を冬期間解放すべき	1
	・図書館等は充実しており大変すばらしい	1
	・図書館の開館時間の延長を望む	1
	・箱物施設の整理統合を行うべき	1
	・早起きの高齢者、学習意欲のある市民・子供たち、子育て支援のため図書館の開館を9時からにすべき	1
	・必要のない建物を減らすなど無駄がないか見直しをすること	1
	・利便を良くするために市役所、市民病院、郵便局などを中心に集めるべき	1
・千歳駅のサービスセンターは便利に思われていない。本庁舎で時間外に窓口業務を行うことで賃貸料が不要となる	1	

行政全般	・市政のマンネリをなくし新しい事業にチャレンジすべき	2
	・すべて市民に情報公開すべき	2
	・「市民協働」の言葉が凝りすぎていて意味が伝わってこない	1
	・遊んでいる市の土地に勝手に花を植えたり、駐車場にしている人を排除すべき	1
	・与えられた行政サービスに甘んじている時代ではない。市民が能動的・積極的にまちづくりの方向を探ることが必要	1
	・一歩も二歩も飛び出した考えで計画し進めなければ千歳の明日は先細り。発想の転換を	1
	・今までの方法で行政が行き詰まっているのであれば、行政の進んだヨーロッパなどに学んでみてはどうか	1
	・企業誘致は日頃の努力が必要であるが、コストを考えると組織などの見直しが必要ではないか	1
	・行政がノホホンとして住民に厳しさを求めるのは如何なものか。行財政改革を積極的に実施すべき	1
	・懸賞付きで(まちづくりの)アイデアや提案を市民から募集し、発表会を行ってはどうか	1
	・市営住宅不足、市民病院の医師不足など何年経っても解消されない事案がある。行政の動きが遅すぎ	1
	・市議会議員選挙期間中のスピーカーがうるさいので別のアピール方法を考えてほしい	1
	・市政懇談会を土・日に各町内会単位で開催し、広く意見を求めるべき	1
	・市長の信じることにしたがってやっていただきたい	1
	・市長も市議も自分の公約ばかりを優先せずみんなで団結・協力して千歳のために頑張ってください	1
	・市の機構改革により、不要な部課をなくし、民でやれることは民にやらせるべき	1
	・市民が求める情報をパソコン等で見られ、情報交換できるようにすべき	1
	・市民からの質問に対しては聖域を設けないで回答することを望む	1
	・市民と市政の対話が必要	1
	・市民の意見を反映できるようにしてほしい	1
	・市民病院の青いエプロンのボランティアはとても良い。市役所にもいてほしい	1
	・全ての世帯でインターネットが使えるよう市の補助も使って整備し、市の情報が格差なく見られるようになることを望む	1
	・選挙の入場券などに投票場所の地図を載せてはどうか	1
	・地域貢献を含め雇用を推進している企業が公共事業を通じ元気が出れば税金の還元として役に立つ	1
	・地域の声を聞く市政懇談会など市民が参加できる機会を検討すること	1
	・千歳のイメージは、市税が高く、高齢者福祉レベルが高いので高齢者は住みやすく、若者は住みにくい街	1
	・千歳は良いところである	1
	・転入者に市内図を渡し避難場所、選挙会場、町内会館の場所や市民活動などを教えるべき	1
	・動物愛護(ペットを捨てないこと)についてもっと指導すべき	1
	・福祉やごみ問題などについて詳しく教えてくれる場があれば参加したい	1
・マスタープランに沿った達成度計画を作り、漸次進めていき、その過程を市民に知らせるべき	1	
・無駄な経費を整理し、思い切った政策をしていくべき	1	
・無駄をなくし、貧富の差をなくせるような施策を望む	1	
・ルールやマナーを守らない市民が多く見受けられるので何らかの方策を検討できないか	1	

まちづくり全般	・向陽台の活性化	3
	・市民と自衛隊との交流をもっと増やすべき	2
	・40年以上住んで市の様子を見続けた中で、まちの活性化が一番大切で重要な課題であるとする	1
	・青葉公園やママチ川を活用し、向陽台地域と市街地の一体化や共同利便方策を考えるべき	1
	・あまり無理をせず、少しずつ(まちが)良くなればよい	1
	・今のままでも千歳は結構住みやすい	1
	・長都鴨沢辺を活性化させることを望む	1
	・官民一体となった協力的な新創生まちづくりプロジェクトチームを編成し、十分な予算を付けて実行すべき	1
	・公園の設置、バス運行数の増便、店舗数の増、道道の4車線化など蘭越近辺の利便性を向上させるべき	1
	・向陽台は買い物不便。自然を生かした住宅地と文化・芸術の共生が図られる施設を望む	1
	・国道沿いにおいて恵庭市と比較して、都市計画全体のデザインが望まれる	1
	・子供たちの遊ぶ所をつくれれば人が集まるのではないか	1
	・子供を沢山産み育てる家庭への援助や、年寄りに暖かいまちとなることを望む	1
	・市内各町内の公平なまちづくり(街外れ町内に格差:ピーバス運行ルート、砂箱設置場所、霊園の整備状況)	1
	・市の人口増となる方策を考える(企業、観光施設、学校等)	1
	・市民一人ひとりの意識の高揚を図り、平均的なレベルでの(まちづくりについての)会話が必要	1
	・ショッピングモールなどを作るときには、高校生や大学生など若い人を集め話し合いをすることが重要である	1
	・新千歳空港イコール札幌のイメージをなくすようなまちづくりをすべき	1
	・スポーツ、娯楽等を充実し若者が希望をもって活動できる環境づくりをするべき	1
	・宅地造成は、造成費を抑えながら区画割りを大きくとるべき	1
	・団塊の世代の定年退職者を千歳に移住させるため行政と市民が協力してアイデアを出し合う場を作ることを望む	1
	・千歳駅と中心商店街をつなげる工夫、ホテルや旅館の居心地のよさを増すことで活気ある市になる	1
	・千歳科学技術大学や郊外のショッピングセンターができたりと他市からくる友人にはうらやましがられている	1
・千歳市には、空港、自衛隊、川、湖、山等、他のまちにはないものが沢山あるので、それらを生かしたまちづくりを	1	
・千歳の人口構成は若いので、これからの千歳の発展のためにも住みやすい街づくりが必要	1	

まちづくり全般 (つぎ)	・千歳のまちが、市民一人ひとりの心と体、そして生活にゆとりが得られる、癒されるまちとなることを望む	1
	・月に2～3日を温泉の日に定め、多くの市民が支笏湖温泉を安く利用できるようにホテル側と話し合ってはどうか	1
	・常にお年寄りと子供たちが仲良く刺激し合い、助け合うような強く・たくましく・優しいまちづくりが望ましい	1
	・東千歳地区は人口が減少している。農業にこだわらず地域を活性化する方法を考えてほしい	1
	・他市町村に比べ住み心地は良いが、以前と比べ活力・賑わいが感じられない。元気なまちを目指して計画を進めてほしい	1
	・まちづくりのため、時代の変化に合わせてあらゆることが変わらざるを得ない現実を多くの市民に理解してもらおうべき	1
	・店や遊べるまちに力を入れれば活気が出る	1
	・もっと若者たちが集まり多様なレジャーができるまちにするべき	1
	・豊かで魅力あるまちづくりの推進	1
その他	・学生寮と老人施設を融合し、学生が労働奉仕することにより宿泊・食事費用を格安にする方法はないか	1
	・千歳郵便局の駐車場拡大のため、派出所をペウレ内に移動してはどうか	1
	・町内会長等の集まりでの話しをもっと知らせてほしい	1
	・非喫煙者の保護は大切で重要であるが、追いやられ細々と生きている喫煙者のことももう少し配慮すべき	1

# 千歳市民まちづくりアンケート

## - 調査ご協力をお願い -

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日ごろから市政運営につきましては、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、千歳市では平成13年度から平成22年度までのまちづくりの指針である「千歳市新長期総合計画」に基づき各種施策を推進しており、これまでの進捗状況は概ね順調に推移しています。

つきましては、当計画の前半5年間が経過することから、市民の皆様が市政に対して日ごろお感じになっていることやご意見などをお聞きし、後半5年間における施策推進の参考とさせていただくため、本アンケート調査を実施いたしますので、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容は、すべて統計データとしてのみ使用することとしており、回答いただいた方やご家族の方にご迷惑をおかけすることは一切ないことを申し添えます。

平成17年6月7日

千歳市長 山口 幸太郎

### 〈 調査方法 〉

#### 1 調査の対象者

この調査は、千歳市に在住する20歳以上の市民2,000人を無作為に抽出し、実施するものです。

封筒の宛名の方が対象者ですので、ご本人が回答願います。

#### 2 記入方法

選択式の設問については、該当する番号を右の回答欄に記入願います。

「その他」を選択した場合や「自由回答欄」については、あなたのお考えを具体的に記述願います。

#### 3 返送方法と締め切り

お手数とは存じますが、アンケート記入後、同封の返信用封筒にアンケート用紙を入れてポストに投函願います。

切手をはる必要はありません。

6月24日(金)までにご返送をお願いします。

#### 4 お問い合わせ先

このアンケートについてのお問い合わせは、次の連絡先までお願いします。

[連絡先] 千歳市役所 企画部 企画課 企画調整係

☎ 24 - 3131 (内線 208, 231)

# 千歳市民まちづくりアンケート

## 【住み良さ・生活環境】

問1 あなたにとって、千歳市の住み心地はいかがですか。

1つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 住み良い      | 2. どちらかといえば住み良い  |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 5. 住みにくい     |                  |

回答欄	
-----	--

問2 あなたは、日常生活に関する次の項目について、現在どの程度満足していますか。

下の表にある30項目について、満足度(1~5)をそれぞれ1つずつ選んで右の回答欄に番号をご記入ください。

区 分	評 価	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	回答欄
1. 病気予防のための保健活動		1	2	3	4	5	
2. 病院・診療所などの医療環境		1	2	3	4	5	
3. 高齢者のための施策		1	2	3	4	5	
4. 障害者のための施策		1	2	3	4	5	
5. 子育て環境		1	2	3	4	5	
6. 町内会活動などのコミュニティ活動		1	2	3	4	5	
7. 自然環境の保全		1	2	3	4	5	
8. 騒音・振動・悪臭などの公害防止		1	2	3	4	5	
9. ごみ処理・リサイクル		1	2	3	4	5	
10. 公園や緑地の整備		1	2	3	4	5	
11. 防犯		1	2	3	4	5	
12. 自然災害などに対する防災		1	2	3	4	5	
13. 交通安全		1	2	3	4	5	
14. 住宅事情		1	2	3	4	5	
15. 道路や歩道の除排雪		1	2	3	4	5	
16. 生涯学習の場づくり		1	2	3	4	5	
17. 小・中学校・高校などの教育環境		1	2	3	4	5	
18. 芸術・文化の振興		1	2	3	4	5	
19. 文化財や史跡の伝承保存		1	2	3	4	5	
20. スポーツの振興		1	2	3	4	5	
21. 青少年の健全育成		1	2	3	4	5	
22. 国際交流・都市間交流		1	2	3	4	5	
23. 道路の整備		1	2	3	4	5	
24. 鉄道・バスなどの公共交通機関		1	2	3	4	5	
25. まちの景観		1	2	3	4	5	
26. 日常の買い物環境		1	2	3	4	5	
27. 農業の振興		1	2	3	4	5	
28. 観光の振興		1	2	3	4	5	
29. 働く場の確保		1	2	3	4	5	
30. まちづくりに対する市民と行政の連携		1	2	3	4	5	

問3 5年前と比べて千歳市は住み良くなったと感じる点、住みにくくなったと感じる点について、下の表にある30項目からそれぞれ2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。  
(千歳市での居住年数が5年以上の方だけお答えください)

区 分		区 分	
1.	病気予防のための保健活動	16.	生涯学習の場づくり
2.	病院・診療所などの医療環境	17.	小・中学校・高校などの教育環境
3.	高齢者のための施策	18.	芸術・文化の振興
4.	障害者のための施策	19.	文化財や史跡の伝承保存
5.	子育て環境	20.	スポーツの振興
6.	町内会活動などのコミュニティ活動	21.	青少年の健全育成
7.	自然環境の保全	22.	国際交流・都市間交流
8.	騒音・振動・悪臭などの公害防止	23.	道路の整備
9.	ごみ処理・リサイクル	24.	鉄道・バスなどの公共交通機関
10.	公園や緑地の整備	25.	まちの景観
11.	防犯	26.	日常の買い物環境
12.	自然災害などに対する防災	27.	農業の振興
13.	交通安全	28.	観光の振興
14.	住宅事情	29.	働く場の確保
15.	道路や歩道の除排雪	30.	まちづくりに対する市民と行政の連携

《住み良くなったと感じる点》

回答欄		
-----	--	--

《住みにくくなったと感じる点》

回答欄		
-----	--	--

問4 あなたは、これからも千歳市に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。

また、回答が1以外の場合、具体的に住みたい場所や地域を記載願います。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい  | 2. 市内の別の場所に移りたい |
| 3. 近くの市や町村に移りたい | 4. 道内のどこかへ移りたい  |
| 5. 道外に移りたい      |                 |

回答欄	(回答が2, 3, 4, 5の場合) 例えば:
-----	----------------------------

**【まちづくりの重点分野】**

問5 あなたは、今後の千歳市の“まちづくり”を表す「言葉(キーワード)」として、どのようなことが重要とお考えですか。2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 活力・賑わい | 2. 経済的な豊かさ | 3. 自然の豊かさ |
| 4. 心の豊かさ  | 5. 快適さ     | 6. 便利さ    |
| 7. 安心・安全  | 8. 美しさ     | 9. 楽しさ    |
| 10. ふれあい  | 11. やさしさ   | 12. 創意・挑戦 |
| 13. 健康    | 14. 教育・文化  | 15. 連帯・協働 |
| 16. 生きがい  | 17. うるおい   | 18. 交流    |
| 19. 発展    | 20. その他( ) |           |

回答欄		
-----	--	--

問6 あなたは、千歳市がまちづくりを推進するために、今後どの分野に力をそそぐべきとお考えですか。下の表にある30項目から5つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

区 分		区 分	
1.	病気予防のための保健活動	16.	生涯学習の場づくり
2.	病院・診療所などの医療環境	17.	小・中学校・高校などの教育環境
3.	高齢者のための施策	18.	芸術・文化の振興
4.	障害者のための施策	19.	文化財や史跡の伝承保存
5.	子育て環境	20.	スポーツの振興
6.	町内会活動などのコミュニティ活動	21.	青少年の健全育成
7.	自然環境の保全	22.	国際交流・都市間交流
8.	騒音・振動・悪臭などの公害防止	23.	道路の整備
9.	ごみ処理・リサイクル	24.	鉄道・バスなどの公共交通機関
10.	公園や緑地の整備	25.	まちの景観
11.	防犯	26.	日常の買い物環境
12.	自然災害などに対する防災	27.	農業の振興
13.	交通安全	28.	観光の振興
14.	住宅事情	29.	働く場の確保
15.	道路や歩道の除排雪	30.	まちづくりに対する市民と行政の連携

回答欄					
-----	--	--	--	--	--

問7 あなたは、将来の千歳市をどのようなイメージの都市にすべきとお考えですか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. 企業誘致を推進するなど、活気ある“工業都市”
2. 教育・文化・スポーツ施設などが整備された“文教都市”
3. 高齢者や障害者の人々をはじめ、だれもが快適に暮らせる“福祉都市”
4. ごみや公害のない豊かな自然につつまれた“環境都市”
5. 観光・レジャー施設が整備された“観光都市”
6. 空港を核とし、世界に開かれた“国際交流都市”
7. 市民と行政が連携してまちづくりを行う“市民協働都市”
8. その他 ( )

回答欄		
-----	--	--

**【産業・経済】**

問8 あなたは、千歳市の農林業を振興するために、どのようなことが重要とお考えですか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. 緑を守るための森林の育成
2. 効率的な農業の確立に向けた、機械の導入・施設の近代化
3. 千歳ブランドの確立など付加価値の高い農産物の生産
4. 低農薬など人にやさしい有機栽培農法の導入
5. 観光・体験型農林業の育成など、農村と都市との交流
6. 後継者の確保・育成
7. 農畜産物の製品共同開発など、地元企業・団体との連携・強化
8. その他 ( )

回答欄		
-----	--	--

問9 あなたは、千歳市の商工業を振興するために、どのようなことが重要とお考えですか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. 企業の誘致など、立地企業の振興
2. 新分野における産業創出やこれらへの支援・育成
3. 産・学・官の連携による共同研究や技術化・製品化の推進
4. 地場産品等の独自商品開発
5. 専門的な技術を持ったいわゆる「職人」の育成・支援
6. 商業施設や販売商品の多様化
7. 中心商店街の活性化
8. その他 ( )

回答欄		
-----	--	--

問10 あなたは、千歳市の観光を振興するために、どのようなことが重要とお考えですか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. リゾート施設や遊園地、テーマパークなどの娯楽施設の開発・誘致
2. 既存の商業施設やPR施設を有する工場などの観光への活用
3. 交通アクセスの整備など、都市機能の充実
4. 道路標識や案内板、駐車場、公衆トイレなど観光客受け入れ施設の充実
5. プロモーション事業等による観光PRの強化
6. 各種イベント(祭りや行事、大会など)の充実、創出
7. 魅力ある地域料理や土産品などの開発
8. オートキャンプ場など自然を活用した施設の整備
9. その他 ( )

回答欄		
-----	--	--

**【福祉】**

問11 あなたは、福祉社会の実現に向け、どのようなことが重要とお考えですか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. 福祉に対する理解を深めるための教育や啓発活動の充実
2. 乳幼児検診や育児相談の充実等、母子保健対策の充実
3. 子育てに対する相談・指導体制の支援など、児童の健全育成に寄与する児童福祉の充実
4. 高齢者の健康相談体制の充実など、高齢者福祉の充実
5. 障害者の社会復帰や自立に向けた支援体制の充実など、障害者福祉の充実
6. 迅速で的確な対応ができる地域医療体制や救急医療体制の充実
7. 年金や介護保険、健康保険等の各種保険制度の正しい理解と健全な推進
8. その他 ( )

回答欄		
-----	--	--

**【生涯学習】**

問 12 あなたは、生涯学習を推進するために、今後どのようなことが重要とお考えですか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. 市民と行政の連携による、生涯学習推進体制の組織化
2. 市民の主体的・自発的な参加意識の高揚
3. 市民活動を指導し、牽引する人材やリーダーの育成
4. 学習情報の提供や、市民活動に対する相談体制の充実
5. 生涯学習に関する様々な情報を検索できるネットワークシステムの構築
6. 市民活動を推進し、積極的にサポートする支援施設の設置
7. 学校や民間施設の開放などによる学習の場の確保
8. 市民活動の交流や発表の機会の充実
9. その他 ( )

回答欄		
-----	--	--

**【防災】**

問 13 あなたは、地震、火災など大規模災害時の備えとして、どのようなことが重要とお考えですか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. 防災組織の連携・強化
2. 市民の防災意識の強化
3. 一時避難所や収容避難所の周知
4. 危険な地域や建築物の調査、改善
5. 消防や自衛隊、警察などとの組織を越えた連携
6. 防災無線施設の整備・拡充
7. 消火栓や防火水槽・用水路の整備
8. 生活用水の確保など給水体制の整備
9. 市民参加による防災訓練の充実
10. その他 ( )

回答欄		
-----	--	--

**【コミュニティ】**

問 14 あなたは、今の近所付き合いに満足ですか、それとも不満がありますか。  
1つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. 近所付き合いが活発で、満足している
2. 近所付き合いをあまりしなくてよいので、満足している
3. 近所付き合いが活発だが、わずらわしく思っている
4. 近所付き合いが少なく、不満に思っている

回答欄	
-----	--

問 15 あなたは、どのようなまちづくり活動をしたい(できる)とお考えですか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. 美しいまちをつくるための“花いっぱい活動や清掃活動”
2. 地域の自然を守り育てる“自然保護・愛護活動”
3. 生活のムダをなくし環境を守る“リサイクル活動や省資源活動”
4. 高齢者や困っている人たちへの“福祉ボランティア活動”
5. 郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える“歴史文化活動”
6. 子ども会やPTA、健全育成組織などを通じた“児童・青少年の育成活動”
7. スポーツ・保健事業への参加・協力など“健康なまちづくり活動”
8. 安全な暮らしを守る“交通安全・防災・防犯活動”
9. 祭りや文化祭など“イベント活動”
10. ホームステイの受け入れなど“国内外との交流活動”
11. まちづくりの企画・研究やリーダーなど“まちづくりの推進役”
12. その他( )

回答欄		
-----	--	--

**【国際交流】**

問 16 あなたは、国際化に対応したまちづくりや国際交流をさらに推進するために、どの分野に力をそそぐべきとお考えですか。2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. 市民講座の開設などにより市民の国際理解や語学力を高める
2. 姉妹都市交流や友好親善都市交流などにより外国との交流を促進する
3. 市内に居住する外国人との交流を促進する
4. 国際行事の誘致・開催を進める(学会や各種会議、スポーツ・文化イベントなど)
5. 外国人に配慮した環境づくりを進める(案内板の設置や日本語講座の開設など)
6. ホームステイ受け入れ家庭などの国際交流ボランティアを育成する
7. その他( )

回答欄		
-----	--	--

**【行政運営】**

問 17 あなたは、市民の意見が市政に反映されていると思いますか。  
1つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. よく反映されている
2. ある程度は反映されている
3. あまり反映されていない
4. 全く反映されていない

回答欄	
-----	--

問 18 市政に対して意見を反映したい時、あなたはどのような方法をお考えになりますか。  
2つまで選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. 市の担当の課へ直接行くか電話をする
2. 市政を考える自主的な集まりや組織に参加する
3. 自治会や各種団体などを活用して意見を述べる
4. 市政懇談会などに参加する
5. 陳情や請願などで意見を述べる
6. 選挙やアンケート調査などで意思表示をする
7. 「市長への手紙」に投書する
8. 市政モニターに伝える
9. 議員に働きかける
10. 市役所や議会などに一任する
11. その他( )

回答欄		
-----	--	--

**【財政運営】**

問 19 地方自治体を取り巻く財政状況は厳しく、これまで行ってきた全ての行政サービスを従前どおりの種類や水準で維持することは難しい状況にあり、これからのまちづくりは、限られた市の財源をより効果的に配分・活用していくことが求められています。市においても職員数を減らすなど、経費の抑制に努力しているところですが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方についてあなたはどのようにお考えですか。1つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. サービスの種類が減り、水準も低下するのは仕方のないことである
2. サービス水準の低下は仕方がないが、サービスの種類は維持すべきである
3. サービスの種類が減るのは仕方がないが、サービスの水準は維持すべきである
4. サービスの低下分は受益者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべきである
5. その他 ( )

回答欄	
-----	--

**【市民協働】**

問 20 市民ニーズが多様化し、行政のみではその全てに対応することが難しくなっているなか、千歳市では市民と行政が協力してまちづくりを進める「市民協働のまちづくり」を進めています。これまで以上に市民の声が反映されるようになりますが、同時にまちづくりに対する市民参加が求められます。市民の役割が重要となる「市民協働のまちづくり」を進めるうえで、あなたが重要だと考えることを1つだけ選んで回答欄に番号をご記入ください。

1. 市民と行政との交流や意見交換する機会をこれまで以上に増やす
2. 市政情報の公開を充実する  
また、市民が持つまちづくりの情報を、市民自らが発信する仕組みをつくる
3. 市民協働の考え方を広くPRするため、市民が参加できるイベント・事業を実施する
4. 「協働」に関する担当窓口を行政に設置する
5. 市民が打ち合わせや作業のできる活動拠点を整備する
6. その他 ( )

回答欄	
-----	--

次に、回答者ご自身のことについてお尋ねします。統計的にまとめる上で重要ですので、ご回答ください。(該当する番号を右の回答欄に記入願います。)

		回答欄	
(1) 性別	1. 男性      2. 女性	性別	
(2) 年齢	1. 20代      2. 30代      3. 40代 4. 50代      5. 60代      6. 70代以上	年齢	
(3) 出生地	1. 千歳市で生まれた      2. 千歳市以外で生まれた	出生地	
(4) 千歳市での 通算居住年数	1. 20年以上      2. 10年以上20年未満 3. 5年以上10年未満      4. 5年未満	居住 年数	
(5) 現在の同居 家族構成	1. 一人暮らし(単身赴任含む)      2. 夫婦のみ 3. 2世代      4. 3世代以上      5. その他	家族 構成	

(6) 職業	1. 農林漁業 2. 製造業・建設業 3. 商業・サービス業・金融業など 4. 運輸業・通信業など 5. 公務・団体等勤務(自衛隊含む) 6. その他の職業 7. 学生・無職(専業主婦含む)	職業	
(7) 居住地	1. 東雲町、朝日町、本町、真々地、平和、2空団、真町 2. 若草、白樺、里美、柏陽、泉沢、文京、福住 3. 錦町、春日町、緑町、大和、桂木、蘭越、新星 4. 清水町、幸町、千代田町、栄町 5. 北栄、新富 6. 北斗、自由ヶ丘、桜木、北信濃(無番地、871-964)、北部隊、上長都(3、382、1057、1058) 7. 北陽、長都駅前、信濃、富士、北信濃(180、231、232、238、281、283、321、336、338、345、346、360、366、388、591、631、632、676-680、782、841) 上長都(923、924、929、931、933-943、1020、1024、1036、1102、1112-1119、1121、1122) 8. 高台、富丘、北光、あずさ 9. 未広、花園、稲穂、清流、幸福 10. 青葉、青葉丘、日の出、日の出丘、住吉、東郊、豊里、梅ヶ丘2丁目 11. 梅ヶ丘1・3丁目、弥生、寿、旭ヶ丘、祝梅、東部隊、流通 12. 都、長都、釜加、北信濃(590、633、636)、根志越、中央、駒里、泉郷、美々、柏台、柏台南 13. 幌加、協和、新川、東丘 14. 支笏湖温泉、幌美内、モラップ、水明郷、藤の沢、美笛、支寒内、奥潭	居住地	

【自由回答】

最後に、今後の千歳市のまちづくりへのアイデアやご提案があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。(記入もれがないかご確認のうえ、返信用封筒でご返送ください)

千歳市民まちづくりアンケート  
調査結果報告書

発行 北海道 千歳市  
企画部 企画課  
発行日 平成 18 年 2 月